

デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ[°] (先駆型・横展開型・Society5.0型) 採択事業一覧 **【継続事業（R4開始）】**



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

内閣府 地方創生推進事務局
内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

- デジタル田園都市国家構想の実現を図り、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和4年度補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設しました。
- 同交付金の「地方創生推進タイプ（先駆型・横展開型・Society5.0型）」においては、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援しています。
- このたび、「令和6年度当初予算分」において採択した事業のうち、**R4年度に事業開始した継続事業の事業概要**を取りまとめました。
- 地域の課題解決等に向けて、当該地域においてどのような取組などを進めるべきか、本資料も参考にさせていただき、検討を進めていただければと存じます。
- なお、本資料は、事業採択時点で地方公共団体から提出された事業概要をまとめたものであり、事業採択後の過程において変更が生じている可能性がある点にご留意いただきますようお願いいたします。

事業概要【日常に溶け込む北海道食品展開事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	262,808千円 (99,329千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	今後拡大が見込める健康市場向けの機能食品を開発・販売する人材やDX時代に対応した食関連産業を牽引する人材の育成を行うとともに、道産食品のECサイトなどの新たな成長市場への販路拡大の支援などを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. デジタル化への対応 ■デジタルマーケティング対応人材の育成 事務費 4,154千円、委託料 26,358千円 ■ECサイト向け商品開発等 事務費 8,286千円 ■ECサイト向け商品の磨き上げ・ブランド化等 事務費 4,100千円、委託料2,024千円 2. 健康食品への特化 ■健康食品の開発や販路開拓 事務費 468千円、委託料 36,674千円 3. 道外における通年販売 ■販路の多様化に向けた相談会 事務費2,214千円 ■通年販売に向けたテストマーケティングの実施 委託料 15,051千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業が関与した道外での通年販売品目数（+120品目） ②デジタルマーケティング人材育成研修に参加した事業者の開発商品の売上げ（+32,000千円） ③本事業が関与した健康食品の新規開発件数（+77件）		関連URL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html

事業概要【HOKKAIDOワインの可能性を広げるブランド化推進事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	245,987千円 (82,453千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	ワイン産地としての北海道を競争力のあるブランドとして確立するため、ワインアカデミーの開催によりワイン製造業を担う高度な人材の育成と道産ワインフェアのプロモーションなどを実施する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・国際競争力のあるブランド化に向けた取組・・・委託料27,184千円、事務費690千円 ・個々のワイナリーのさらなる向上とワイナリー間の連携促進・・・委託料21,601千円、事務費1,079千円 ・新たな市場に対応するための、変動する外部環境条件にも揺るがないワイン生産技術やオンラインによる魅力発信、ワイナリーに対するEC市場活用に関するアドバイス等、マーケティング戦略構築までの変化に対応する研修会や専門家派遣の実施・・・委託料29,696千円 ・百貨店や高級スーパーに対する、EC市場に精通したバイヤー等への積極的な情報発信などのEC市場を念頭に置いたプロモーションの実施・・・委託料2,203千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	首都圏における取扱店舗の増加数 (+9件) 単位あたり収穫量 (+22kg/10a) 日本ワインコンクール受賞銘柄数 (+60銘柄) ECサイト活用新規事業者数 (+3社)	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



← ワイン用ぶどう



↓ ワインアカデミーの様子

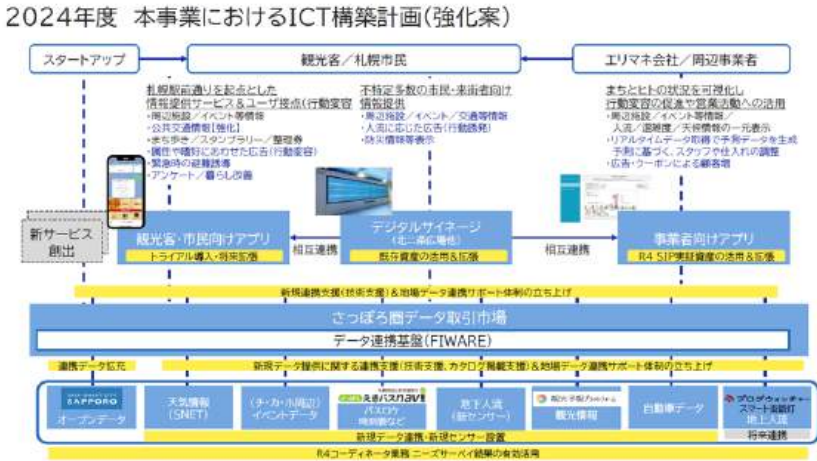
事業概要【北海道観光の再構築と地域の魅力を活かし人を呼び込む北海道づくり】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	634,615千円 (144,620千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	観光誘客促進を図るためのマーケティングデータの収集・分析や道内観光に求められるニーズの多様化を受けた、誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことができる環境の整備などを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	国内旅行へのシフトにおける課題への対応 1 ワークーション等のデジタルプロモーション 31,109千円 観光コンテンツの磨き上げにおける課題への対応 1 観光コンテンツのデジタルプロモーション 13,000千円 2 バリアフリー観光等の案内窓口の構築、情報発信 19,873千円 3 国内外で競合する他地域の施策分析結果の活用 14,844千円 移住・定住の促進における課題への対応 1 移住に関心を持つ層に対するデジタルプロモーション、相談体制の定着 13,408千円 2 転職なき移住等に向けた相談体制の定着費用 22,386千円 3 リピーター等の旅行時における意識・消費行動等の調査・分析結果の活用 30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①長期滞在者数 (+400,600人) ②北海道の移住・定住情報を発信するサイトのアクセス数 (+4,012件) ③国内観光客の総観光消費額 (+2,521.9億円)	関連URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/s/s/csr/jinkou/kyogikai19.html



申請者	北海道札幌市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,767千円（78,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・官民サービスの徹底的なデジタル化を実現し、住民の快適な暮らしや個別最適化されたサービスの提供を確保 ・企業等のシステム開発等に係る経費を可能な限り抑えることのできる仕組みづくり ・企業等が住民に新サービス・新事業を提供しやすい環境の整備 ・誰もが先端的サービスの恩恵を享受できるよう、高齢者等へのデジタルデバйд対策		
事業概要・ 主な経費	○官民データ流通促進基盤（都市OS）及びデータ取引所の運用に対する支援 ・運営補助（補助金）：3,600千円 ・運営・推進体制の自走化計画策定補助等（補助金）：5,300千円 ○先端的サービスの実装に向けたスマートシティアプリの活用の促進 ・アプリ利用料（委託料）：4,000千円 ・アプリ改修（委託料）：3,100千円 ・スマホ教室の開催（委託料）：4,000千円 ○観光MaaS事業による官民データの利活用の促進 ・官民データ流通促進基盤の機能強化：18,000千円 ・システム利用料：5,000千円 ・システム機能の強化・発展：35,000千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①データ取引所におけるデータ取引件数（+310件） ②スマートシティアプリのダウンロード数（+67,000件） ③IT・コンテンツを活用して高付加価値をつけようと思っている企業の割合（+1.8%）		



関連URL

・さっぽろ圏データ取引市場
<https://ui.apimarket-sapporo.jp/>
・さっぽろ圏スマートアプリのご案内
<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/ictplan/pointapp/sapporoarea.html>

事業概要【釧路市におけるテレワーク事業】

推進当初

申請者	北海道釧路市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	23,305千円 (7,155千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・人口流出を抑制するため、地域の産業基盤を強化し、地域経済を再生させ、安定した雇用の創出を図る ・豊かな自然環境や地域資源を最大限に生かし、首都圏等から人・企業の呼び込みを図る ・当市の中小企業等とのビジネスマッチング、ビジネス展開や企業進出、また社員の長期滞在・移住促進等を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	情報発信事業 ○ホームページ及びWEB等各媒体を使った情報発信 ・ホームページ及びランディングページ等による情報発信（500千円） 人・企業の呼び込み事業 ○企業研修型ワーケーション等誘致誘客事業（4,980千円） ○自治体×企業マッチング・プロモーションイベント参加（550千円） ○地域連携型サテライトオフィスモデル事業（1,125千円） 受入体制強化事業 ○地元経済界（釧路商工会議所、一般社団法人北海道中小企業家同友会等）を通じた地元個別企業等とのマッチング事業 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①MOOワークスペース等施設を継続的に利用する企業数（+10社・団体） ②移住者数（+48人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/sanshien/1013448/1013449.html （効果検証） https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/shisaku/1006996/1007010.html#group1

申請者	北海道岩見沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,965千円（13,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	①マーケティング分析による作物選定 ②新規作物導入に向けた農業基盤の改善 ③圃場内生育の均一化及び資材削減、施設園芸の省力化			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロジェクト推進体制構築費 ・会場代及び構成員旅費 1,000千円 ・「生産の高度化教育モデル」作成 1,000千円 ・全体管理運営及び報告書の作成 1,000千円 ○プロジェクト推進費 ・マーケティング分析による作物選定 1,500千円 ・新規作物導入に向けた農業基盤の改善 4,500千円 ・圃場内生育の均一化及び資材削減 4,000千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規作物及び新規販路開拓による既存作物の販売額（+29,000千円） ②新たな作物導入及び新規販路開拓の対象品目（+2品目） ③新たなビジネスモデルの創出（+3件）		関連URL	調整中

事業概要【学生・若者のまちづくり参画による地域活性化・関係人口拡大パッケージ～若者が希望を持てるまち岩見沢～】

推進当初

申請者	北海道岩見沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	54,541千円 (18,970千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・若者の地域への参画と交流促進を図る ・情報発信の強化による、さらなる関心の喚起を図る ・若者定着のための生活基盤、活動拠点の確保を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域と大学・学生の交流深化 ・芸術文化・スポーツの地域展開委託料 200千円 ・地域の活性化に資する学生活動への支援報償費 150千円 ○まちの魅力・情報発信と、市外在住者も含めた継続的な関わり構築 ・市外在住者を意識した「まちの魅力」発信サイトの運営 3,651千円 ・当市の魅力・特産物紹介 520千円 ・当市への移住検討者への情報提供と、滞在中の実体験レポートの発信 500千円 ○若者の生活基盤と居場所の確保 ・市内での創業機運の醸成と、創業に向けた支援 2,500千円 ・北海道教育大学岩見沢校による企業等を対象とした芸術文化・スポーツ・健康啓発指導事業の支援 3,450千円 ・廃校舎を利用した地域交流拠点の運営 3,291千円 ・若者の活動拠点の拡大に係る委託料 4,400千円 ・市内流動・滞留人口等の把握調査 308千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①22～24歳人口に占める転出者の割合（▲2.30%） ②21歳⇒22歳、22歳⇒23歳の人口コーホート減少率（▲2.00%） ③各事業への参画企業・団体等数（+12件） ④北海道教育大学卒業者の市内就職数（+10人）	関連URL	調整中

事業概要【美唄シティプロモーション推進事業】

推進当初

申請者	北海道美唄市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,845千円(16,598千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・今後の美唄市の言語となる美唄ブランドを市民と共同で構築し、シビックプライド醸成を図る ・美唄ブランドを市民に広く周知し、美唄市の魅力の再発見を促し、市民の美唄市に対する愛着を高める ・市民参加型のワークショップ等の事業を通して、市民協同のまちづくりの気運醸成を図る ・美唄ブランドを市外に発信し、関係人口の拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○美唄ブランドを構築する事業を行い、市民の美唄市に対する愛着を高める。 ・美唄ブランド推進・PR・管理委託費 11,306千円 ・広報運用管理費委託費 660千円 ○美唄ブランドを市外へ発信し、関係人口の拡大を図る。 ・美唄ブランドの核となるWEBメディアの管理・運用委託費 2,244千円 ・関係人口創出プロモーション経費 2.388千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①美唄ブランド展開による美唄市の認知度向上（ふるさと美唄応援団登録者数）（+1,450人） ②美唄ブランドのメディア掲載件数（+115件） ③美唄ブランドロゴを活用した商品数（+37商品） ④市民アンケートで「美唄に愛情を感じている」と答える市民の割合（+41%）	関連URL	https://www.city.bibai.hokkaido.jp/soshiki/3/19851.html

事業概要【人の流れを生み出し、住みたい働きたいを実現するプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道紋別市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,139千円 (29,713千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少下においても地域経済を維持し将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるため、都市部から地方への新たな人の流れを生み出し、安定した雇用の場とそこで働く担い手を確保することを目的とする。特に、若者世代の流出が著しいことから、高校卒業後の地元定着やU・Iターン促進のほか、外国人共生社会への取組みのノウハウを活かし、日本人・外国人の両輪から「紋別に住みたい、紋別で働きたい」という希望を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○雇用開発及びUターン促進事業 地元高校卒業生やU・Iターン希望者と地元企業とのマッチングや、PR動画を活用した情報発信を行う 事業費：7,769千円 ○外国人就労推進事業 海外人材雇用推進員等による外国人と地元企業とのマッチング、PR活動、定着後のアフターフォローを行う 事業費：17,160千円 ○おためし暮らし体験事業 生活体験を希望する方へ空き家や空きアパートを活用したおためし暮らし住宅を提供 事業費：4,784千円 【移住PR動画】  【外国人就労支援業務の様子】  【YouTube広告】  【おためし暮らし体験住宅】 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた就職者数（+44人） ②市への移住者数（+68人） ③インターンシップ参加者数（+41人） ④紋別高校卒業生地元就職率（+8.9%）	関連URL	https://mombetsu.jp/administration/?category=119

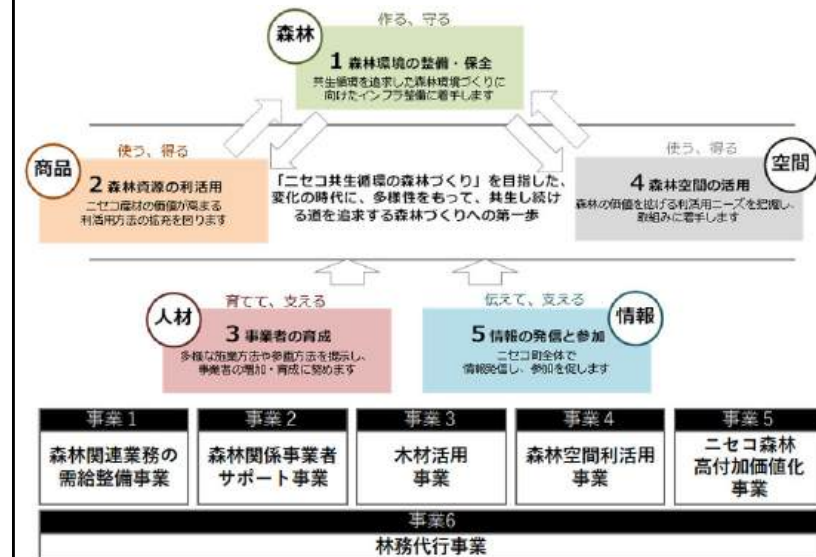
申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	434,000千円（62,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・地域資源である石炭および木質バイオマスを活用したグリーン水素製造に係る産業創出を図る ・水素製造の過程で発生するCO2の有効利用とこれに係る産業創出を図る ・脱炭素まちづくりに向けて、資源やエネルギーの循環による三笠モデルの構築を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○雇用創出 ・グリーン水素製造の実現に向けた調査・技術開発事業（委託料）57,000千円 ○普及啓発 ・事業成果のPR（委託料）5,000千円 現在三笠市が進めるH-UCG（ハイブリッドUCG）は、石炭地下ガス化に加え、地表では石炭・木質バイオマスを燃焼し、生産ガスから環境にやさしい水素を取り出します。また、ガス化により発生する温室効果ガス（CO₂）は分離・回収し、農業などの産業ガスとして活用するほか、市内に無数に存在するかつての炭鉱採掘跡に埋め戻します（陸域CCS:Carbon dioxide Capture and Storage）。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業参画する企業の数（+57件） ②脱炭素に向けた普及啓発事例の数（+15件） ③普及啓発事業の参加者数（+1,250人） ④事業推進に伴う定住人口の数（+40人） 関連URL 調整中		

申請者	北海道石狩市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	151,172千円（34,440千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・住民が地域の活動を容易に知ることができる環境をつくり、地域コミュニティへの関わりを通じて生まれた、人のつながりによる街への愛着を醸成する ・地域資源を活かした街の自慢となる特色を作り、住民の街への誇りや愛着を醸成するとともに、街に賑わいをつくり、住民の定着や新たな居住者の誘導を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	文化芸術交流 歴史 活動発表 人のつながり スポーツ交流 観光 自然 魅力発信 食 まちの誇り 街の自慢できる魅力を知り、まちを誇りに思える 地域コミュニティへの関わりが活発になり、街がもっと好きになる 街への愛着や賑わいが生まれることで、住民が定着		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①転出者数の抑制（+125人） ②文化・スポーツ事業の参加者数（+1,250人） ③石狩市に住み続けたいと感じる市民の割合（+25%） ④デジタルコンテンツアクセス数（+400,000件）	関連URL	https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/85927.html

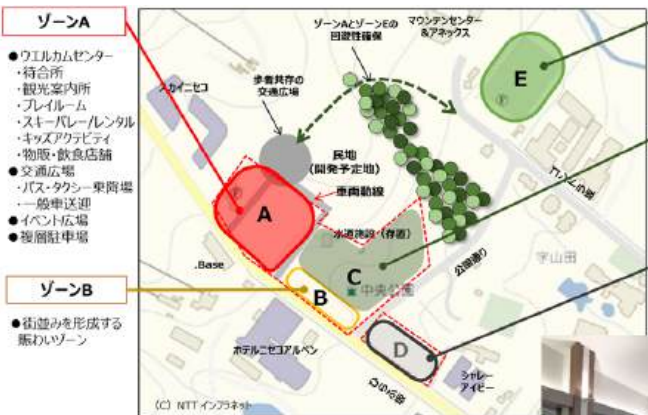
申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	193,893千円 (36,923千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的 (効果)	・「認定こども園」「移住体験住宅」「ワーケーション」「ふるさと体験」をパッケージ化した親子ワーケーションプログラムである「保育園留学」をワンストップで提供する。 ・超長期的な関係人口創出のため、ワーケーション受入対象世帯の拡大や企業での利用促進（福利厚生等の利用）を前提としたアプローチを通じて事業の拡大を図る。 ・持続した関係人口の構築と新規利用者獲得のため、オンライン・オフラインでのふるさと体験により持続した関係人口の構築とPRを実施する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○保育園留学のワンストップ窓口として、ポータルサイトへの情報掲載・事前相談・問合せ対応申込取扱を実施 ・募集ポータルサイト管理運用（委託料）11,660千円 ○zoomを利用したオンラインでの食と観光等の体験を通じ、全国的に保育園留学等をPRし関係人口を創出し、ワーケーション希望者を募る。 ・ふるさと食体験実施費用（委託料）880千円 ○中期的モデル事業利用の場合の生活支援策検討事業実施、将来的な町内子育て世代の支援策検討を併せて実施 ・企業連携サポート事業（委託料）4,108千円 ○保育園留学の体験や現地での様子を動画にすることで、保育園留学の更なるPRを図る。 ・保育園留学動画制作及びSNS管理運用業務（委託料）3,872千円 ○本事業の推進主体である協議会運営経費 ・会議開催費に係る費用（需用費）100千円（旅費）200千円（報償費）300千円 ・管理分析業務（委託料）1,320千円 ・事務費、運営費（旅費）100千円（需用費）100千円（役務費）50千円 ・人材育成事業費（旅費）500千円 ○公営塾と連携し、中学生を対象とした地域魅力化事業を展開し中学生を持つ親のワーケーションを促進 ・地域魅力化事業（委託料）1,188千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ワーケーション利用延日数（年間）（+900日） ②保育園留学実施による経済流入額（年額）（+25,000千円） ③事業実施による関係人口の累計数（年度末実人数）（+800人） ④福利厚生等でのワーケーション利用企業数（年間）（+5社）	関連URL	調整中

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	136,290千円 (29,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・まちづくり会社を中心とした多様な連携の推進体制の構築 ・環境を基軸とした多様な連携モデル事業の展開 ・連携創発をうむ『共感』形成に向けた「住民参加」と「情報共有」の実践		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な連携の推進体制の運用、効果検証（委託料） 5,800千円 ・推進体制の運用、効果検証 ・共感形成に向けた持続可能なまちづくりの取組・成果広報 ・企業版ふるさと納税の活用促進、パートナーシップ登録の運用・マッチングなど ○環境を基軸とした多様な連携のモデルとなる取組の展開・効果検証、連携事業に向けた普及促進等（委託料） 23,900千円 ・官民連携による環境対策・移住促進対策の強化・拡充、成果広報 ・多様な連携に向けた普及促進活動、人材育成 ・EVを活用したシェアリングサービスの構築・導入など ニセコハートラボは、 まちづくりに関するパートナーを募集します。 3つの関わり方 オフィシャル パートナー 寄付 人材派遣 その他に、ニセコ町とだけの連携にとどまらず、町内企業とはもちろん、ニセコ町とつながりの深い企業や団体同士での交流や連携の機会も多く増えていくことも見据えています。ニセコ町がきっかけで、さらなる企業や団体間での交流が深まっていくことは、私たちが目指す一つの姿でもあります。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①パートナーシップ登録件数（+16件） ②企業版ふるさと納税の件数（+22件） ③ふるさと住民制度の登録人数（+80人） ④ニセコ町の総人口（+300人）	関連URL	http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,250千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・官民連携による林務体制の再構築 ・ニセコモデルの森林整備機能・交流型木材加工施設（遊休施設利活用）の試験運用 ・町産材製品のマーケティング、循環の始動、関係人口創出を見据えた体験プログラムの開発 ・林業・木材加工従事者の人材確保・育成など		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○持続可能な森林経営、町産材の循環利用事業の運営（委託料）20,000千円 ・森林整備、計画、管理事業の林務一部移管業務の運営 ・地域循環機能システムの試験導入、交流型木材加工施設（遊休施設利活用）の試験運用 ・町産材製品のマーケティング、販売促進 ・町産材の循環利用拡大に向けた次期交流型木材循環施設の計画づくり ・関係人口創出を見据えた、森と共に暮らす体験プログラムの提供拡販 ・持続可能な林業・木材加工業に関わる多様な人材育成 ・民有林への持続可能な森林経営支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①林業関係の新規就業者数（+7人） ②町産材原木使用量（+450m³） ③新規商品開発数（+7件） ④体験・交流プログラム参加人数（+160人）		
		関連URL	http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/



事業概要【ニセコひらふ地区シンボルゲート形成を起点とした持続可能な観光地づくりプロジェクト】

申請者	北海道倶知安町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,336千円 (22,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・閑散期の底上げによる観光の平準化 ・受入環境良化のための交流・広場空間機能整備 ・コミュニティ機能強化のためのエリアマネジメント ・観光DXに対応したリゾート形成 (スマートリゾート化)		
事業概要・ 主な経費	①シンボル空間形成に係る事業 (委託料) 19,580千円 (ア)官民連携による魅力的な空間整備の推進 (a)民間事業者との対話による事業条件の検討 (b)事業パートナー公募準備 (c)シンボル空間規制に係る関係団体との調整 (イ)民間事業者と地域の連携によるエリアマネジメントの強化・推進 (a)シンボル空間形成に係る地域ミーティングの開催 ②ICT/IoTを活用したエリアマネジメントに係る環境整備 (補助金) 2,800千円 データ収集プラットフォームや先予約システムなどの観光DXに対応したシステムを活用した事業のPRと戦略化		
KPI	①旅先納税額およびふるさと納税を活用したクラウドファンディング額 (+17,000千円) ②エリアマネジメント活動参加者数 (+94人) ③エリア整備・マネジメントに係る住民ミーティング参加者数 (+51人) ④観光客繁閑差率 (+0.15)	関連URL https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/matidukuri/2494/ https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/chiho-usousei/	 住民ミーティング開催状況 

事業概要【誰もが躍動し 寄り添い集う 全世代共奏プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道奈井江町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	580,028千円 (139,226千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・誰もが活躍できる就労の創出と定住促進 ・誰もが健康で、安心して暮らせるまちづくりの確立 ・地域資源を活かしたまちづくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【活躍・しごと】新しい働き方やしごとの創出と、活躍の場の提供 短時間ワークシェアリング事業 しごとコンビニの運営 43,677千円 【住まい】ニーズに合わせた住まいと移動手段の確保 空き家活用情報提供、相談や空き家運用モデルなど 39,404千円 【健康】多世代のニーズに合わせた健康づくり事業の充実 健康づくり企画、運営、人材育成 15,951千円 【交流・居場所】新たなコミュニティのあり方検討と創出 音楽を中心とした地域課題解決やまちづくりなど 18,182千円 【都市部等との連携】都市部等との連携と取組の情報発信 都市部民間企業との地域課題解決プロジェクトなど 22,012千円	 しごとコンビニの作業風景(サツマイモ選別作業)	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①活躍人口数 (+3,701人) ②関係人口及び移住・定住者数 (+1,213人) ③起業件数 (+15事業所又は人) ④ふるさと納税寄付額 (+4,250万円)	関連URL	地域再生推進法人 一般社団法人ないえ共奏ネットワーク www.naie-kyousou.net 交付金の具体的使途・実施体制・効果検証調整中

事業概要【未来に咲きほこる「北竜ひまわり商社」（仮称）構築プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道北竜町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	379,734千円（85,570千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・ひまわり観光拠点や産直施設の収益性向上を図る ・ひまわり開花時期以外の来訪者や増加させ、町内消費を拡大させる。 ・新たな仕事の切り出し等を行い、雇用機会の拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	みんなで創り・育てる「地域商社」事業 ・セミナー開催費（委託料）：500千円 ・「ひまわり時間」（仮称）設立準備・支援費（委託料）：4,500千円 ・プロモーション展開費（委託料）：5,499千円 ・イベント開催経費（補助金）：4,700千円 ・ひまわりの里誘客受入管理運営経費（委託料・需用費等）：36,758千円 ・アクティビティ開発関連業務委託費（委託料）：2,000千円 ・サンフラワーパーク北竜温泉魅力充実費（委託料）：2,000千円 ・移動販売システム構築検討費（委託料）：4,000千円 「外貨獲得×しごとづくり」のためのフィールド整備事業 ・「ひまわりライス」の販売拡大費（委託料）：8,700千円 ・農産物を活用した特産品製造等経費（委託料）：7,913千円 ・「ひまわり時間」（仮称）機能の企画・検討費（委託料）：9,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サンフラワーパーク北竜温泉売上高・・・（+325,000千円） ②新規就労者数・・・（+200人） ③観光入込客数・・・（+361.5千人） ④新規商品・サービス開発数・・・（+27件）	関連URL	http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/

申請者	北海道鷹栖町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	74,451千円 (22,970千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	住民の参画力を最大限に発揮するとともに、都市部からの人の流れや域外参画との化学反応により多様で新たな活力を創造していくことで、持続性と発展性のある生涯活躍のまちを構築する。 ■ 地域に自らしごとを生み出す移住者人材の確保を図る ■ 担い手人材及び官民連携によるまちづくりを持続的に、かつ成果を最大化するための仕組みづくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■ 1. 地域に新たなしごとをつくる人材を創出するための移住プロモーションサイクルの構築 (10,770千円) ■ 2. 子ども期から切れ目なく構築する若者人材育成モデルと関係人口をネットワーク化し、地域に新たな価値を共創するサイクルの推進 (4,800千円) ■ 3. 首都圏大学と地域との連携による課題解決プロジェクトの実施 (2,400千円) ■ 4. ICT×リアルハイブリッドで、全世代交流と全世代の健康を実現するプログラムの推進 (4,900千円) ○鷹栖町版生涯活躍のまちの推進 誰もが活躍できる地域社会の実現 ▶子育て世代の希望を実現する、保育環境の整備やサポート体制充実 ▶「ごちやまぜ」の多世代交流、居場所づくり ▶あらゆる世代の健康を実現するまち、世代に応じたプログラムの推進 ▶個性を生かして輝けるしごとづくり、新しい就労支援モデルの確立 ▶市街地と農村部、それぞれの資源を生かして魅力を高めるまちの形成 ○地域の創生を担う人材の育成 ▶地域づくりの担い手となる人材の育成 ▶持続可能な地域運営の仕組みづくり ▶本物に触れ、ふるさとに誇りを持つ「ふるさと共育」の推進 ▶高校生など若者が地域で働く環境づくり 希望が叶う住み続けたいまち 人材循環 都市部からの人の流れ ▶まちに住む人の姿、まちのビジョンに「共感」と「参画」を伴う移住 ▶豊かな感性や創造性でまちに新たな刺激や活動を生み出す移住 ▶都市部の若者や企業、まちにゆかりのある方など「関係人口」の関わり		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① ICT技術を活用する新規就農者数 (+4人) ② 移住者や関係人口と町民との共創により新たに生まれた課題解決事業 (+9事業) ③ 移住者が関わる起業件数 (+3件) ④ 町内におけるきゅうりの年間出荷量 (+25t)	関連URL	https://www.town.takasu.hokkaido.jp/gyosei/administration/detail.html?content=983

事業概要【風土水×地方×都市が育むWell-beingなライフスタイル推進プロジェクト～未来の上川人育成推進事業～】

推進当初

申請者	北海道上川町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,900千円(12,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本事業は、事業期間3年間に実施する事業の枠組みは固定しつつ、各年度に実施する事業は、各学び期に合わせた、内容やターゲットを段階的に変化させていくことで自走化へのスムーズな移行を図る。体験型キャリア教育の実施や社会人研修、未来人育成のための各種講座やワークショップの開催については、ICT機器を使用しながら、オンライン上の様々な学習コンテンツや民間の知見も適切に活用することで、子どもたちをはじめとした学習者の学びの可能性を広げていく。また、グローバル化に対応したプロジェクト型学習プログラムの開発、実証や大学の資源（教員、教材）を活用した高度な教育活動との連携についてもICT機器を活用し、上川町の地域性を最大限に活かした学習プログラムの構築及び大学との連携を図るものとする。これらの取組の推進に当たっては、住民が、自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付けることができるよう、学習者主体の学びのカリキュラムやコンテンツなど一線で活躍する人たち（本物と触れ合う）と地域住民との交流を促進することによって、多様な価値観を育み、自ら価値を創造する人材を育てることによって、プログラム参加者が多様性のある地域を支える人材へとなることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①各種調査分析、計画策定、外部有識者アドバイス体制構築等の取り組み（4,000千円） ②魅力発信事業の実践やIT化の推進、学習プログラムの開発と実践（3,500千円） ③教育人材等の確保育成、大学・企業等との交流（5,410千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口の転入者数 +15人 ②魅力発信事業発行によるSNSへのリーチ数 +7,500人 ③人材（次世代担い手）育成プログラムの参加者数 +300人 ④上川高校の入学人数の増又は現状維持 +8人		関連URL 調整中

【中富良野町地域商社による持続可能な強い農業を中心とした地域産業創造事業】

推進当初

申請者	北海道中富良野町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,722千円（31,950千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・地域商社を構築し、販路の拡大によって収益性を改善させて担い手を確保し、その担い手による収益性の高い製品の収量増加、加工による新商品開発支援等を行うことで、農業の収益性を向上させる。 ・ICTを活用した新たな販路などで情報収集・検討、効率的な農業の実現も支援しながら、より強い農業を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域商社機能を担う人材雇用と育成 ・コア人材2名の雇用（人件費5,600千円×2名） ・従業員への教育（研修費750千円） ○販路開拓に向けた取組み ・販路開拓のためのテストマーケティング実施（委託料5,000千円） ○販路の拡大 ・商談会等への参加（商談会等への参加費用500千円、生産者・地域商社社員旅費1,000千円） ・信用金庫ネットワーク先等への販売ルート確立（生産者・地域商社社員旅費1,000千円） ・商品PR等宣伝費（広告料2,500千円）、ネット販売チャネル構築費用（委託料2,500千円）、諸経費（事務費500千円） ○農業の収益性向上に繋がる観光施策と連携した事業 ・体験型アグリツーリズム（農業体験・収穫体験・料理体験費（事務費400千円、備品リース費600千円、消耗品費300千円、農産品調達費700千円）	 ラベンダーの植替体験	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域商社事業における売上高（+40,000千円） ②園芸作物の作付面積（+18ha） ③中富良野町へのふるさと納税額（+80,000千円） ④ネット販売へのアカウント登録者数（+5,000人）	関連URL	調整中

2

事業概要【地方創生人材確保・育成事業】

推進当初

申請者	北海道下川町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,309千円 (28,359千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・住まいからライフプランまでの総合的にサポートを行う移住施策 ・人材の確保及び地域における長期的・戦略的な人材育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	移住体験ツアー しもかわ移住体験 くらしごとツアー 移住検討者向け #道産子馬とカふれあい #焚き火 #川あそび ○移住希望者とのマッチングの強化 ・総合移住プラットフォーム (負担金) 15,010千円 ・空き家調査 (委託料) 4,500千円 ○将来的な移住・定住を見据えた関係人口の創出・拡大 ・地域CO2収支調査 (委託料) 1,000千円 ○地域課題解決の担い手となる人材の育成 ・子どもを対象とした探究学習、キャリア教育の実践 (報償費等) 3,251千円 ・より実践的なICT環境の構築 (報償費等) 910千円 ・林業・林産業の人材確保 (手数料等) 1,088千円 ・林業・林産業における効果的な人材確保に向けた検討 (補助金) 500千円 ・産業分野へのIoT導入 (補助金) 2,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談者の就労数 (+42人) ②移住者数 (子育て世帯) (+8組)	関連URL	https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/gyousei/2023/12/30.html

申請者	北海道中頓別町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	63,673千円 (22,736千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	①関係人口を交えたコモンズ形成を図る ②くらし相談支援となる推進体制を整える ③「共助」のマッチング機能強化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関係人口を交えた町民への聞き取り、WS、推進協議会の運営等を通じて、事業全体の推進委託業務 (4,8070千円) ○「なかとんくらし座談会」を開催、住民相互支援型の新たな相談窓口の実践支援委託業務 (5,676千円) ○地域生活サポート事業の実践と改善・工夫支援委託業務 (1,082千円) ○ボランティアドライバーとのマッチング事業 (2,370千円) ○しごとマッチング機能の促進支援委託業務 (4,035千円) ○コモンズ拠点化形成のための専用施設の運営管理 (1,175千円) 住民相互の「共助の仕組み」を構築し、持続可能な中頓別町の実現 (中頓別町版コモンズ (※2) の形成)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①就労マッチング件数 (+41件) ②全世代型ファミリーサポートのマッチング件数 (+45件) ③関係人口数 (+35人) ④相談件数・アウトリーチ件数 (+45件)	関連URL	https://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/bunya/54262/

事業概要【「ワタシノ」居場所創造によるまちの活力創造事業】

推進当初

申請者	北海道小清水町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,181千円 (17,703千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	新たな防災拠点型複合庁舎建設に際し、単に役場機能のみを整備するのではなく、中心市街地の活性化と地域住民コミュニティ再生の場を醸成するため、人々が集いたくなるような賑わいを創出する機能（カフェ・ランドリー）を設置するとともに、地域住民の健康増進に向けたスポーツジムの展開する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○事業運営主体の安定的な経営を図るため、2年目で実施した各計画に基づく進捗確認と検証作業およびブラッシュアップ委託費 7,663千円 ○スポーツジムにおけるアウトドアフィットネスのプログラム実施制作費・PR費 3,000千円 ○町内共通地域ポイント等の導入に向けた調査・設計費 5,500千円 ○移住者を含む関係人口拡大に向けた交流事業費 1,540千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①賑わいのある空間利用者数（+750人） ②事業を通じた移住者数（+9人） ③民間企業職員(ワーケーション含む)受入数（+20人） ④まちづくり応援出資者数（+200人）		（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/hotnews/detail/00009744.html

事業概要【デジタル人財定着・還流・育成モデル構築事業】

推進当初

申請者	青森県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	149,611千円 (39,357千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	デジタル人財の定着・還流及び県内企業におけるデジタル人財の育成を促進し、県内産業のデジタル化を推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル人財の定着促進（委託料等）11,322千円 ・県内大学・専門学校の学生などを対象とした業界研究会、高等学校における出前授業 ・ビジネスデータ活用実践ワークショップ、デジタル技術研修・セキュリティ対策研修等の開催 ○デジタル人財の育成モデル構築（委託料等）16,571千円 ・地域企業のECサイト販売力ステップアップ支援・セミナー開催及びテストマーケティング等 ・女性や農林水産業従事者等を対象としたデジタルスキル講座の開催 ○デジタル人財の還流促進（委託料等）6,668千円 ・県外デジタル人財と県内IT企業等とのマッチング交流会の開催 ○デジタル人財が能力を発揮できる県内企業環境の整備（委託料等）4,796千円 ・デジタル技術活用に向けた企業の体制構築及び生産性向上のためのデジタル技術の普及拡大  (ビジネスデータ活用実践ワークショップの様子)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①情報処理・通信技術者として就職した割合（+17%） ②高等学校等卒業者の情報通信業への県内就職率（+2%） ③デジタル人財育成モデル構築数（+10企業）	関連URL	（交付金の具体的使途等） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html （政策点検） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html

事業概要【あおもり脱炭素チャレンジプロジェクト】

推進当初

申請者	青森県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	327,584千円 (56,872千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・本県の脱炭素社会の実現に貢献する事業者や人材の育成・参画を促進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○再生可能エネルギーを活用した地域の産業振興（委託料等）22,523千円 ・事業者等に対するアドバイザー派遣、地域エネルギー事業モデルの構築と成果報告会の開催 ・県内の工業系高校生等を対象とした現場体験研修、県内企業を対象とした研修会 ○グリーン関連産業の創出と誘致促進（委託料等）32,105千円 ・立地意向調査やプロモーション等によるグリーン関連産業の誘致促進 ・展示会へのブース出展や産業拠点形成に向けた研究会等による新レアメタル精製技術活用による産業創出 ○脱炭素社会実現に向けた事業者・団体、県民等の取組促進（委託料等）2,244千円 ・省エネ診断から省エネ対策までの一貫した伴走型支援の実施等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①風力発電関連産業に参入している県内事業者数（+6社） ②アップサイクルに関する新ビジネス創出数（+5件） ③県内事業者省エネ診断受診件数（+25件）	関連URL	（交付金の具体的使途等） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html （政策点検） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html



（高校生を対象とした現場体験研修）

事業概要【民間企業が主役のパートナーシップによる県内就職促進プロジェクト】

推進当初

申請者	青森県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,902千円 (23,508千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若者を中心とした県内定着と還流の促進により、県内産業における労働力不足の解消を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○あおり地元就職推進パートナー企業ネットワークによる県内就職促進の取組支援（委託料等）15,949千円 ・パートナー企業と連携した県内就職プロモーションの実施 ・県内就職応援キャンペーンの実施 ○教育現場と企業のマッチング促進（委託料等）4,853千円 ・教員等が教える「上手な新卒求人のかた」セミナー ・企業進路指導担当者の懇談会を開催 ○学生と県内企業の相互理解促進（委託料等）2,706千円 ・企業・大学連携型インターンシッププログラムの開発  (県内大学における合同企業説明会)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高卒県内就職率（+3%） ②あおり地元就職推進パートナー企業の登録数（+60社） ③インターンシップ新規受入企業数（+30社）	関連URL	(交付金の具体的用途等) https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html (政策点検) https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html

事業概要【新しい働き方担い手誘致・移住促進事業】

推進当初

申請者	青森県青森市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	52,409千円 (12,808千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少・少子高齢化の進展や生活様式の変化に伴い、多様化・複雑化する地域課題等に適切に対応するため、地域活力の維持・向上や移住希望者等のニーズに応じた体験機会の充実を図るとともに、地域との関わりを持ちながら多様な分野で活躍できるよう効果的な情報の提供、支援の充実を図ることで、本市への人の流れを加速させ、本市における人口の社会減の改善を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域交流型移住体験の実施 ・長期移住体験施設借上料等 1,200千円 ○販売型クリエイターワークショップの実施 ・ワークショップツアー実施経費（委託料）3,245千円 ・マルシェ＆クラフト市開催経費（広告費、借上料、委託料等）396千円 ・ワークショップ開催経費（委託料）330千円 ○移住促進のための情報発信 ・情報発信番組作成経費（消耗品費、委託料、使用料等）6,179千円 ・トップセールスに係る経費（旅費）1,458千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+30人） ②ワークショップ体験参加者数（+46人） ③移住体験参加者数（+30人） ④YouTube再生回数（+1,706,732回）	関連URL	（交付金の具体的用途等） https://www.city.aomori.aomori.jp/enkeisuisin/kurashi-guide/sumai/iju-koryu-shiensite/toppage.html （効果検証） 調整中

事業概要【健康とまちのにぎわい創出事業】

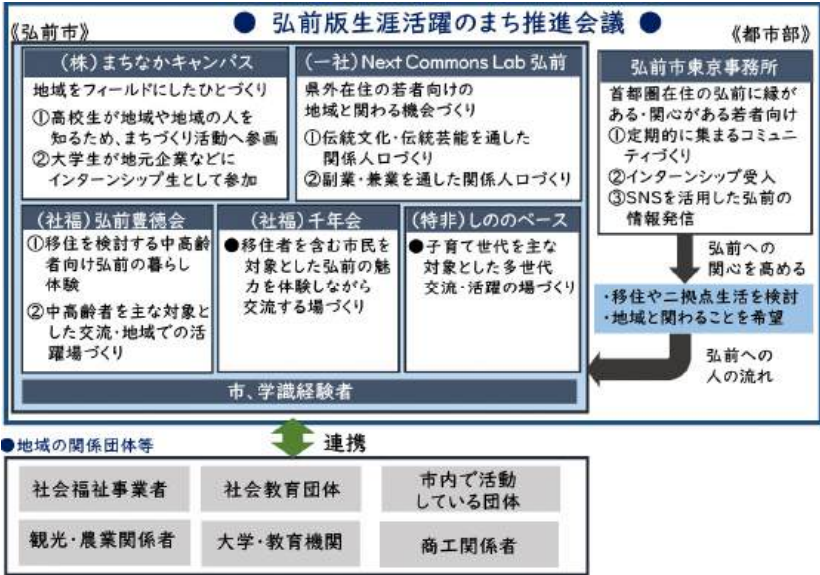
推進当初

申請者	青森県弘前市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	126,985千円 (47,165千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・中心市街地をフィールドに含めながら、市民の健康寿命延伸につながる様々な施策を展開し、市民の健康増進と中心市街地の活性化を図る ・弘前大学と連携し、同大学が開発した、健診と啓発を即日で行う「QOL健診」の普及展開も並行して進め、当市が目指す「健康都市弘前」の実現に向けて重層的な取組を展開する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○健康づくり分野および中心市街地活性化に精通する事業者から支援を受けながら、中心市街地をフィールドに、働き盛り世代を中心とした健康意識の向上と行動変容を促すとともに、中心市街地のにぎわい創出にもつながる様々な事業を検討・実施 (委託料) 37,458千円 ○商店街振興組合等が行う健康をテーマとした取組を支援 (補助金) 2,000千円 ○健康増進策を普及展開していく市民人材を育成、活用 (委託料、消耗品費等) 1,691千円 ○民間企業の従業員に対する運動教室等の健康増進の取組、ひろさき地方創生パートナー企業からの健康増進策を普及展開 (委託料等) 900千円 (補助金、負担金、消耗品費等) 5,116千円 【まちなかでの健康イベントの様子】  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地の歩行者・自転車通行量 (+4,500人) ②メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合 (▲3.5%) ③特定健康診査の受診率 (+13.4%)	関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihousousei-koufukin.html (効果検証) 調整中	

事業概要【弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」】

推進当初

申請者	青森県弘前市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,908千円 (25,586千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・移住者や関係人口等の外部人材を活用することにより、地域の伝統文化、伝統芸能、地場産業の次世代継承を図る ・学生が地域を知り、企業等と連携して課題解決に取り組むことで、地域で人材を育て、地域に還元する仕組みの構築を目指す ・首都圏でも地元への関心を持ち続けられる機会を作ることにより、若者のUターン移住者や関係人口の増加を目指す ・様々な人が交流し、活躍できる持続性を持ったシステムの構築を目指す		
事業概要・ 主な経費	○地域の伝統文化等の体験や、地場産業への関わり、地元住民との交流機会を作ることによる、弘前とのつながりづくりのための企画実施 ・若者向け関係人口づくりのための企画・運営 (委託料) 7,000千円 ・中高齢者向け弘前暮らし体験のための企画・運営 (委託料) 1,200千円 ○学生の地域志向醸成等を目的とし、地域活動へ参加する機会や、企業・店舗等へインターン参加する機会づくりのための企画実施 ・人材育成プログラム構築のための企画・運営 (委託料) 8,100千円 ○弘前圏域出身の若者のつながり強化や情報発信 ・コミュニティづくり推進のための運営費 (イベントゲスト謝礼、会場借上料、広告掲載委託料、SNS利用料等) 2,490千円 ○地域住民や関係人口の交流・活躍の機会創出のためのイベント等の実施 ・交流・活躍の場を創出するための企画・運営 (委託料) 5,500千円		
KPI	①弘前市への移住者数 (+195人) ②弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」関係人口創出事業への参加者数 (+105人) ③地域をフィールドにしたひとづくり参加者数及び首都圏における若者コミュニティづくり参加者数 (+675人) ④弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」推進事業 交流・活躍の場創出事業参加者数 (+1,050人)		



(交付金の具体的使途・実施体制)
<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihouseisei-koufukin.html>
(効果検証)
調整中

事業概要【はちのへAI（アイ） 中心街・バス活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	青森県八戸市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	214,443千円（17,539千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	デジタル技術を活用し、コロナ禍で疲弊した中心街の賑わいの復活と中心街商店街の経済活性化、観光客、来街者の利便性の向上、回遊性の向上を図り、中心街のさらなる賑わい創出を図ること。また、デジタル技術を活用し、バスICカードの利用をさらに促進し、バス利用者の増大に繋げるほか、ハチカポイントを活用した中心街の賑わい創出・地域経済活性化に繋げていくとともに、バス路線最適化など利用者の利便性の向上を図ること。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中心街のイベント情報など情報を発信するアプリの運営 ・アプリ運営費、企画管理費、導入セミナー費、チラシデザイン印刷費等（委託料）6,270千円 ○MaaSシステムの運用 ・システム活用等（委託料）3,585千円 ○まちなかWi-fi、AIカメラの運用 ・維持管理経費（使用料等）7,041千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地歩行者通行量（+3,000人） ②バス利用者数（+680,000人） ③本事業によりキャッシュレス設備を設置した市の施設におけるキャッシュレス決済使用件数（+10,000人） ④本事業により開発する中心街回遊アプリ、はちまちアプリ、八戸市中心市街地駐車場共用化システムの満足度（+70%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.hachinohe.aomori.jp/ （効果検証） 調整中



申請者	青森県藤崎町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	102,011千円 (32,496千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・ふじさき食彩テラスの冬期間の販売力向上 ・農産物のブランド化や、6次産業化の取り組みの多様化 ・農業就業人口の減少による担い手不足の解消 ・交流・関係人口の伸び悩み解消		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ソフト事業経費】 ○アクアポニックス農法導入内容のブラッシュアップや、屋内ファーム農産物生産の強化 ・屋内ファーム農産物生産アドバイザー 費等 1,500千円 ○農福連携コーディネーターの人材育成、障がい者の就労機会確保マッチング体制の強化 ・農福連携コーディネートアドバイザー 費等 8,093千円 ○青森さくらげ等の地域資源を活用した、特産加工品の開発やプロモーション活動の強化 ・新たな食の魅力アドバイザー 費等 10,606千円 ○りんご「ふじ」の原木を活用した観光×食体験プログラムを安定的に実施する環境の構築 ・ふじ原木りんごプレミアム産品開発及びブランディング費等 1,000千円 【ハード事業経費】 ○ふじ原木公園東屋整備工事（工事請負費・設計費） 9,130千円 ○ふじ原木公園案内サイン整備工事（工事請負費・設計費） 2,167千円  りんご「ふじ」の原木を活用した観光×食体験プログラム		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ふじさきチャレンジファーム農産物販売額（+60,000千円） ②農福連携による農業研修・農業体験者数（+1,000人） ③りんご「ふじ」の原木及び施設園芸を活用した観光体験プログラム利用者数（+1,000人） ④ふじ原木りんごプレミアム産品開発数（+9品）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） http://www.town.fujisaki.lg.jp （効果検証） 調整中

申請者	青森県藤崎町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	33,503千円 (12,801千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「住みよいまち」と「住みたいまち」との不一致の解消 ・行政プロモーション施策に係る課題解消 ・若年人口流出の抑制		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ふじさきローカルフォトアカデミア事業 ・ワークショップ開催およびメディア広告掲載費用（委託料）等 5,128千円 ○まちの映像クリエイター育成事業 ・映像制作講座クリエイター塾開催費（委託料）等 3,044千円 ○放課後まちづくりクラブFRAT運営事業 ・ワークショップ等運営費（委託料） 3,129千円 ○ふじさきアップルクリエイティブキャンプ開催事業 ・ふじさきアップルクリエイティブキャンプの開催費（委託料） 1,500千円  ふじさきローカルフォトアカデミア事業		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数の増加割合（2021年度比）（+10.8%） ②移住相談件数（+13件） ③交付金事業で実施する事業への参画者数（+15人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） http://www.town.fujisaki.lg.jp （効果検証） 調整中

事業概要【いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	122,103千円 (47,803千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域や地元企業の抱える課題に向き合うことで、地域に対する当事者意識が生まれ、より良い地域・社会の実現を目指して意欲ある若者の県内への就職（起業を含む）が増加する ・地域住民との協働的な学びを通じて、顔の見える関係性が生まれ、地元とのつながりが深まるため、県外に進学・就職した若者の将来的なUターンが増加する ・地域等と協働した高校魅力化の取組を全国に発信し、県外からの高校進学を促して、将来の関係人口やIターンの増加につなげていく		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学校と地域等関係機関との持続的・組織的な協働体制の構築・運営の支援 ・地域連携コーディネーター人件費等 9,666千円 ○地域における探究活動の促進 ・生徒の探究活動の取組経費等 14,512千円 ○魅力化事業の理念や方向性の全県共有・先導的取組の横展開 ・魅力化フォーラム開催経費等 556千円 ○魅力化の客観的な評価指標の導入 ・アンケート調査による事業評価（委託料） 7,150千円 ○県魅力化プロデューサーの配置・訪問支援 ・全県の統括プロデューサー活動費等 988千円 ○県外募集「いわて留学」に関する広報のバックアップ 0千円 ○若者による地域の魅力発信 ・若者交流イベントの開催経費等 14,931千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高校における高卒就職者のうち県内の企業・事業所等に就職した者の割合（+13.1%） ②①「自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」、②「将来、自分の住む地域で働きたいと思う」の2つの設問に肯定回答した高校2年生の割合の合計平均値【（①+②）/2】（+27.2%） ③学校の教職員と地元自治体・地元企業等の関係者等で構成される協議体（魅力化コンソーシアム）を設置している高校の割合（+79.69%） ④若者交流イベントの参加者数（+16,500人）	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【新たな地域資源創出による三陸交流拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,406千円 (33,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・持続的な交流人口の拡大や地域の収益力向上を図る ・世界の防災力向上に貢献する ・移住・定住を促進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 防災の学びによる観光地域づくり強化事業 ・調査分析、人材育成、情報発信等を実施 (負担金) 24,531千円 2 「防災を学習する場づくり」推進事業 ・協議会の運営等（報償費、旅費ほか）1,360千円 3 復興防災コンテンツを活用した交流人口拡大促進事業 ・地域イベントの開催と企画列車の運行（負担金）3,650千円 4 さけ、ます海面養殖イノベーション推進事業 ・種苗開発経費（需用費）3,759千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	・観光消費額（区域：沿岸13市町村、日本人） (+14.5億円) ・延べ宿泊者数（区域：沿岸13市町村） (+1.6万人泊) ・外国船社が運航するクルーズ船寄港回数 (+2回) ・三陸鉄道 県外団体利用者数 (+15千人)		関連 URL https://www.pref.iwate.jp/kens ei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【いわての地域産業DX推進事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,049千円 (22,867千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・中小企業デジタル化の促進に向けた伴走支援体制の構築・県内での事例展開によるニーズ掘り起こし拡大 ・ものづくり生産現場のDXシステム構築による生産プロセス最適化に向けた伴走型技術支援、実証実験の実施 ・商業・サービス業を中心とした中小企業のデジタル化支援		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	（１）中小企業デジタル化の促進に向けた伴走支援体制の構築・県内での事例展開によるニーズ掘り起こし拡大 ・中小企業デジタル化支援ネットワークの運営 702千円 ・中小企業デジタル化支援ネットワークコーディネーター設置 1,614千円 （２）ものづくり生産現場のDXシステム構築による生産プロセス最適化に向けた伴走型技術支援、実証実験の実施 ・ものづくりDXシステム構築支援委託 13,376千円 （３）商業・サービス業を中心とした中小企業のデジタル化支援 ・中小企業を対象としたデジタル化及びDXのメリットを伝える研修会 4,034千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じてデジタル技術等を導入した企業数（+36件） ②ものづくり産業における高度デジタル技術者育成数（+45人） ③商業・サービス業におけるデジタル化専門家派遣の支援を受けた回数（+24件）		関連URL https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【地方志向の高まりを生かした関係人口・移住創出による地域づくりの担い手確保事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	165,822千円（57,610千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	地域課題の解決を念頭に本県と首都圏の若者との人的交流を促進することで共助機能の補完を図るとともに、生活環境を整備することなどにより、交流から移住までの様々な関わりを通じた持続可能な地域コミュニティの形成を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 関係人口創出・拡大事業 ・複業を通じた地域と関わりを深めるモデル構築（委託料）6,116千円 ・環境整備、地域の共同作業やボランティア活動等への参画を通じた地域と関わるモデルの構築経費等 1,072千円 ・岩手の農業・農村に関わるための情報発信（委託料）4,466千円 ・ワーケーション等を通じた地域との関わり創出に向けたプロモーション展開（委託料）2,116千円 ・お試し就業・お試し居住の実施による地域の魅力体験機会の提供経費 8,062千円 2 若年層等の移住・定住促進に向けた環境整備事業 ・移住者用の住居環境の整備（委託料）26,410千円 3 岩手への関心を持たせる情報発信事業 ・岩手への関心や関わるきっかけとなる情報発信（委託料）9,368千円	岩手に誕生！ ➡ 遠恋複業課 岩手とお付き合いしてくださる複業人材を募集 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業の「関係人口創出・拡大事業」への参画等により新たに創出された関係人口（+203人） ②岩手県への移住者数（+625人） ③若者向けプロモーション動画の総視聴回数（18歳～34歳）（+65,000回）	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【いわて加速器関連産業振興事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	111,028千円 (23,403千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ものづくりのグローバル拠点化と新産業の創出 ・加速器関連産業の振興 ・県民の所得向上や質の高い雇用機会の拡大 ・本県のものづくり産業全体の人材の育成と確保 ・東北における加速器関連産業の世界的な拠点の形成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	(1) いわて加速器関連産業研究会の運営 ・県内企業の参入促進や技術力向上を目的としたセミナーの開催（講師謝金・旅費） 1,116千円 ・展示会・学会への参加（負担金・旅費） 303千円 (2)コーディネーター配置による県内企業シーズ掘り起し、マッチング支援及び技術指導 ・コーディネーター活動費（謝金・旅費） 19,744千円 (3)性能評価に必要な機器整備及び環境整備、研究者による技術指導及び県内高校生の人材育成 ・研究者指導に係る費用（謝金・旅費） 2,240千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①加速器関連産業における新規共同開発件数（+2件） ②県内企業の取引支援件数（+6件） ③中高・高等専門学校生見学者数（+43人）	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html



企業向けの技術指導(チャレンジ部)

事業概要【地元学推進事業】

推進当初

申請者	岩手県久慈市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	77,910千円 (25,273千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少・少子高齢化の大きな要因である、若年層の就学・就職による社会減少に歯止めをかけるため、地元就職者・Uターン者の増加を目指す。Uターン・地元就職率は、地元愛着度に影響を受けるとされており、キャリア教育、体験型教育、地産地消推進、歴史文化・産業情報発信を通じ、地元愛の醸成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中学生を対象としたキャリア教育の推進、地元企業への定着に向けたセミナー、講演会、職業体験等の実施 ・キャリア教育推進事業（委託料）5,533千円 ・事業者育成促進事業（委託料）2,080千円 ○市内児童生徒等を対象とした体験型教育の推進 ・体験型教育受入体制構築（補助金）11,000千円 ・教育旅行受入地区開発経費等（委託料等）4,753千円 ○地元食材を活用した給食提供、生産者からの授業実施 ・食材購入、講師謝礼等（需用費・報償費）1,007千円 ○地元産業、中心市街地等の地域の特色ある魅力の情報発信 ・商店街、地域産業の情報誌・PR動画の作成（委託料）900千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①久慈管内新規高卒者の管内就職率（当該年度目標値+41.1%） ②Uターン者数（当該年度目標値+221人） ③市内自然体験受入校数（当該年度目標値+7校） ④地元愛に関する市民満足度（当該年度目標値+5件）	関連URL	https://www.city.kuji.iwate.jp/shisei/kekaku/sogotekinakekaku/sos_ei_kyougikai.html



事業概要【市内企業人材確保推進プロジェクト事業】

推進当初

申請者	岩手県遠野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,740千円 (17,282千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・市内企業向けの雇用創出を図る ・市内企業の人材育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内企業の魅力を発信するオープンファクトリーの開催 ・オープンファクトリー事業（委託料） 9,190千円 ○市内企業や若年者を対象としたセミナーの開催 ・雇用促進・定着事業（委託料） 1,490千円 ○WEB等のデジタル技術を活用した情報発信 ・遠野魅力発信事業（委託料） 3,000千円 ○雇用に関する情報発信を行う人材を採用 ・雇用アンバサダーの配置 (報酬・手当・社会保険料等) 3,602千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地方創生交付金事業により就職した就労者数 (+60人) ②オープンファクトリー参加者数 (+300人) ③ユースエール等認定企業 (+6社) ④新規学卒・UIターン・求職者全体の就職件数 (+150人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/46,76220,294,664,html (効果検証) https://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/46,66212,294,664,html



事業概要【とぴあ・まちなか再生プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県遠野市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,000千円（15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・“まちなか”に“ひと”と“しごと”を呼び込む好循環な地域づくりを目指す ・遠野市中心市街地活性化センター（とぴあ）の市内外の新たなターゲット開拓による集客力向上を図る ・担い手不足に対処するため、産学官連携によるデジタル技術を活用した省人化、省力化の取組みを図る ・まちなかを会場としたイベントを開催し、人々がまちなかを回遊する取組みを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○とぴあ・まちなか再生プロジェクト事業の検証と評価分析 ・検証、評価分析費用（委託料）1,000千円 ○とぴあ従業員等を対象とした販売力向上のための研修プログラムの作成及び実施と専門家による経営診断 ・スタッフ研修・経営状況診断費用（委託料）1,000千円 ○学生のDX推進の視点のアイデアを活かした集客事業の実施 ・集客事業の開催費用（委託料）2,000千円 ○コワーキングスペースの利用活用の省力化・省人化を図るシステム開発 ・システム開発費用（委託料）5,000千円 ○中心市街地を会場した「まち・まるごと産業フェスタ」の企画・運営 ・産業まつり開催費用（負担金）4,000千円 ○冬期間におけるまちなか集客事業の実証 ・集客事業実施費用（委託料）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①とぴあの販売額（+55,000千円） ②とぴあの入込客数（+42千人） ③中心市街地商店街販売額（+216,000千円） ④中心市街地商店街入込客数（+60千人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/43,0,213,html (効果検証) https://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/49,72333,265,547,html

事業概要【健康寿命日本一へ向けた かまいし はじめの一步プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県釜石市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,561千円 (6,176千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・健康寿命の延伸・働き世代の健康意識改革やワークライフバランスの確立へ向けて、生活習慣の改善を図る。 ・企業・事業所の健康づくりを推進するため、働き世代の生活習慣改善へ向けた職域へのアプローチを図る。 ・働き世代の行動変容を促すため市内スポーツクラブ及び市内スポーツトレーナーと連携し運動習慣の定着を図る。 ・健康づくりに取組む働き世代の増加や高齢者のICT普及を目指し、オンライン版健康ポイントの創設・普及を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業・事業所（働く社員）をターゲットとして市の保健師や管理栄養士、その他講師の派遣による健康講座を開催し、健康づくりの取組を支援する ・健康講座講師報償費 50千円 ・取組調査経費 126千円 ○個人をターゲットとして市内スポーツクラブ及び市内スポーツトレーナーとタイアップし、運動習慣づくりを行い生活習慣状況の追跡調査と、調査結果の周知を行う ・運動指導及びフォローアップ調査経費 市内スポーツクラブ等事業者 6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じて健康づくり(メディカルフィットネスまたは健康チャレンジポイント)に取り組んだ30歳-59歳の人数 (当該年度目標値+250人) ②事業を通じたメディカルフィットネスにおける体組成または健診検査項目の改善者数 (当該年度目標値+55人) ③健康チャレンジポイント満点者のオンライン利用者数 (当該年度目標値+100人) ④事業に参加した企業・事業所の数 (当該年度目標値+25社)	関連URL	令和5年度 運動習慣定着支援事業を実施しています！ 釜石市 (city.kamaishi.iwate.jp) 令和5年度 かまいし健康チャレンジポイント 釜石市 (city.kamaishi.iwate.jp)



事業概要【新幹線駅をハブにした新たな人流の創出、関係人口創出事業】

推進当初

申請者	岩手県岩手町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	79,114千円 (27,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	世界中の都市との交流が深化し、持続的に多くのステークホルダーや関係者を引き込み、オープンイノベーションの取り組みが行われ、新たな価値が創造される持続可能な地域社会を形成する。 また、「農業」「スポーツ」「アート」を柱とした「ブランディング」により、新幹線「いわて沼宮内駅」をハブとした、域外からのステークホルダーや関係者をより強い交流人口として引き込み、地域の活性化、地方創生を推進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関係人口創出プログラムの実施による地域内資源のコンテンツの構築 ・観光・関係人口創出コンテンツ実施調査、構築（委託料）5,000千円 ○オープンイノベーションの取り組みによる関係人口の創出実践事業 ・リビングラボプロジェクト実施（委託料）13,144千円 ○「x 岩手町SDGsツアー」事業 ・新幹線駅連携プロジェクト(自治体連携によるX岩手町SDGsツアー)実施（委託料）6,556千円 ・会場使用料（使用料）1,000千円 ・連携自治体関係人口創出（委託料）2,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①他自治体との連携による関係人口イベントの集客者数（+4,000人） ②インバウンドあるいは国内からの企業あるいはインフルエンサーの受入者数（+60人） ③新幹線沼宮内駅をハブにした周辺地域体験ツアーの開拓（+11件） ④農業体験による受け入れ者数及び新規就農者数の増（+30人）	関連URL	調整中

事業概要【持続可能な岩手町の未来を育む地域共創人材育成事業】

推進当初

申請者	岩手県岩手町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,758千円 (12,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	SDGsを共通言語とした取り組みを多世代に進めていくことで、町民や町内事業者をはじめ、都市部の企業、大学や有識者などを巻き込み、生徒の学びや実践を共有しながら、大人と子どもがともに成長の喜びを分かち合える関係者の輪を広げていく。 また、SDGsを共通言語とした学び合いの風土、共育環境を地域の魅力・求心力の一つとして訴求することで、交流人口・関係人口の裾野を広げ、活動人口を増やしながら移住・定住の促進を図る方途を探る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域・社会と教育機関とをつなげるコミュニティ形成事業 ・地域共創人材コミュニティ形成支援（委託料）1,000千円 ・SDGs活動副読本導入支援（委託料）2,000千円 ・「いわて町学」の開発（委託料）1,000千円 ○多様な学びと主体性教育事業 ・地域の担い手育成（委託料）3,500千円 ・みらいの教室運営（委託料）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①沼宮内高校、町内小中学校におけるまちづくり参画者数（+13人） ②町内企業への高校新卒就業者数（+10人） ③町内中学生からの地元進学率（+40%） ④地域共創人材に必要な10の資質のキャリア教育成果指数におけるキャリア向上指数（+4.0点）	関連URL	調整中

事業概要【紫波型断熱改修新規事業化事業】

推進当初

申請者	岩手県紫波町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	10,985千円 (3,750千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・紫波型断熱改修のブランディング化による産業の振興及び大手ハウスメーカーとの差別化 ・町内建設業者との連携による町産木材を活用した断熱改修製品の開発及び製造 ・エコハウスに関する高い技術、知識を学ぶセミナー等の開催及び断熱改修に従事する人材の育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○紫波型断熱改修新規事業化事業業務委託料 本事業は、「町産木材を活用した建設事業」という町の強みを活かしながら、既存住宅の断熱改修を推進するとともに、地域産業の原動力となる優秀な人材を育成・確保する仕組みを創出することで、町内の資源・人・経済が循環する持続可能な「なりわい」がある町づくりを推進し、「地域産業の稼ぐ力」の成長を推進することを目的とする。 ・ワークショップ、シンポジウムの開催 274千円 シンポジウム等を実施し、住民への周知啓発を図るとともに、昨年度実施したモデル住宅の実例をチラシ等により事業の周知啓発を行う。 ・紫波型断熱改修メニュー及び製品の販売製造 2,656千円 断熱改修のメニュー及び町産木材の製品を町内事業者流通するとともに、既存住宅へ広く普及させ、断熱改修を促進する。 ・断熱改修工法の人材育成事業 820千円 昨年度に引き続き、ワークショップやシンポジウムを実施するとともに、紫波町断熱改修協議会を設立及び開催し、事業者との意思疎通を図るとともに、当該工法に伴う担い手育成に努める。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①断熱改修売上額 (+16,000万円) ②製造・施工事業者数 (+15社) ③断熱改修施工件数 (+160件)	関連URL	https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/2/2_1_6/



事業概要【持続可能な森林資源の地域循環活用による移住定住・地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県九戸村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,916千円 (13,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	人口減少・少子化を抑制し、「誰もが住みたい、誰もが住み続けたい九戸村」を将来像に掲げ、森林資源の有効活用や、雇用に直結する、持続可能な林業の推進による定住・移住を目指す。 1. 林業人材の確保、持続的な林業技術の習得のための研修を行うとともに、施業地の確保を図る。 2. 林業収入の安定化、雇用の創出を図りつつ、森林資源を活用した村ならではの半林半X（副業）の経営モデルを構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 持続可能な林業、自伐型林業の推進（委託費7,000千円、一部機器リース含む） ・体験研修 ・施業研修 ・モデル林づくり※機器リース含む ・普及啓発フォーラム ・所有者との懇談会 ・研修人材の自立支援 ・薪ビジネスの構築（近隣、都市部への流通等） ※機器リース含む 2. 森林資源等を活用した半林半Xモデルの構築（委託費6,500千円） ・半Xとなる農業、観光、地域産業への実践実証 ・農林業6次化等の商品づくり、流通、販路開拓、ふるさと納税との連携 ・移住定住情報発信、移住体験ツアー ・企業研修など林業×観光ビジネスの構築 ・地域事業者連携会議（農林業、観光、地域産業等）の実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①持続可能な林業への新規就業者数（当該年度目標値+6人） ②持続可能な林業を行う面積（当該年度目標値+30ha） ③半林半Xの地域産業の連携事業者数（当該年度目標値+6事業者） ④研修会への参加人数（当該年度目標値+20人）	関連URL	https://www.vill.kunohe.iwate.jp



推進当初

48

申請者	宮城県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画 期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	252,803千円 (82,921千円)
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	企業の成長の障壁となっている人材不足や後継者不足の解消を図りながら、ビックデータ等を活用し県内の産業構造を見極めつつ、企業の成長分野への参入や販売力の強化を支援することにより、企業の成長を加速化し、新たな付加価値と魅力的な雇用を生み出していくことで、「地域経済の好循環」の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6 年度事業費	【企業の付加価値向上に向けた取組】 1 中小企業の販売力強化・販路開拓 (補助金) 32,550千円 2 地域経済構造分析推進 (委託費) 7,067千円 4 環境関連設備・デバイスの開発に向けた補助 (補助金) 12,500千円 【企業の人材確保に向けた取組】 1 次世代リーダー育成支援 (補助金) 6,000千円 2 県内児童・生徒へのキャリア発達支援 (委託費等) 11,336千円 3 外国人材活用促進や県内定着に向けた支援 (委託費等) 4,426千円 4 外国人材県内定着に向けた支援 (委託費等) 9,042千円 課題 産業成長の障壁(企業の人材、後継者不足) デジタル化や気候変動等の経営環境への適応 対応方針 成長分野への参入や 販売力の強化の支援 ・ビックデータの活用 ・マーケティング力の向上 ・新たな分野への市場参入促進 企業の人材確保 ・県内企業の認知度向上 ・外国人材の県内定着 目標 企業の成長の加速化 『地域経済の好循環』の創出		
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度ま での「KPI増加分 の累計」の目標 値	①製造品出荷額等増加額(食料品製造業を除く) (+1,209億円) ②次世代リーダー育成者数 (+36人) ③事業参加留学生の県内企業への就職者数 (+75人)	関連URL	調整中

事業概要【農林水産業の持続的成長事業】

推進当初

申請者	宮城県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,014千円（20,684千円）
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・農林水産業分野において、農業の魅力発信、ワンストップ支援体制の整備、女性農業者のもとでの農業体験、新規参入者への支援、スマート水産業の普及拡大、ドローン技術の活用等に取り組む。 ・これらの取組により、多様な担い手が農山漁村で起業・就職し、安心して働き続けられる環境を作るとともに、業務のスマート化技術の円滑な社会実装により、農林水産業の生産性向上・発展を進めることで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年 度事業費	1 女性が働きやすい環境整備推進（委託費等） 5,995千円 福利厚生充実等に向けた専門家派遣等 2 女性の新規就農者数の確保（運営費等） 6,175千円 地域の女性農業者による農業体験受入等 3 自伐型林業者等により構成される協議会員増加（運営費等） 4,048千円 地域及び自伐型林業者同士の連携体制構築等 4 スマート化の取組推進（委託費等） 4,466千円 魚市場や養殖業におけるスマート機器活用推進等 高齢化・気候変動・自然災害の影響を受ける農林水産業  多様な 担い手確保  地域連携  スマート化 推進 生産性向上・発展 地方創生の実現！		
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度ま での「KPI増加 分の累計」の目標値	①女性の農林水産業への新規就業者数（+19人） ②女性が働きやすい職場づくり、環境整備に取り組んだ企業数（+9社） ③スマート化に至った件数（+20件）	関連URL	調整中

50

事業概要【東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	宮城県仙台市ほか5自治体※	初回採択回	令和4年第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,000千円 (35,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・東北全体において人口減少と高齢化が急速に進展する中、東京圏に集中している人口や経済活力を獲得し、東北の元気に繋げるため、新たな「ひと」の流れを確立し、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を目指す。 ・東北の県庁所在地六市が連携し観光プロモーションを行うことで、国内外から東北への大きな人の流れを創出し周遊を促し、東北全体の交流人口の拡大と活性化を図ることで、持続可能な観光地域づくりを実現させる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 情報発信に関する経費 ・WEBページ更新、掲載記事取材等 (委託費) 6,000千円 ○ デジタル周遊スタンプラリー ・特設ページ作成、システム構築等 (委託費) 4,900千円 ○ 「東北絆まつり」を活用した観光物産プロモーションに関する経費 ・まつり団体派遣費用、企画管理調整費等 (委託費) 22,100千円 ○ 夏祭り等旅行商品造成販売支援に関する経費 ・六祭り体験プログラム作成、組込販売支援等 (委託費) 2,000千円	 情報発信 観光物産プロモーション	 デジタルスタンプラリー 旅行商品造成
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①東北の県庁所在地六市の延べ宿泊者数 (+4,800,000人泊) ②六市の夏祭り入込数 (+9,150,000人) ③観光物産プロモーション実施回数 (+6回) ④スタンプラリー参加者数 (+3,000人)	関連URL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

事業概要【仙台市スマートシティ推進事業】

推進当初

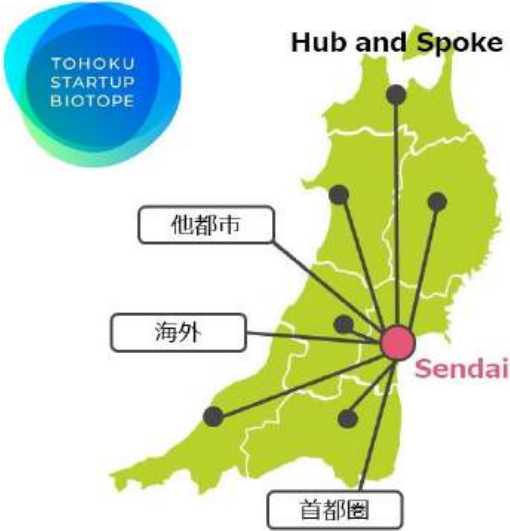
申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,777千円 (68,459千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・スマートシティを実現することで、地域課題の解決を目指す。 ・市民が日々の暮らしの中でデジタル化による利便性や手ごたえを感じられることで、住みやすい都市として選ばれるようになることを目指す。 ・仙台で構築したモデルを宮城、さらには東北へと展開し、東北全体の持続的発展につなげていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○データプラットフォームの運営 民間事業者によるデータの連携・利活用を図る。より利活用価値のあるデータの整備や、データ連携基盤活用サービスの創出等を行う。 ・プラットフォームの運営（委託料）18,495千円 ・オープンデータの整備（委託料）6,314千円 ・データ連携基盤の技術的支援（委託料）7,150千円 ○仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 産官学連携により新たなサービス層の実証等を効果的に進める。 ・協議会運営（委託料）18,000千円 ○ユースケース創出事業 地域課題を解決するサービスを充実させるため、民間事業者から具体的なサービスに関する提案を得て、先端的なサービス・アプリ開発等を行う。 ・複数のサービス・アプリ開発（負担金）18,500千円 The diagram illustrates the 'Smart City Realization' process. It shows a cycle where 'Data Utilization' leads to 'Service Enhancement', which leads to 'Digital Technology Introduction', which then feeds back into 'Data Utilization'. Below this cycle, various societal goals are listed: 'Realization of a Carbon-neutral Society', 'Reduction of Environmental Burden', 'Extension of Life Expectancy through Medical Cost Rationalization', 'Improvement of Community Resilience', 'Expansion of International Exchange and Inflow of Population', 'Ensuring Sustainable Mobility', and 'Digital Human Resource Development for SMEs'.		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①データを活用したサービスの実証実験および実装件数（+17件） ②本事業により創出したサービス登録者数（+1,150人） ③市民ポータル（仮）の利用者数（+1,300人）	関連URL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

事業概要【販路開拓エコシステムの推進による地元中小企業成長促進事業】

推進当初

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,390千円 (8,290千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・地元中小事業者の商品の魅力発信を行う。 ・域内外の顧客や販路先のニーズに対しての提案力を身に着ける。 ・首都圏等の大規模市場において、市場を確保することで、域外における継続的な地域商品の販売を実現する。 ・東北地方の中心地である本市の活性化及び東北地方全体の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○顧客、販売先ニーズへの対応支援 ・実店舗を活用した提案型販売支援（補助金）100千円 ・ECサイトを活用した顧客提案型の販売支援（補助金）650千円 ・事務局運営費用等（補助金）3,300千円 ○販売先に対応した商談・商物流支援 ・卸売事業者と連携した、販売先のニーズに対応した商談・商物流支援（補助金）640千円 ・販路開拓専門家と連携した、展示会等への提案型の出展、商談会及びテストマーケティング開催支援（補助金）3,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた商品・サービスの売上額（+100,000千円） ②本事業を通じて増加した商談件数（+450件） ③本事業を通じて増加した域外実店舗の売場獲得箇所数（+90箇所） ④本事業で支援した延べ事業者数（+370事業者）		関連URL https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

事業概要【「Capital of Social Innovation : SENDAI」の実現に向けたソーシャル・スタートアップ・エコシステム構築事業】

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	210,748千円 (79,455千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	国内外の社会課題解決に資するビジネスを創出するスタートアップ・エコシステムの形成促進のため、首都圏等の多様な人材向けの情報発信やマッチング機会の創出、支援人材の誘致等を通じ、ソーシャル・スタートアップが仙台・東北地方から持続的に生み出され、成長できる環境を構築する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ソーシャル・スタートアップの成果の情報発信、首都圏等の大企業とのマッチングプログラムの実施 ・運営費 (委託料) 9,925千円 ・プロボノ活動費 (委託料) 3,027千円 ・情報発信費 (委託料) 3,780千円 ○首都圏スタートアップ支援ネットワーク構築事業の実施 ・運営費 (委託料) 14,007千円 ・会場費 (委託料) 1,320千円 ・施設使用料 (委託料) 6,000千円 ・広報費 (委託料) 520千円 ○スタートアップに対するワンストップ支援環境の構築、推進する事業の実施 ・運営費 (委託料) 36,376千円 ・会場費1,500千円 ・広報費3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ソーシャル・スタートアップコミュニティ参加者 (+5,300人) ②プロボノマッチング数 (+35件) ③スタートアップ支援拠点利用者数 (+530人)	関連URL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	244,098千円 (88,175千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	世界の災害・気候変動リスク低減に向けて、産学官金あらゆるステークホルダーが集い、仙台・東北発のBOSAI-TECHビジネスが持続的に創出されるとともに、国内外での社会実装の拠点となるBOSAI-TECHイノベーション都市・仙台を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を通じた産学官金連携による事業化支援等業務委託 ・「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」運営業務委託料 8,800千円 ・BOSAI-TECH海外発信事業業務委託料 2,961千円 ・オープンイノベーションプログラム企画運営業務委託料 15,000千円 ・事業化支援業務委託料 23,200千円 ②「防災・減災産業創出プラットフォーム」の社会実装 (運用・保守) ・プライベートLTE基地局を含む通信機器等運用・保守 24,640千円 ・ドローンポート (自動収納BOX) を含む機体等運用・保守 13,574千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じたBOSAI-TECHに関連する新たな製品・サービスの開発件数 (プロトタイプを含む) (+97件) ②本事業を通じてBOSAI-TECHに関連する新たな事業開発及び事業規模拡大に着手する企業数 (+68件) ③本事業を通じた新たなBOSAI-TECHに関連する実証実験の件数 (+44件)	関連URL	 【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した新たな解決策を持続的に生み出す https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

事業概要【関係人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業】

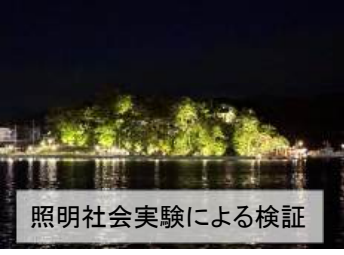
推進当初

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,105千円 (15,385千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農業と宿泊・飲食サービス業の取り組みを「農」や「食」を軸としながら一体的に情報発信することで、本市農産物の消費拡大とともに誘客促進・域内経済循環の拡大を図る ・環境に配慮した持続可能な農業の促進を通じた農産物のブランディングや、経済産業施策と連携した6次産業化による新たな商品やサービスの創出促進に取り組み、より強力かつ持続可能な情報発信を実施する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SNSやウェブサイトを活用した情報発信や東北の情報発信拠点として運営する飲食店での仙台産農産物のプロモーション等 (委託料ほか) 4,051千円 ○仙台あおば餃子のプロモーションや地産地消ガイドブックの作成 (委託料ほか) 1,887千円 ○仙台産農産物を飲食店等で提供する生産流通体制の構築等 (委託料) 3,900千円 ○学校給食へ提供する環境保全米を生産する生産者への支援 (補助金) 3,507千円 ○6次産業化御用聞き (報償費) 180千円 ○6次産業化の取り組みに対する専門家派遣と補助 (補助金ほか) 1,860千円  仙台産農産物の プロモーションイベント  6次産業化商品 (乾燥野菜)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①Instagramでのハッシュタグ「#とれたて仙台」投稿数 (+152件) ②6次産業化施設における従業員雇用者数 (+37人) ③新商品開発件数 (+9件) ④6次産業化訪問相談件数 (+24件) 関連URL https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html		

事業概要【サステナブルツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	132,765千円 (42,422千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	仙台・東北の交流人口拡大に向け、地域の関係者が一体となって戦略を立てるための検討組織を立ち上げるとともに、地域資源を活かした魅力的なコンテンツの造成と情報発信の強化に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域との連携体制構築：データ等を踏まえた仙台・東北の交流人口拡大に向けた戦略を議論する組織設置するとともに、仙台の個別のエリアごとにマネジメント体制を整備する。 ・16,570千円 ○戦略的な情報発信：上記デジタルマーケティング推進に記載のウェブプロモーションに加え、仙台・宮城・東北の「体験プログラム」の認知拡大と観光情報サイトの機能強化に取り組む。 ・5,352千円 ○コンテンツの充実：仙台・東北の地域資源を活かした新たなコンテンツの創出とプロモーションに取り組む。 ・20,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経済波及効果 (+118,040百万円) ②秋保地域社会増加数 (+38人) ③消費拡大額 (+55,067千円) ④宿泊者数 (+2,726,255人泊)	関連URL	https://www.city.sendai.jp/kankokikaku/senryaku-sakutei.html

申請者	宮城県気仙沼市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	274,640千円 (132,040千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・「気仙沼まちなかエリアビジョン」の取組を官民連携により推進し、「外貨を稼ぐ賑わいのまち」を目指す。 ・歩行者の滞留空間を創出し、周辺に立地する小売業、飲食業等の賑わいを図る。 ・まちなかエリアの夜間景観を形成するため、歩行者動線のポイントに照明を整備し、観光資源化を図る。 ・朝市などのイベントや多目的な活用ができるよう既存広場の改良整備を行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	令和4～5年度の取組状況  滞留空間創出社会実験  庁舎跡地の検討の様子  照明社会実験による検証  広場の活用に向けた取組 ○官民連携による「気仙沼まちなかエリアビジョン」の推進、市役所庁舎跡地の一体的な活用に向けた調査・活用検討・構想策定等 ・事業推進コーディネート等（委託料）56,509千円 ○社会実験や事業の取組を市内外へ発信 ・情報発信・エリアブランディング（委託料）1,500千円 ○夜間景観形成、観光資源化のためのシンボル照明の整備 夜間景観・照明ランドスケープ形成（工事費）7,000千円 ○歩行者専用道路化した道路に滞留が生まれるように、シンボル照明、デザインベンチ等の整備 ・市道南町19号線歩行者空間化整備（工事費）37,200千円 ○多目的利用のための既存広場の改良・高質化 ・広場空間の高質化整備（工事費）29,831千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客宿泊者数（+30,000人） ②社会実験の来場者・参加者数（+820人） ③事業と連携した民間事業者の参入・自走化（+6件） 関連URL 気仙沼まちなかエリアプラットフォーム https://kesenuma-daisakusen.com/ 気仙沼市 https://www.kesenuma.miyagi.jp/		

事業概要【富谷市初の地域商社を中心として「地域資源」をコーディネートする「とみやシティブランド」創出事業】

推進当初

申請者	宮城県富谷市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	31,620千円(8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	・市内に点在する特産品、歴史、伝統などの地域資源を新しい形でブランディングする「とみやシティブランド」として確立させることで、市民が自慢したくなるまちを創り出す。また新たな市の観光イメージとして定着させることで、市内の既存の観光施設や商業施設を周遊する仕組みを作り出し、観光消費額の増加に繋げていく。 ・富谷市が「魅力ある稼げるまち」であるというイメージを定着させ、自立した持続可能な魅力あるまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	官民が出資してできた富谷市初の地域商社が、地域商社の3つの機能である「①巻き込む力」「②事業の企画力」「③売り込む力」を活かして、商品開発から流通・販売までを一貫して、地域資源をコーディネートする役割を担い、「とみやシティブランド」の創出を行う。 ○富谷市初の地域商社を中心として「地域資源」をコーディネートする「とみやシティブランド」創出事業(補助金)8,000千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域商社の商品開発及び販路拡大における年間売上金額(+3,000千円) ②オリジナル商品等を扱うECサイトの運用による閲覧者数(+25,000人) ③市内の観光入れ込み客数(=交流人口)(+60,000人)	関連URL	https://www.tomiya-city.miyagi.jp/

事業概要【共創と文化のチカラによる多賀城創建1300年記念事業推進プロジェクト】

推進当初

申請者	宮城県多賀城市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	333,793千円 (140,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・東北随一の文化交流拠点を目指し、「本市へ新しいひとの流れをつくる」「人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」ことを目指すもの ・本市は観光客の集客力が低い状態にあり、創建1300年のもつ希少性を生かし観光集客力を高めるとともに、ハードソフト両面から市内の周遊性を高め、賑わい創出につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロモーション事業経費 21,000千円 ○1300年記念イベント運営経費 54,000千円 本市固有の歴史遺産にアートや文化芸術、最新技術を使って付加価値を創造する体験型・交流型のイベントを実施 ○1300年記念コンサート運営経費 22,000千円 多賀城の歴史を背景としたオペラや舞台 ○関連ワークショップ事業運営経費 2,000千円 創建1300年に向けて開発や復元したものをさらに深化させるとともに、販売や活用方法の開発を進め、イベント等で販売 ○1300年・南門完成記念式典開催経費 40,250千円 古代の装束を着用した儀式の再現などを行い観光客に一般公開するイベントを実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数 (+149千人) ②まちに賑わいがあると感じる割合 (+7.5%) ③多様な主体がまちづくりに関わっていると思う割合 (+1.5%) ④歴史文化活用事業参加者数 (+38,100人)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制、効果検証) https://www.city.tagajo.miyagi.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/keka ku/sogosenryaku.html

申請者	宮城県南三陸町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	284,940千円(50,780千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・南三陸高校でなければ学べない独自のカリキュラム「地域学・地域探求学」の創設、高校敷地内に公営塾を設置、県外から生徒を受け入れる全国募集を軸に起業家のような発想や行動ができる新時代のリーダーシップを持つ人材を育てる ・全国募集による県外生の受け入れに伴い町内外の関係人口の向上を図る ・地域住民を巻き込んだ交流会の実施及び各種イベントを行い地域の活性化を図る		
事業概要・ 主な経費	○行政と地域と高校を繋ぐ「高校魅力化コーディネーター」を配置し、SNSを活用した情報発信、事業の評価・見直しを行う協議会の運営（委託料）8,120千円 ○公営塾「志翔学舎」の運営業務（委託料）13,000千円 ○町をフィールドにして、課題解決に向けた調査と研究を行い、生徒の課題解決能力の向上を図る課題解決型学習「地域学・地域探求学」実施経費（委託料）2,000千円 ○高校生と地域住民との交流会（委託料）200千円 ・高校寮内で開催 ○地域の魅力発見ツアー実施経費（委託料）1,000千円 ○寮の運営委託 ・寮の賃貸借料・寮の管理運営業務（委託料）26,460円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①高校を核とした関係人口数（+118人） ②寮への入寮者数（+24人） ③公営塾「志翔学舎」年間利用者数（+3,092人） ④地域魅力発見ツアー年間参加者数（+280人）	関連URL	調整中

事業概要【「秋田の元気は港から!」みなと賑わい創出プロジェクト】

推進当初

申請者	秋田県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	574,200千円 (239,885千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	新型コロナウイルス感染症が収束し、観光需要の回復が期待されていることから、周辺自治体との連携により「みなとオアシス」として登録されている道の駅あきた港や道の駅おが等の拠点施設や、フェリー定期航路を活用し、魅力向上を図りながら、人・ものの交流拡大による港の賑わい創出し、その効果を港の背後地へ波及させることによって、地域の観光振興と経済の活性化につなげることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○港及び地域の観光施設・資源の磨き上げ ・旅行者ニーズ調査（委託料他）1,079千円 ・体験コンテンツ磨き上げ等（委託料他）42,342千円 ・商品開発と販売促進（委託費他）24,332千円 ・港におけるイベント開催等（委託費他）8,435千円 ・クルーズ船受入等（負担金他）140,325千円 ○効果的なプロモーション等による認知度向上と需要の掘り起こし ・トップセールス等（旅費等）18,672千円 ・フェリーを活用した旅行商品造成への支援等（負担金等）4,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅あきた港入込客数（+240,000人） ②道の駅おが入込客数（+60,000人） ③フェリー旅客数（+32,300人）		関連URL https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

※秋田県、秋田市、男鹿市による広域連携事業

事業概要【持続可能な地域コミュニティ形成事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,802千円 (24,202千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地域住民に加え、様々な関係団体が参加する地域運営組織の形成に向けた取組を推進する ・地域づくりに取り組む人材の育成を図る ・地域資源を活用したビジネス展開により集落等の維持・活性化を図る ・若年女性を対象としたネットワークづくり等を通じ、女性の参画による地域活動の充実を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域運営組織の形成等を推進するため、アドバイザーを派遣 ・地域づくり支援アドバイザー派遣事業（委託料）4,276千円 ○地域運営組織等が実施する課題解決に向けた取組に対する支援 ・地域運営モデル支援事業（補助金）4,000千円 ○市町村職員のスキルアップや情報交換のため、研修等を開催 ・地域運営組織の形成・拡大に関する研修（委託料）1,442千円 ○農村資源を生かしたビジネスや地域づくりに取り組む人材・組織の育成を推進するため、秋田県農山漁村プロデューサー養成講座AKITA RISEを開催 ・AKITA RISE開催（委託料）9,000千円 ○地域資源を活用した活性化事業に新規参画する集落の掘り起こしと活用支援 ・地域資源活用支援事業（委託料）669千円 ○農産物直売所等を対象とする商品開発、情報発信等に対する支援 ・直売所魅力アップ支援事業（補助金）1,040千円 ○女性の地域活動への参画に向けた新たなチャレンジやネットワークづくりを支援 ・未来をつくるロカジョサークル応援事業（委託料）3,111千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域運営組織の形成数（+11件） ②様々な分野の人材や組織をつなぐ地域協議会を設置し、農山村活性化活動に取り組む地域の数（+9地域） ③地域資源を活用した活性化事業に新たに取り組む地域の数（+6地域） ④農産物直売所全体の販売額（+240百万円）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	66,973千円 (22,612千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地域商社との連携のもと、商材を集約し、秋田港から輸出することで、輸出コストの軽減・効率化を図る ・県内大学と連携した取組を通じて、商材の磨き上げと、輸出をコーディネートできる人材の育成を図る ・酒粕を活用した資源循環酒を開発し、SDGs商品としてブランディングすることで輸出拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○（台湾・台北）食品展示会への出展、ECサイトやテレビショッピングでの県産食品の販売 ・展示会出展支援等（委託料）3,000千円 ○（台湾・台北）秋田港からの共同配送、百貨店フェアの開催 ・共同配送支援、百貨店フェア開催支援（委託料）3,000千円 ○（フランス・パリ）見本市への出展、訪問営業、その後のフォロー ・見本市出展支援、訪問営業支援等（委託料）7,000千円 ○（北欧・ヘルシンキ）食品展示会への出展、営業コーディネート ・商談会出展支援、営業コーディネート支援等（委託料）5,000千円 ○酒粕肥料・堆肥を活用した資源循環型清酒の製造 ・酒米生産、試験醸造（委託料）620千円 ・生育状況調査、酒粕肥料等の購入（事務費）2,806千円  （台湾）フード台北出展  （フランス）県内大学との連携  （北欧）食と文化のPRイベント開催  酒粕堆肥ほ場での生育調査		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①加工食品輸出額（+900万円） ②新規輸出企業数（+15社） ③資源循環型酒づくり日本酒輸出額（+400万円）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【サキホコレ！トップブランド確立事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	281,452千円（89,571千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・水稻新品種「サキホコレ」を秋田米のフラッグシップに据え、全国のトップブランド米として一定のシェアを獲得する。 ・新たなブランド誕生により、産地イメージの向上と栽培技術の底上げを図り、秋田米全体の販売力アップを図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○需要に応じた生産体制を整備するため、ICTを活用した生育診断技術を開発するほか、特別栽培標準化に対応した対策を実施する。 ・現地栽培試験等の実施（委託料等）8,944千円 ・生育予測・診断システムの実証（委託料等）3,160千円 ・指導者、生産者向け研修会の開催等（報償費等）2,444千円 ○総合プロデューサー監修の下、統一的なプロモーション展開を図るとともに、販売チャネルの開拓に向けた取組を推進する。 ・総合プロデューサーの設置（委託料等）2,370千円 ・集荷団体と連携した販路開拓（役務費等）1,186千円 ○テレビCMを軸としたプロモーションに加え、年間を通じた試食キャンペーンなど認知度向上に向けた取組を実施する。 ・テレビCMや各種キャンペーンの実施（負担金等）66,252千円 ○秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営（負担金等）4,940千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①作付面積（+2,320ha） ②特別栽培米の出荷数量（+1,067.4t） ③首都圏におけるサキホコレの認知度（+35ポイント） ④サキホコレを活用した加工品の商品数（+38商品）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【医療福祉・ヘルスケア産業成長促進事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	63,168千円 (26,751千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・人口減少や高齢化が進む本県において、県内企業が医療福祉・ヘルスケア産業に参入することにより、稼ぐ力を強化するとともに、魅力的な雇用の場を創出することにより人材流出の抑制を図る。 ・県内企業が提供する新たなヘルスケアサービスが活用されることにより、健康寿命が延伸され誰もが元気で活躍できる健康長寿社会の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	県内外企業の協業によるヘルスケアビジネスの創出支援 ・県内企業の協業によるビジネスプランの実証支援（補助金）10,000千円 ○医療機器等の開発力及び販売力の強化 ・オンライン上で展示・商談が出来るデジタルプラットフォームの構築・運営（委託料）3,853千円 ・ヘルスケア・医療機器等の開発支援（補助金）7,500千円 ・県内企業と製販企業等とをマッチングすることにより、医療機器等サプライチェーンへの参入を支援（委託料）4,399千円 県内外企業の協業によるヘルスケアビジネスの創出イメージ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①医療福祉・ヘルスケア関連産業への参画企業数（+30社） ②医療福祉従事者の現場ニーズと県内企業のシーズのマッチング件数（+15件）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【若者の働く場と安心な暮らしの確保推進事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	196,230千円 (83,161千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・若い世代の女性にとって働きやすい職場づくりを一層促進し、その県内定着を図るため、県内企業における女性活躍への取組を支援する。 ・人材育成や多様な勤務形態の導入等に係る取組を支援し、人材確保・定着に向けた企業の取組を促進する。 ・多様性に満ちた社会づくりを推進するため、県民の理解促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「えるぼし」認定を満たす数値基準以上の数値目標を行動計画に定める企業に対して補助するとともに、一定の要件を満たした企業を「えるぼしチャレンジ企業」に認定し支援金を交付 ・補助金 42,500千円 ・支援金 12,500千円 ○「魅力的な職場づくり」に向けたテーマ別講座や若手職員の異業種交流会等の実施 ・委託料 9,754千円 ○多様性に満ちた社会づくりを推進するため、県民の理解促進を図る広報・啓発や教育の実施、相談に対応する体制の整備、県民意識の醸成に向けたフォーラムの開催 ・広報・啓発（委託料） 14,206千円 ・フォーラムの開催（委託料） 3,003千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学生等の県内就職率（+4.3ポイント） ②差別等を感じた人の割合（▲2.1ポイント） ③支援を通じて「えるぼし」認定を受けた企業数（+9社）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540



多様性に満ちた社会づくりフォーラムの開催

事業概要【輸送機産業電動化等対応促進事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	567,771千円 (185,637千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・輸送機産業において、生産性や付加価値の向上と、安定した人材を確保する ・電動化に伴う事業拡大や新規参入に向けて県内企業を支援することによって、市場拡大初期にシェアを獲得することで生まれる優位性を確保し、市場拡大と共に成長する企業を多く輩出する ・県内企業の「稼ぐ力」を醸成し、出荷額の増加、企業収益の拡大、所得分配、社員の賃金水準向上へと繋げる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○業界参入セミナー（講師謝金、会場使用料等）462千円 ○企業PR就活イベント（委託料、会場使用料等）1,924千円 ○中核人材実践研修（講師謝金、会場使用料等）1,095千円 ○企業の研究開発支援（補助金）7,500千円 ○大学シーズ活用軽量部品開発（委託料）60,000千円 ○ビジネスマッチングコーディネーター配置（補助金）12,656千円 ○国際認証取得支援（補助金）2,000千円 ○受注拡大に向けた設備導入支援（補助金）100,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内輸送機産業の製造品出荷額（+3,150百万円） ②県内輸送機産業の給与支給総額年率（+6%） ③県内輸送機産業の新規雇用者数（大卒、高卒）（+39人）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【奥秋田サステナブルツーリズムプロジェクト

～地域の強みをサステナブルな取り組みに進化させ、稼ぐ観光へ～

推進当初

申請者	秋田県大館市ほか3自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	329,150千円 (91,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・エコツーリズムを核としたサステナブル・デスティネーションの確立 ・持続可能性に重きを置き、地域資源を活用した、観光で外貨を稼ぐ仕組みづくり ・観光消費額の増加を目指した、観光コンテンツやサービス・商品の再編集、付加価値の向上 ・人口減少及び少子高齢化により維持が困難となっている地域コミュニティや歴史・文化を持続可能なものに		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○協議会運営費 ・協議会事務局経費 6,700千円 ・全体戦略立案・実施運営・運営支援 4,800千円 ○観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備 ・来訪者アンケート・満足度調査 2,200千円 ・地域における自然環境に配慮した取り組みの拡大支援 2,640千円 ・修学旅行・農泊にかかる持続可能な実施基盤の確立 2,640千円 ・地元教育機関等を活用した受入態勢の構築 2,200千円 ○エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり ・潜在顧客や市場環境分析のためのマーケティング調査 2,200千円 ・サステナビリティを主眼とした来訪者獲得のためのPR戦略 33,640千円 ・エコツーリズムの推進とエコツアー開発 9,900千円 ・近隣DMOと連携した発着地設計とWebサイトの運用 7,700千円 ・地域の持続可能性に寄与する新たな産品・サービス等の開発及び販売 17,280千円 滞在型日本語学校 AKITA INAKA SCHOOL   上：伊勢堂岱遺縄文遺跡でのマタギと秋田犬のおもてなし 左：海外メディアやインフルエンサーを活用したプロモーションの展開 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への経済波及効果 (+4,339百万円) ②教育市場 (修学旅行等) 収入 (+3,128千円) ③農家民宿関連 (農泊等) 収入 (+1,559千円) ④来訪者の地域のサステナブルな取り組みに対する評価 (5段階評価) (+3.48ポイント)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) ※一部調整中 https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p11022 (効果検証) https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p10712

※大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の広域連携事業

申請者	秋田県大館市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	157,348千円 (36,988千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・スポーツツーリズムの推進により新たな観光客の増加を図る。 ・スポーツツーリズムによる観光消費額増加のため大会併催イベントにより参加者の宿泊日数増加を図る。 ・スポーツを行うソフト環境を整え、スポーツ実施率向上とスポーツを通じた交流の促進を図る。 ・スポーツ情報の発信により合宿やイベントの誘致、ふるさと納税等でのスポーツへの支援者増加を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 自転車を活用したスポーツツーリズム推進 ・ サイクルイベント開催 (委託料) 13,222千円 ・ MTBによるアクティビティ商品開発 (賃借料等) 762千円 ○ ハーフマラソン大会併催イベントの実施 ・ イベント会場設営 (委託料) 3,035千円 ○ スポーツ実施率向上のための環境づくりとスポーツ交流の促進 ・ 各種スポーツ教室の実施 (委託料・使用料) 7,401千円 ・ ポッチャ交流大会開催 (委託料等) 5,689千円 ○ AIカメラと動画共有サイトによる情報発信と合宿・大会の誘致 ・ スポーツ施設AIカメラの運用経費 (使用料) 2,811千円 ・ 動画共有サイト発信のコンテンツ制作 (委託料) 1,650千円 ・ スポーツ展示会出展による誘致活動 (使用料等) 2,418千円	 サイクルイベント (テストイベント) マラソン大会 併催イベント (クリニック) スポーツ教室 (体験イベント) AIカメラ本体 AIカメラ 試合配信サイト	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツツーリズムによる誘客 (+2,500人) ②スポーツ合宿及びスポーツ大会等による宿泊数 (+1,628泊) ③友好都市との交流事業関係人口の拡大 (+170人) ④スポーツ実施率 (+13%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) ※一部調整中 https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p11022 (効果検証) https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p10712

事業概要【労働生産性向上プロジェクト】

推進当初

申請者	秋田県鹿角市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	81,186千円 (29,165千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地元企業や農業法人等におけるICT設備の導入を促進する ・革新的な新商品の開発など付加価値の高い新分野への進出を支援する ・カイゼンの普及や人材育成、ダブルワークなどを推進し、労働能力の伸長を図る ・企業の財務分析による規模拡大及び事業の多角化への支援や、農業経営法人の経営改善を支援する		
事業概要・ 主な経費	※経費内訳はR6年度事業費 ○企業のDX推進やスマート農業の推進によるICT設備の導入促進 ・DX推進アドバイザーによるDX伴走支援費用 (委託料) 3,600千円 ・スマート農業推進経費 (負担金、補助金等) 6,200千円 ○商工業及び農業における新分野への進出に対する誘導及び支援 ・企業力向上アドバイザーによる課題抽出、検討・対策実施支援 (委託料) 3,745千円 ・起業・創業・第二創業や農業6次産業化の支援 (補助金等) 4,555千円 ○労働能力の伸長を目指した人材育成、人材確保のための取組み ・トヨタ生産方式でのカイゼンの普及指導 (委託料) 900千円 ・商工業者向けの資格取得支援やテレワーカー育成支援 (補助金、委託料) 5,688千円 ・農業者向け人材育成塾の開催、農業サポーターマッチング支援 (負担金、補助金等) 2,750千円 ○企業の財務分析による経営改善支援、農業経営法人への経営診断による規模拡大・事業多角化への支援 ・分析ツールを活用した財務分析費用 (委託料) 900千円 ・農業法人へのフォローアップ支援費用 (補助金等) 827千円		
KPI	①製造業付加価値額 (従業員1人当たり) (+32万円) ②農業産出額 (+88千万円) ③納税義務者1人当たりの総所得 (課税状況等調) (+206千円)	関連URL https://www.city.kazuno.lg.jp/shisei_machizukuri/shiikikasseika/6/5907.html	(交付金の具体的使途・実施体制、効果検証)

トラクター等の自動操舵に必要な
基地局の運用が始まります。

利用には別紙による申し込みが必要です。

鹿角市では、農作業の省力化、低コスト化を
目的に、令和5年4月よりRTK-GNSS基
地の運用を始めます。RTK-GNSSシステムを
搭載したトラクター、コンバイン、田植機等は、この信号を受信する
ことで高精度(誤差数cm)な自動操舵が可能となります。

対象者: 鹿角市に住民登録のある個人又は本店がある法人

かつ、水稲作付(飼料用米含む)10ha以上の認定農業者
かつ、対象機器※を所有していること。

※追加の機器(有料)が必要となる場合があります。詳細はメールまたは代理店に
お問い合わせください。

利用方法: 申込制(申込者多数の場合はポイント制で採択します)。

利用台数: 原則1ライセンス(2ライセンス以上はご相談ください)。
※同時に利用しない場合は、複数台で利用することができます。

受信範囲: 市役所から半径20km以内。

その 他: 利用料は無料(令和9年度まで)ですが、ま

スマートフォン(Android)にア

プは自己負担となります。

です。利用は1年ごとのい

お問い合わせ先: 鹿角市

の農業政策課

までお問い合わせください。

TEL: 0187-22-1111

FAX: 0187-22-1112

Eメール: kazuno@kazuno.lg.jp

※RTK-GNSSとは、GPS衛星と地上局の通信により、高精度な位置情報を取得する技術のことです。

※RTK-GNSSの運用には、専用の機器が必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用の基地局が必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用のソフトウェアが必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用のマニュアルが必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用のトレーニングが必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用のサポートが必要です。

※RTK-GNSSの運用には、専用のヘルプデスクが必要です。



申請者	秋田県鹿角市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	211,237千円 (72,179千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・国立公園八幡平における秋田八幡平の認知度を向上させる。 ・地域DMOへのデジタル人材の配置や観光人材のスキルアップ、移動手段の確保による受入態勢の整備を図る。 ・国立公園八幡平の魅力度向上に向け、デジタルマーケティングを活用した新たな体験型コンテンツを開発する。		
事業概要・ 主な経費	○観光キャンペーン、PRイベント及び広域連携による誘客キャラバン等の実施並びに認知度向上に向けたプロモーションの強化 ・市内外での誘客キャンペーンの実施 (負担金、委託料等) 17,271千円 ・広域連携による誘客キャラバン等 (負担金、補助金等) 9,019千円 ・インバウンド誘客促進のためのプロモーション (負担金、補助金等) 1,888千円 ○地域DMOへのデジタル人材の配置、観光市民ガイドコーディネーターの育成、周遊タクシーの実証運行による受入態勢の強化 ・地域DMOへのデジタル人材の配置 (補助金) 10,800千円 ・観光ガイドの育成、観光事業者へのコミュニケーション講座開催 (委託料) 9,900千円 ・周遊タクシーの最適ルート検討・実証運行 (委託料等) 4,505千円 ○デジタルマーケティングを活用した旅行商品・観光コンテンツの開発 ・観光ビッグデータの解析、観光消費額の調査・分析等 (補助金、委託料) 8,319千円 ・広域ツアー、長期滞在型プログラムの開発 (負担金、委託料等) 10,477千円		
KPI	※経費内訳はR6年度事業費 ①国立公園八幡平の観光客数 (+436千人) ②国立公園八幡平の宿泊客数 (+19,654人) ③デジタルコンテンツ分析結果を反映したWEBコンテンツ (観光PR) 動画再生回数 (+3,537回)		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制、効果検証) https://www.city.kazuno.lg.jp/shisei_machizukuri/shiikikass_eika/6/5907.html	



事業概要【グリーンツーリズム・景観価値を活かしたまちづくり仙北市観光地域活性化集中プロジェクト】

推進当初

申請者	秋田県仙北市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	40,288千円 (15,576千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	コロナ禍で激しく経済が落ち込んだが、仙北市独自の景観価値を最大限に活用し、地域の特色ある取り組みをブラッシュアップしつつ、観光消費額を上げていくために事業を進めていく。将来的には行政に頼らない民間主導の活動に事業をシフトし、企画立案の段階から、官民一体となって事業展開していくことで、長期的な利益獲得のため新たな観光需要を創出し地域経済を活性化させ高齢者や女性でも、全ての人が活躍出来る地域づくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルインフラを活用した農家民宿等における新サービスの実装 ・テレワーク環境構築費、実装に伴うセミナー講師謝礼 (委託料) 413千円 ○台湾/タイにおいて現地企業へ活動を委託し情報発信やセールス、現地事務所機能の構築、情報収集を実施 ・台湾/タイ誘客活動実施 (委託料) 7,557千円 ○仙北市観光情報をSNSで情報発信し調査分析を行い効果的なPRを実施 ・取材、情報発信、調査分析に係る経費 (委託料) 2,200千円 ○市内観光関連事業者を中心に観光動態調査を行い、コロナ禍で変動する観光市場の現状把握を図る ・アンケート調査実施経費、データ分析等に係る経費 (委託料) 1,616千円 ○国内外誘客促進のためのグリーンツーリズム宿泊施設のプロモーション映像の制作を行い、各宿の自主的な情報発信に向けて取り組む。 ・研修、視察等に参加した宿の動画作成費 (委託料) 3,267千円 ○トライアスロン合宿誘致のため首都圏にてセールス活動を実施 ・旅費、訪問先選定等事務作業経費 (委託料) 523千円	事業内容一例 (写真) 仙北市観光情報SNS情報発信 (角館武家屋敷通り記事)   台湾誘客活動 (台湾現地旅行セミナー実施)  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 宿泊者数 (+153,605人) ② 旅行者満足度 (+13.3%) ③ 新規旅行商品造成件数 (+7件) ④ 観光客数 (+2,818,132人)	関連URL	交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_to_pics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=semboku-city-iot

事業概要【次世代産業への参入促進による付加価値向上事業】

推進当初

申請者	山形県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	486,962千円 (170,406千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・下請け構造から脱却を図り、付加価値の高い製品の開発・製造を支援する。 ・県内企業の先端技術を活用し、新たな価値を有する事業の創出、新たな市場の開拓を推進する。 ・製造業従事者1人あたりの生産性を高めるため、企業のDX化やデジタル技術を活用できる人材育成を支援する。 ・企業誘致を促進することで、産業が人を呼び人が産業を呼ぶ好循環を創出する。		
事業概要・主な経費	1 成長分野への参入促進によるものづくり産業への構造転換の促進 ・次世代自動車関連産業に特化した共同研究を行うための経費、医療・福祉関係機器の開発支援を行う経費等 (補助金等：30,874千円) 2 先端技術等を活かした高付加価値な製品・事業の創出 ・県内研究所の研究シーズを活用した製品化支援、産学官連携コーディネータ配置経費、県内企業のDX推進に係る経費 (補助金等：49,334千円) 3 販路開拓や生産性向上による取引の拡大 ・販路開拓、商談会開催に係る経費を補助、企業の製造現場の改善等を行うアドバイザーの配置 (委託料等：76,342千円) 4 企業誘致の促進による戦略的な産業集積の形成 ・企業立地セミナーの開催に係る経費 (報償費等：2,650千円) 5 新時代のもので担う人材の確保・育成 ・技術者育成研修会の開催等に係る経費 (委託料：11,206千円) 基本目標「次世代産業への参入促進による付加価値向上」 【目指すべき方向性と施策】 ＜つくる力の強化＞ 1 成長分野参入促進によるものづくり産業への構造転換 2 先端技術を活かした高付加価値な製品・事業の創出 ＜売る力の強化＞ 3 販路開拓や生産性向上による取引の拡大 ＜産業活力の創出＞ 4 企業誘致の促進による戦略的な産業集積の形成 ＜人づくり＞ 5 新時代のもので担う人材の確保・育成 【社会経済の変化】 ○新型コロナウイルスの影響 ○国内外の競争力の激化 ○SDGsへの意識の高まり (国内乗用車販売の電動化率100%、水素利活用等) 【本県の現状】 ○人口減少・若者・女性の首都圏への流出 ⇒ 労働力不足 ○労働生産性が全国平均を下回る ○下請け構造 ○デジタル人材の不足		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①新たに成立した商談の件数 (+39件) ②成長期待分野に新たに参入する県内企業数 (+16件) ③新たにAIを導入する企業数 (+10件)		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/shingikai/index.html	

事業概要【山形の宝である多彩な環境・文化遺産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	山形県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	165,222千円 (52,464千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・自然と文化で育まれた山形の多彩な環境資産・文化資産の保全・活用・継承による持続可能な地域づくりを推進する。 ・山形ならではの精神文化や伝統文化、自然、景観、温泉、美食・美酒等本県の宝ともいふべき多様な環境・文化資産を活かし、人々が「行ってみたい」「また行きたい」と思えるような魅力ある地域づくりを展開する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【強みを活かした観光地域づくりの推進】 ・精神文化を訴求するコンテンツの磨き上げ及び魅力発信 (負担金等) 10,834千円 ・蔵王地域の知名度向上に向けた情報発信、蔵王を訴求する滞在コンテンツのブラッシュアップ (負担金等) 8,048千円 ・SDGs等新たな視点に基づくコンテンツの形成に向けた取組の支援 (負担金) 12,800千円 【環境資産や文化資産の保全・活用・継承】 ・魅力的な景観の保全意識の醸成に繋がる機会の創出と来訪意欲を喚起する情報発信 (報償費、費用弁償、一般需用費、委託料、使用料等) 4,200千円 ・デジタル技術を活用した魅力ある博物館展示システムの構築 (委託料) 1,496千円 【郷土愛の醸成と地域に活力を生み地域を支える次代の人材育成】 ・地域と関わりながら実施する探究型学習の活動に対する支援 (補助金) 12,566千円 ・郷土芸能や文化芸術活動を行っている子どもたちの活動発表会の実施に対する支援 (補助金) 2,520千円		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①蔵王を取り巻く地域 (山形市、上山市、天童市) の観光消費額単価 (+11,980円) ②県内主要温泉観光地の観光者数 (+5,050千人) ③やまがた景観物語「おすすめビュースポット」来訪者数 (+30千人) ④地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒 (小学生) の割合 (+4.3%)		関連URL (具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/shingikai/index.html

事業概要【人材・産業・地域のグローバル化推進事業】

推進当初

申請者	山形県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	77,866千円（29,514千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・外国人留学生の受入拡大・県内定着促進 ・県内企業における外国人材の受け入れ促進 ・若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じた、人材・産業・地域のグローバル化推進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①コンソーシアムによる留学生トータルサポートの実施 ・コンソーシアムへの負担金 6,592千円 ②企業経営者等による企業の国際化を促進する新たなコミュニティ形成の支援 ・セミナー等開催（報償費、会場使用料等） 230千円 ③国内外のリーダーや大学の学生等が県内の経営者、若者等と県内各地で議論・交流する機会の創出 ・YAMAGATA Youth Summit 開催費（委託費等） 18,976千円 ④建設業人材人手不足対策の実施 ・調査、セミナー等開催（委託費等） 3,524千円 ・建設キャリアアップシステム導入補助金 192千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じて増加した外国人留学生のうち卒業生の県内就職率（+16.89%） ②本事業を通じて増加した外国人留学生の県内受入数（+113人） ③本事業を通じて増加した海外取引を行う県内企業の数（+56社） ④サミット参加者数（+360人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/shingikai/index.html

事業概要【山形連携中枢都市圏DMO構築による広域観光促進事業】

推進当初

申請者	山形市ほか12自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,103千円 (17,197千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・山形連携中枢都市圏において、圏域内への更なる誘客促進や滞在時間の増加を図るために、広域観光を推進するとともに、これまで収益化されていなかった地域資源の旅行商品化等の取り組みを行いながら、圏域への観光を地域ブランドとして確立する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. DMO運営事業【4,500千円】 (1) 観光地満足度調査 (2) デジタル人材育成事業 2. 受入体制構築事業【1,458千円】 (1) アドベンチャーリズム推進事業 (2) アウトドア推進事業 3. 観光客誘客事業【11,000千円】 (1) VISIT YAMAGATA運営事業 (2) 7市7町ブランディング事業 ア インバウンド誘客事業 イ デジタルマップ事業 4. 事務局経費【239千円】 通信費、会議費等	アドベンチャーリズム推進事業 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（宿泊客）（+34億円） ②観光ポータルサイトVISIT YAMAGATAセッション数（+100万セッション） ③観光ポータルサイトVISIT YAMAGATA体験予約販売金額（+150万円）	関連URL	デジタルマップ事業 https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

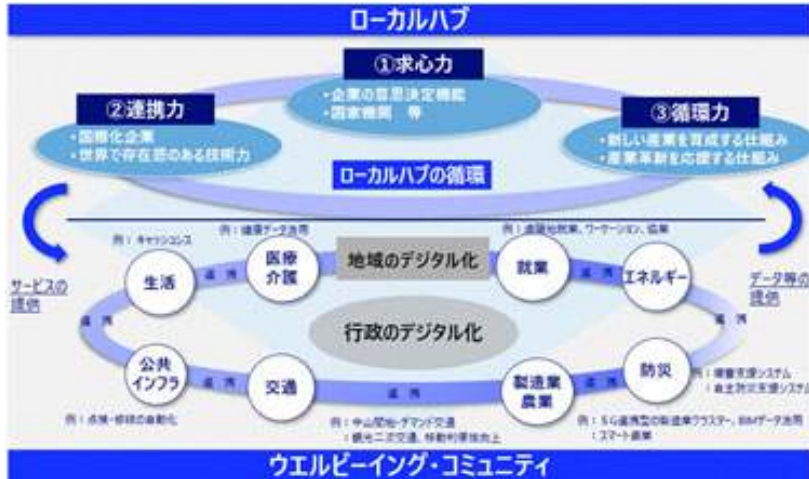
申請者	山形県山形市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,272千円 (9,719千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・生産性向上、介護の魅力発信、外国人材の受入環境整備、若年者の雇用促進、ハラスメント対策等、総合的に取り組み、介護職員の離職防止および介護人材の確保・定着を図る。 ・他業界への横展開を通じ、「ひと」と「しごと」の好循環を生み出し、「まち」が活性化していく仕組みを創り出す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○介護現場の革新に向けた総合的な取組を協議する山形市介護人材確保推進協議会の開催（報償費） 324千円 ○生産性向上の活動定着支援・普及啓発および他業界も含めた生産性向上取組の横展開（委託料） 7,000千円 ○介護職員の離職防止・人材確保に向けた介護の魅力発信事業 Yamagata KAIGO-LiNKの構築（補助金） 500千円 ○外国人材の受入環境整備へ向けた山形市住宅要配慮者居住支援協議会の開催（報償費） 125千円 ○中高生をメインターゲットとした介護職業体験イベントの開催（委託料） 320千円（役務費）1千円 ○ハラスメント対策研修およびハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施（報償費）564千円（委託料） 743千円（使用料）142千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①介護事業所の職員増加数（+960人） ②介護事業所におけるロボット・ICT導入割合（+54%） ③ハラスメント対策マニュアル作成事業所数（+600事業所）	生産性向上推進セミナー（左）と介護職業体験イベント（右）の様子 	関連URL https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

事業概要【米沢市版DMO設立及び推進事業】

推進当初

申請者	山形県米沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	477,076千円 (98,076千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・人口減少による消費の減を補うための交流人口の拡大、観光消費額の増進を図る ・地域住民や各種団体、近隣の自治体などが一体となって合意形成し、観光ビジョンに沿った施策を展開していく ・次世代に残せる魅力溢れる地域にし、賑わいと稼ぐ力を付け、地域に新たな雇用を創出するとともに、持続可能な観光地域づくりを創生する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光デジタルトランスフォーメーション事業 ・観光情報集約プラットフォーム事業 10,000千円 ・観光情報分析費用 2,000千円 ○地域の魅力磨き上げ事業 ・米沢型インバウンド事業 13,500千円 ・広域観光推進事業 5,000千円 ・食文化アルカディア米沢創造事業 4,000千円 ・米沢の歴史文化とSDGs事業 10,676千円 ・協働提案事業 4,500千円 ・地域商社事業 13,400千円 ・プロモーション事業 10,000千円 ・事務局運営 25,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+37億8900万円） ②地域アプリのアクティブユーザー数（+73,000人） ③観光情報サイトのPV数（+174万PV）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	301,930千円（39,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・市民とともに、地域の企業・行政が課題を共有し合い、一緒に解決に向けて活動することでサービス品質を向上させ、競争力のある地域とすることを図る。 ・高い生産性と自立・循環的な経済を有する都市拠点（ローカルハブ）とすることを図る。 ・市民が将来にわたって健康で安心して生きがいの持てる豊かな地域（ウェルビーイングコミュニティ）とすることを図る。		
事業概要・ 主な経費	○いつでもどこでも市民向けサービスを提供するためのデジタル構築 ・Web上での市民向けサービス提供・データ蓄積の試行運用（委託料：11,300千円） ○防災情報を一元化するプラットフォーム拡大運用 ・ICHARMから地場企業への管理移管の試行（委託料：500千円） ○デジタルを用いた新しい市民参画の仕組みづくり ・市民・行政が課題を共有するWeb上の仕組みづくり（利用料：1,700千円） ○デジタル関連新規企業創発事業 ・起業家育成プログラム実施費（委託料：8,200千円） ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①デジタル田園都市基盤上のサービス利用者（+1,000人） ②中山間地域サービス社会実装数（+8事業） ③デジタルを活用した新規事業数（+10事業） ④データに基づく地域サービスの改善数（+8件） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		
		関連URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/koutyou/shingikai/kikaku/sdgsdyk/dejitaruyuusikisya.html



申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	20,600千円 (6,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ 情報発信を強化し、希望者に情報を適切かつ効果的に届ける体制を構築することにより、就業や投資、研究成果の活用に向けた検討を促進するとともに、鶴岡サイエンスパークのブランド力の強化を図る。 ・ ビジタープログラムを整備・充実させることにより、鶴岡サイエンスパークへの訪問と交流を促進し、新規就業や研究成果を活用した産業の創出・更なる投資の呼び込みを図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①情報発信強化事業（補助金） 情報発信の更なる強化に引き続き取り組み、鶴岡サイエンスパークのブランドの確立を図る。 ・イベント出展、ホームページ機能強化等 ②ビジタープログラム等整備（磨き上げ）事業（補助金） 過去2年の実施結果を反映し、ビジタープログラムの内容を磨き上げる。 ・説明用資料更新、受入体制整備等 経費 ①+② 6,600千円  （鶴岡サイエンスパークロゴ・鳥観図）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鶴岡サイエンスパーク内就業者数（+33人） ②補助事業者のHP閲覧数（+2,500件/月） ③補助事業者が実施するイベントへの参加者数（+400人） ④事業を通じた補助事業者の売上高（+3,500千円）		関連URL https://www.city.tsuruoka.lg.jp/s-hisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

事業概要【食と食文化を軸とした交流・創造都市間連携促進による観光誘客プロジェクト】

推進当初

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	54,900千円（16,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方の人の流れ分野
目的（効果）	・食や食文化を活用した交流促進・観光誘客促進を図る ・創造都市間交流により、本市食文化の魅力の再認識と郷土愛の醸成を促進する ・食や食文化に特化した体験ツアーの創出とガイド力の強化を図る ・在来作物や郷土料理の活用による地域の魅力発信		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○食文化体験プログラムや食文化体験ツアーの企画運営 できる人材の育成の取組 ・鶴岡ふうどガイドの育成・強化（委託料）2,238千円 ○料理人の育成強化と食関連産業の魅力向上の取組 ・料理人と生産者のネットワーク強化（補助金）300千円 ・在来作物の需要創出（広報費等）497千円 ・農林水産物のECサイトを活用したPR（委託料等）1,689千円 ○交流・観光誘客促進の取組 ・食イベントの周知・PR（広報費等）432千円 ・ユネスコ認定10周年を活用した和食展開催と地域の食文化体験 事業、食文化シンポジウム及び国外創造都市の料理人との交流 事業の実施（委託費、報償費等）6,827千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①食文化体験プログラム・ツアーの参加者数（日帰りツアー参加者含む）（+350人） ②鶴岡市観光入込客数（+300万人） ③食関連産業分野での新たな法人設立届出数（+20件） ④鶴岡ふうどガイドの事務局機能を担う団体の設立・組織化（+3件）	関連URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

82

申請者	山形県酒田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	418,895千円 (39,195千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	データ循環によるサービス創出で雇用が創出されるとともに市民が健康的に生活し続けることができる社会を目指す。具体的には、未来技術を活用し、市民のデータの収集、蓄積、活用のサイクルが回ることにより、データを活用した新たなビジネスの創出と新たなサービスの提供が行われる、持続可能なまちをつくる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○データ連携基盤構築・運用事業 ・データ連携基盤及びフロントページの運用に関する委託費用 36,000千円 ・フロントページの運用に関するサービス使用料 1,848千円 ○リビングラボ事業 ・リビングラボのファシリテーターに対する謝金 681千円 ・ファシリテーターの費用弁償 99千円 ・リビングラボのワークショップ開催、プロトタイプ作成に関する手数料 500千円 ・ワークショップ会場借上料 67千円		 デジタルによる課題解決を考える酒田リビングラボ (酒田市総合計画後期計画より)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①データ連携基盤を介したサービス利用登録者数 (+40,000人) ②新規に立地したIT企業 (+5社) ③リビングラボに参画する市民の数 (+100人) ④PHRサービス利用登録者数 (+1,000人)		関連URL https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisaku/keikaku/kikaku/sougosenryaku/r01machihitoiinkai.html

事業概要【夢があり、儲かる農業のまち酒田プロジェクト】

推進当初

申請者	山形県酒田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	97,134千円 (37,481千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	近隣自治体や関係団体と連携し、以下の取り組みを行うことで夢があり儲かる農業の実現を目指す。 ①スマート農業も取り入れた新規就農育成プログラム（もっけ田農学校）の開催などを通じた新規就農者の確保 ②複合経営推進やデジタル技術も取り入れた資源循環型の土づくり、販路拡大などを通じた米価に影響されない農業所得向上		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新規就農者の確保 ・もっけ田農学校実施 8,333千円 ・もっけ田農学校卒業生へのフォローアップ研修実施 1,034千円 ・独立就農支援補助 1,000千円 ・経営感覚育成研修会開催 384千円 ○米価に影響されない農業所得向上 ・デジタル技術を取り入れた土づくり推進 1,454千円 ・資源循環型農業の推進 9,576千円 ・ケイ酸資材の施用支援による土づくりの推進 9,000千円 ・複合経営推進のための支援 6,000千円 ・販路拡大、PR経費 700千円  もみ殻を敷料として活用している牛舎 (酒田市総合計画後期計画より)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農育成プログラムの受講者数（+35人） ②本事業で支援した土づくりの延面積（当該年度目標値+2700ha）	関連URL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisaku/keikaku/kikaku/sougosenryaku/r01machihitoiinkai.html

事業概要【共創コミュニティの創出・運営支援による、新たな産業振興支援事業

～個から集へのサポートで地域を変革～】

推進当初

申請者	山形県酒田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	358,955千円 (82,719千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	民間企業または個人の集まるコミュニティの経済活動に対して、酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）が複数のツールを用いて支援することで、「様々なビジネスプロジェクトが自律的に生まれてくる環境・インフラ」を整備し、行政が行う全く新しい産業振興及び地域活性化の形を作っていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人件費 13,831千円 ○ローカルファンド運営負担金 ・ローカルファンド運営負担金 1,000千円 ○酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）運営協議会負担金 ・三十六人衆等専門家人件費、旅費 4,546千円 ・各種委託料、負担金 54,396千円 ・事務費 7,946千円 ○やまがたAI部活動費負担金 ・やまがたAI部活動費負担金 1,000千円		 サンロクIT女子コミュニティの活動拠点「Ribbon STATION」
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ビジネスプロジェクト実施による売上・資金調達サポート等金額 (+281,382千円) ②サンロクIT女子コミュニティに属する女性のうち、コミュニティに入る前後でwell-beingが向上したと答える人の割合 (+65%)	関連URL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/sougosenryaku/r01machihitoiinkai.html

事業概要【縁JOYさがえ！～新時代スポーツツーリズム～】

推進当初

申請者	山形県寒河江市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	81,750千円 (37,530千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	市内のスポーツ関係者、観光関係者、道の駅や温泉施設等『支える』地元市民の連携を強化し新たなサービスに繋げるなど域外スポーツ愛好者の受入れ環境を整備することで、市内各地に新しい観光消費の流れを創出し地域経済活性化により稼ぐまちづくりを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	スケートボード、BMX、3×3などの若者に訴求するアーバンスポーツやマラソン・トライアスロンの開催 プロモーションイベントの開催や消費実態調査、分析検討 首都圏からのツアー造成等により観光消費拡大を図る。 スポーツツーリズム推進協議会負担金 37,530千円。	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツツーリズムイベント参加者（『する』人）数 …（+5,950人） ②スポーツツーリズムイベント観客および関係者（『観る』人『支える』人）数…（+14,660人） ③スポーツツーリズムイベントに関わる市内宿泊者数… （+1,750人） ④スポーツツーリズムイベント参加者、観客および関係者の満足度…（+95人）	関連URL	https://www.city.sagae.yamagata.jp

事業概要【地域資源と人的資源の最大活用化むらやまオンラインプロジェクト】

推進当初

申請者	山形県村山市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	56,500千円 (24,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・6次産業商品取扱者や特産品取扱者、地元の各小売店主などを対象にECサイトを利用した販路開拓を図る。 ・これまで地元だけで流通していた産品を全国へ情報発信を図る。 ・高齢の特産品取扱者等に対して販路拡大支援を行い、最小限の負担で売り上げ拡大を図り、高齢化地域であっても地域経済活性化の一翼を担う人材の育成を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高度スキルアドバイザー養成支援事業 特産品取扱者等と、消費者のブリッジ人材育成を支援 ・人材確保育成業務（委託料） 7,200千円 ○むらやま経済力創出事業 市場調査等により新たな市場拡大とPR販売促進業務 ・経済力創出調査（委託料） 1,500千円 ・PR販売促進（委託料） 11,000千円 ○デジタル導入人材サポート事業 特産品取扱者等へのPC貸与、操作のサポート ・サポート業務（委託料） 2,400千円 <pre> graph TD EC1[ECサイト] --> RO[販路開拓・販売] EC2[ECサイト] --> RO EC3[ECサイト] --> RO RO --> SB[事業主体] SB --> RO SB --> SH[高度スキルアドバイザー デジタルサポート事業者等] SH --> SB SH --> PC[PC操作サポート等] PC --> SH SH --> SP[特産品生産者等] SP --> SH SP --> RO RO --> SP </pre>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①販路拡大により達成した販売金額（+12,000千円） ②新規販路を獲得した特産品取扱者・各高地店主の数（+35人） ③取引が成約した件数（+4,000件） ④人材育成を行ったアドバイザーの人数（+5人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.murayama.lg.jp （効果検証） https://www.city.murayama.lg.jp

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	129,360千円 (22,440千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・AI観光コンテンツ制作等を契機に、西川町に関わる複業人材のコミュニティをつくる ・複業人材の持つ多様なスキルを活用し、地域が抱える課題の解決を図る ・AI観光などによる交流人口と積極的に関わりを深め、関係人口の創出を図る ・交流人口、関係人口の拡大を推進し、西川町へ新しい人の流れをつくる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル観光コンテンツの整備 ・既存コンテンツの運用と新規コンテンツの整備 (負担金) 18,700千円 ○複業人材の活用 ・複業人材とのマッチング及び伴走支援 (負担金) 2,640千円 ○事業承継の支援 ・事業承継プラットフォームの運営及びマッチング (負担金) 1,100千円		観光客 AI観光等 複業人材等  交流人口 + 関係人口 人の流れをつくる
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口・課題解決型人材登録者数 (+185人) ②移住者数 (+90人) ③観光入込数 (+8,500人) ④新たな商品・サービスの開発、経営改善 (+26件)		関連URL https://www.town.nishikawa.yamagata.jp

事業概要【鮭川村エコパークを核とした滞在交流型観光活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	山形県鮭川村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	31,500千円 (10,770千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	鮭川村エコパークへの入込客数（顧客満足度の向上によるリピーターの獲得）を増やすとともに、自然、農産物や文化など、地域の多様な素材がネットワーク化し、地域全体での体験・滞在型観光が活性化することにより「地域が稼ぐ仕組み」（雇用創出や関係人口拡大）が構築され、持続可能な観光を次世代へ継承することができる地域を形成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○院開発に向けた会議・研修・視察 ・開発費、研修費用 1,000千円 ・利用客増に向けた遊具更新（工事費） 5,770千円 ○地域と連携した観光素材の磨き上げ、観光需要獲得、販売促進に向けた仕組みづくり ・販売サイト開発に向けた検証（補助金） 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の 累計」の目標値	①鮭川村エコパーク利用者数（+6,550人） ②鮭川村エコパーク売上収入額（+3,728千円） ③鮭川村観光入込客数（+27千人） ④着地型観光新商品の開発（+7件）	関連 URL	https://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/government/jigyo-keikaku/seisaku/126



事業概要【「またね」「うふふ」があふれるウェルビーイングなまちづくり事業】

推進当初

申請者	山形県高畠町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,100千円 (16,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域活性化、地域内の産業発展の基盤づくりのため、町の次世代を担うリーダー人財育成を図る ・地域資源の活用と首都圏学生との連携した教育環境を地域内に構築し、移住定住促進を図る ・県内で食品加工業が特出しており、また有機農業の先進地域であることを活かし、特産品の販路拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リーダー経営人材育成塾事業（委託費） ・人件費（自治体職員分を除く） 8,000千円 ・旅費交通費（外部人材招聘） 2,000千円 ○移住定住推進事業（委託費） ・移住定住推進計画策定経費 2,000千円 ・プロモーション経費 800千円 ○首都圏学生と地元学生との共創教育事業（委託費） ・現地活動費 300千円 ○町内特産品販売力強化事業（委託費） ・物産イベント企画開発経費 2,000千円 ・プロモーション経費 1,000千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人財育成のメンバーによる新規事業数（+5事業） ②リモートワークや二地域居住の受け入れ人数（+30名） ③首都圏学生との連携事業への参加者数（+30名） ④町特産品のオンライン販売額（+350千円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.facebook.com/town.takahata （効果検証）調整中

事業概要【地域人材ベースキャンプによる担い手確保推進事業】

推進当初

申請者	山形県白鷹町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	人口減少が加速する本町が持続可能な地域づくりを実践していくために、外からの人材確保と、内の人材育成を両面から進める体制確保を目指す。地域や事業者が必要とされる外部人材の誘致、受入れとともに、人材育成の役割を果たす、地域人材のベースキャンプ組織を設立することで、地域の担い手が確保されるとともに、外部人材の新たな視点やアイデアを活用した地域の活性化、地域を先導していく地域人材育成を図る仕組みづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○マルチワークをはじめとした本町の地域資源を組み合わせた新しいしごとの創出と人材育成組織の設立 ・書類作成支援費用 1,500千円 ・運営・経営コンサルティング支援費用 2,500千円 ・お試しマルチワーク等実施費用 1,000千円 ○地域づくりコーディネーターの育成 地域づくりコーディネーター育成に必要な研修カリキュラム等の構築費用 2,500千円 ○地域住民の学び直しの機会と都市部等で広がる複業人材とのマッチングによる交流人口拡大 複業人材とのマッチングの仕組み構築費用 2,500千円  地域人材ベースキャンプ ・労働者を組合員等の事業に従事する機会を提供する事業（いわゆる労働者派遣事業） ・研修カリキュラムにより一定の能力を持つ地域づくりコーディネーターを育成 ・地域コミュニティ組織での都市部等の複業人材を活用したリスキリング（学び直し）推進		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本町への移住者数（+65人） ②地域人材ベースキャンプを通じて派遣される担い手の延べ人数（+85人） ③地域づくりコーディネーターによる新規事業数（+18件） ④都市部等の複業人材とのマッチング数（+9件）		関連URL https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要【農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか6自治体※		初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,046,714千円(219,175千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。 ・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外からの新規就農先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができ、多くの産地が活性化することを図る。			
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○住む(移住)×仕事(就農)による新規就農者確保と担い手育成 ・新規就農者支援拠点の構築(補助金)57,261千円 ・情報発信、各種イベントの開催等(委託料)81,262千円 ・青年農業者組織における新規就農者勧誘支援(補助金)3,500千円 ・移住就農及び雇用就農支援体制の構築(補助金)8,000千円 ・農業短期大学校への就農サポート支援員の設置等(報償費ほか)10,235千円 ○浜通り発 労働力こらしめモデルの構築及び普及 ・農家の農作業指導の支援、首都圏学生等を対象とした農作業体験を通じた地域交流(委託料ほか)31,650千円 ○農業等PR専用サイトまたはSNS等活用による記事広告掲載(委託料)550千円 ○多様な手法による豊かな地域農業を担う農家の育成に係る技術導入支援 ・担い手の育成・支援、地域農業の活性化に係る経費(委託料等)5,076千円 ○新規就農希望者に対して各種PR及び就農相談を継続的に実施2,684千円 ○就農イベントへの参加や農業情報総合サイトへの記事掲載等690千円 ○就農支援や移住支援の実績がある団体に育成業務を委託し、受入団体の育成・確保を図る。(委託料)1,947千円 ○多様な新規就農者確保のための受入業務をワンストップで行う団体等に対して補助する。(補助金)5,850千円 ○柳津町の農業の魅力や支援制度に関する情報発信(委託料)2,970千円		 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数(+1,655人) ②県外からの新規就農者数(+305人) ③雇用就農者数(+827人) ④浜通り地域等の生産現場での作業受託件数(+28件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ ・ https://agri.mynavi.jp/2023_10_27_242071/ 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市: 調整中 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page008616.html 須賀川市: 調整中 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/ijyu_teijyu/hataraku/page009401.html 柳津町: 調整中 (効果検証) 福島県: http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市: 調整中 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyousei/gyousei_hyoka/page000103.html (令和7年9月公表予定) 柳津町: 調整中	

※福島県、福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、柳津町の広域連携事業

事業概要【中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県、塙町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	543,372千円 (153,361千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・地域外の人材の協力による自然環境と共生した農村の創出、維持を図る。 ・生産から販売までを通じた地域農業経済モデルの創出による農業の稼ぐ力の向上、担い手の参入と定着を図る。 ・自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による担い手の参入と定着の好循環が、条件に不利のない都市的農業地域や平坦地域にも波及し、地域全体の活性化へ寄与。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「魅力の掘り起こし」と「魅力の発信」による関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化 ・関係人口創出支援（委託料）19,000千円（補助金）7,000千円 ・鳥獣害対策人材育成支援（委託料）11,060千円（補助金）9,600千円 ○中山間地域における収益性の高い花きや果樹の産地形成や有機性資源の推進などの生産支援 ・ソフト対策（委託料）25,300千円、（補助金）17,944千円 ・ハード対策（補助金）13,178千円 ○花き利用施設の開拓や需要を踏まえた流通支援 ・ソフト対策（委託料）17,415千円 ○農産物等の販路拡大のため、サブスクリプションサービスの活用 ・ふるさと産業おこし協議会等へ補助金 9,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数（+363件） ②農地・農業用水等の保安全管理などの地域農業の持続的発展に資する取組を行う関係人口の数（+174人） ③農地中間管理事業を活用した園地継承重点対象3品目（もも、日本なし、ぶどう）の賃貸面積（+106ha） ④県内4市場における県産花きの取扱い本数（+275万本）		
		 ▲オンライン交流会 ▶地域内対話支援 	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 塙町：調整中 （効果検証） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 塙町：調整中

事業概要【ものづくり産業におけるDX人材育成事業】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	139,137千円 (48,263千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・県内企業に対しDXの理解を促進し、DX実現に向けて自立的に人材育成を行う企業の増加を図る。 ・若年層を中心にDX人材を育成し、県内企業に輩出することでDXの推進を図る。 ・県内企業をサポートするベンダー等の育成を行うことで、地域でDXを推進する仕組みづくりを図る。 ・効果的なDX人材育成事例を構築し発信することで、県内中小企業のDX実現に向けた活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業在職者への人材育成支援 ・人材育成支援業務(委託費)22,079千円 ・DXに関する講義(謝金・費用弁償旅費)300千円 ・事業進捗に係る経費(需用費・使用料賃借料等)309千円 ○職業訓練施設を中心とした若年層の人材育成 ・DX人材育成の講義に係る経費(報償費・需用費等)6,867千円 ・デジタルものづくり教室に係る経費(需用費・広告料等)2,000千円 ○産学官連携によるDX加速化・伴走支援事業 ・セミナー開催、アドバイザー派遣事業等(委託料等)13,708千円 ○須賀川市内中小企業者等が実施するデジタル化等に伴う技術研修や人材育成を支援(補助金)3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によりDX人材育成に取り組む企業数 (+145件) ②職業訓練施設における学生のものづくり関連企業就職者数 (+6人) ③在職者向けDX関連セミナーの受講者数 (+170人) ④DXやデジタル化に取り組む中小企業者数 (+50件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県: http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市: 調整中 須賀川市: 調整中 https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html (効果検証) 福島県: 令和6年8月公表予定 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 須賀川市: 調整中

※福島県、郡山市、須賀川市による広域連携事業

事業概要【知的財産を活用したものづくり企業育成プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県、郡山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	182,247千円 (66,289千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・新製品開発促進や技術課題解決を図る ・広域連携ネットワークの構築による地域の知的財産支援の自立化を図る ・知的財産を活用できる人材育成を図る ・価値デザイン経営の導入による事業構想を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	企業訪問の様子  ○新製品開発のための講師による企業訪問や新製品の販路開拓 ・企業訪問コーディネート・ECサイト運営・展示会出展・成果集作成（委託料）12,875千円 ○新製品開発における総合開発戦略の構築支援 ・支援チーム構築・個社支援経費（委託料）8,991千円 ○広域連携ネットワークの構築及び企業マッチングの実施 ・コーディネーターを中心とした支援機関等の情報交換及び企業連携を目的としたワークショップ（委託料）5,411千円 ○知的財産の普及啓発及び人材育成の実施 ・セミナー・ワークショップ開催経費（委託料）1,247千円 ○価値デザイン経営の普及啓発の実施 ・セミナー・ワークショップ開催経費（委託料）5,000千円 ○次世代自動車技術関連企業の販路拡大等 ・セミナー開催・専門家派遣・商談会開催・展示会出展等（委託料）20,539千円 ○戦略的営業基盤強化事業 ・セミナー開催（委託費）3,000千円、補助金 5,000千円 ○知的財産に関する診断・助言、知的財産戦略策定等の支援 ・知財支援コンサルティング（委託料）1,045千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①開発製品売上総額（+3,133千円） ②本事業による支援企業等の商談成約件数（+137件） ③特許商標出願件数（+18件） ④技術課題解決件数（+99件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/ 郡山市：調整中 （効果検証） 福島県：令和6年8月公表予定 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html

事業概要【スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト】

推進当初

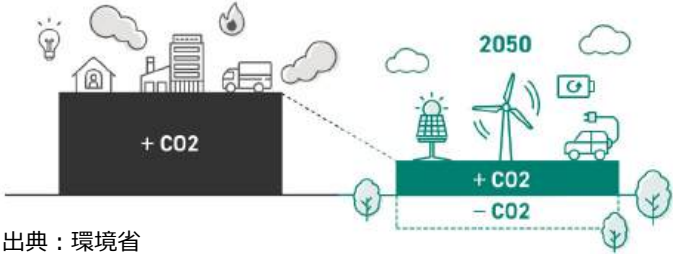
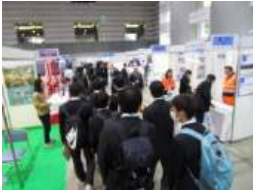
申請者	福島県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	606,934千円 (149,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○eスポーツを用いた多様な交流・つながり創出プロジェクト 「誰でもどこでも楽しめる」特性をいかし、eスポーツを通じて多様な交流を促進するイベントの実施。 13,387千円 ○パラスポーツによる多様性理解促進プロジェクト 障がいのない人も対象とした出前講座や体験イベント等を実施し、多様な交流を推進する。 17,876千円 ○プロスポーツによる地域活性化プロジェクト 県内のプロスポーツチームの選手と県民が交流するイベントやPR、県外のサポーターが観戦時に県産品等の魅力にふれあう機会を設けることで、スポーツ観戦による交流人口拡大を図る。 98,812千円 ○サイクリングを活用した持続可能な地域づくりプロジェクト サイクリングコースや合宿誘致を目的としたコンテンツを造成し、持続的な誘客や交流人口拡大を図る。 18,955千円 ・全ての県民が、いきいきと活躍できる社会形成 ・スポーツの力による地域活性化 多様な交流 機会創出 交流人口 拡大 eスポーツ パラ スポーツ プロ スポーツ サイクリング		
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①本事業をきっかけに誘致・開催されたス ポーツ関係の大会・合宿等の参加者数 (+ 2,960人) ②民間主体のeスポーツ交流イベント等の 開催件数 (+ 22件) ③パラスポーツ出前講座、体験教室等の 受講者数 (+ 5,500人) ④プロスポーツ公式戦の平均入場者数 (+ 3,562人)	関連 URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県 : https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : 調整中 いわき市 : https://noreru-iwaki.jp/ 白河市 : https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/dir000309.html 須賀川市 : https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 喜多方市 : https://zo-sa.net/ (効果検証) 福島県 : http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html いわき市 : https://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1457395174096/index.html 白河市 : https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市 : https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html 喜多方市 : https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html

※福島県、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市の広域連携事業

事業概要【多文化共生推進事業】

推進当初

申請者	福島県ほか 2 自治体※		初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R6年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,485千円（17,562千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少という問題を抱える本県において、「やさしい日本語」の普及促進などの外国人住民の受入環境整備を通して、外国人住民が地域の中で生き生きと安心して暮らすとともに、震災等をきっかけに活気を失った地域の担い手として活躍し、地域住民と共同で地域の活性化を行ってもらうことにより、活気あふれるふくしまの実現を目指す。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○やさしい日本語の普及促進事業 ・関係団体と連携し、「やさしい日本語」の各種講座の開催、啓発・広報活動、日本語学習支援者へのサポート等を行う（委託料）8,063千円 ○外国人住民と地域との共生モデル構築事業 ・モデル地域を選定し、コーディネーターを介して、地域住民と外国人住民が共生できる環境づくりに取り組むとともに、他地域への事例共有を図る（委託料）3,948千円、 ・市町村職員向けの多文化共生研修会を開催し、モデル事例を共有することで、外国人受入のノウハウ習得の支援を行う （講師報償費）138千円、（講師旅費）138千円 等 ○やさしい日本語の普及促進に向けた生活情報動画の作成 ・外国人住民が抱える課題をテーマとした動画作成（委託料）1,199千円 ○生活情報をまとめたガイドブックをやさしい日本語等で作成し、外国人や企業へ配布する2,620千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「やさしい日本語」交流事業参画者数（+3,479人） ②「やさしい日本語」協働パートナーへの取組支援件数（+180件） ③共生モデルを参考に自主的に取り組む市町村数（+4市町村）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市：調整中 本宮市： https://www.city.motomiya.lg.jp/soshiki/46/youushikisya6.html (効果検証) 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 本宮市： https://www.city.motomiya.lg.jp/soshiki/46/youushikisya6.html	

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	169,533千円 (54,071千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関連産業の育成・集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しし、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出を図るため次を行う。 ①県内企業の脱炭素化による産業競争力維持・向上 ②水素関連産業の育成・集積に向けた人材育成・確保 ③ZEHの普及に向けた人材育成・確保		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○カーボンニュートラルの実現に向け、地域の金融機関、経済団体と連携した支援体制（コンソーシアム）を構築し、県内中小企業の脱炭素化を推進する。 (21,616千円) ・コンソーシアムの在り方の検討、アンケート調査 ・サプライチェーン排出量算出、人材育成、ビジネスマッチング ○県内企業等が脱炭素関連産業への参入に向けて取り組み技術開発に先立って行われる事業化可能性調査に対し、その経費の一部を補助する。 (20,216千円) ○水素関連技術者の育成に向けた取組に対し、その経費の一部を支援する。 (7,530千円) ○再エネ・水素関連産業への定着、CNへの意識醸成を行うため、工業高校生等へ再エネを学ぶ機会を提供する。(2,384千円) ○ZEHの普及を進めるため、施工現場で活躍できる実践的な技術者の育成をテクノアカデミーで実施する。(2,325千円)  出典：環境省 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①脱炭素化に向けた計画を策定し、実現した企業数 (+19件) ②水素関連企業との共同研究や事業化など商談が成立した企業数 (+7件) ③テクノアカデミーにおけるZEH関連資格（スマートマスター）の取得件数 (+17件) ④脱炭素関連技術開発事業化可能性調査を実施した企業数 (+25件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年8月公表予定

事業概要【魅力を伝える医療関連産業人材育成事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	126,040千円 (40,990千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・小学生から社会人まで世代の切れ目なく、医療関連産業の人材育成を実施することにより、医療関連産業の活性化を図るとともに、人材の県内定着を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○将来を担う若手世代（小・中・高・大学生等）に医療機器の体験やものづくり企業の技術を体験できるイベントの実施 ・小中高生向けの体験イベントの開催（委託料等 10,313千円） ・医学部生向けプログラムの実施（委託料 7,430千円） ○実務を担う世代及び革新的な人材の育成 ・大学院生等向け医療機器開発人材育成プログラムの実施（委託料等10,485千円） ・企業内人材（中堅社員向け）育成プログラムの実施（委託料等 5,465千円） ・経営層向けプログラムの実施（委託料等 4,895千円） ・事務経費（需用費等 2,402千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①医療プログラム参画企業の従業員（30歳以下）増加数（+26人） ②県内医療機器製造業登録事業者数（+8件） ③プログラム参画企業のISO13485取得予定数（+9件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 令和6年8月公表予定



高校生を対象とした医療機器の使用体験

事業概要【地域ブランドと魅力発信を図るCI（コーポレートアイデンティティ）プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県国見町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・町の統一的なブランドイメージを確立し、効果的なプロモーションを行うことで、町の認知度の向上を図る ・町の魅力を積極的に情報発信し、関係人口や首都圏を中心とした地域外からの移住者の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○CI活用に係るマネジメント及び自走に向けた支援の委託 ・CIを活用するための全体的なプロデュース及びブランディングの内容検討、修正（委託料）5,000千円 ○協議会運営経費 ・委員費用弁償など 198千円 ○パッケージ開発委託 ・国見町で開発・販売されている特産品や6次化商品のCIを活用したパッケージ開発（委託料）2,000千円 ○作成されたCIに基づく町のプロモーション事業 ・ポータルサイトPRのほか、CIを活用した産品をPRするためのサイトの構築及びSNSやweb広告を活用したプロモーション事業（委託料）1,302千円 ・町の情報を総合的に網羅したパンフレットの作成（委託料）1,500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①CIを活用した商品の販売額（+240千円） ②道の駅国見売上額（+2,936,500千円） ③首都圏や町外在住者に対するアンケート調査による国見町の認知度（+123%） ④本事業を活用した新規移住者・二地域居住者（+53人） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.town.kunimi.fukushima.jp/life/5/23/116/		

10

申請者	福島県南会津町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,763千円 (8,120千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・広葉樹材利活用の推進 ・広葉樹の普及促進 ・林業従事者の増加と人材育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○広葉樹利活用高度化事業 ・広葉樹材供給ステーション利用促進事業（4,700千円） 町産木材に係る地場産業の振興を図るため、広葉樹材等の販路拡大やブランド化の推進に向け、当該ステーションの運営及び普及促進のためプロモーションを実施する。 ・広葉樹普及促進事業（1,500千円） 広葉樹普及促進のためのイベントを開催する。 ○林産業人材育成支援事業（1,920千円） 次世代の人材の雇用を促進し、林業成長産業化を推進することを目的として、技術職員を新たに雇用した林業事業体を支援する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①用材用丸太取引量（+60m³） ②新規就業人数（+6人） ③年間素材生産量（+15,000m³）	関連URL	（交付金の具体的な使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【ポストコロナ観光消費拡大事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	480,302千円 (133,701千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・本県の強みである多種多様な食資源と自然を観光資源として磨き上げ、食体験とアウトドア体験を軸とした稼げる観光の実現 ・アウトドア資源を活かしたワーケーションの推進による、平日や閑散期の旅行需要の増加 ・JRグループと協働して取り組む大型キャンペーン（デスティネーションキャンペーン）を最大限に活用したプロモーションの全国展開 ・これらの取り組みにより、観光消費の拡大とブランド力の向上を図るとともに、関係人口の拡大や移住・定住の促進に繋げていく		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○茨城の「食」のブランドの確立 ・「食のプロ」による旅の目的地となる飲食店選定 (11,000千円) ・新たな名物料理の開発・販路拡大 (8,550千円) ・土産品の開発と販売促進支援 (9,000千円) ○稼げるアウトドアの推進 ・アウトドア資源の活用に向けたビジネスマッチング (12,000千円) ・新たなアウトドア体験コンテンツの創出 (15,000千円) ○新たな旅のスタイル創出 ・ワーケーション促進のための需要調査・事例の横展開等 (8,151千円) ○魅力発信・誘客促進事業 ・WEB、SNS広告、インフルエンサー招聘等 (55,000千円) ・マーケティング調査、分析 (2,000千円) ・クロージングイベントの実施 (13,000千円)	 食（あんこう鍋）	 アウトドア（ビジネスマッチング）
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①開発した土産品の売上 (+300,000千円) ②アウトドア事業者と異業種事業者とのビジネスマッチングの件数 (+30件) ③体験王国ツーリズムを通じた誘客数 (+6,000人) ④ワーケーションにより本県を訪問した企業数 (+60社)	関連URL	https://www.ibarakiguide.jp/



ワーケーション

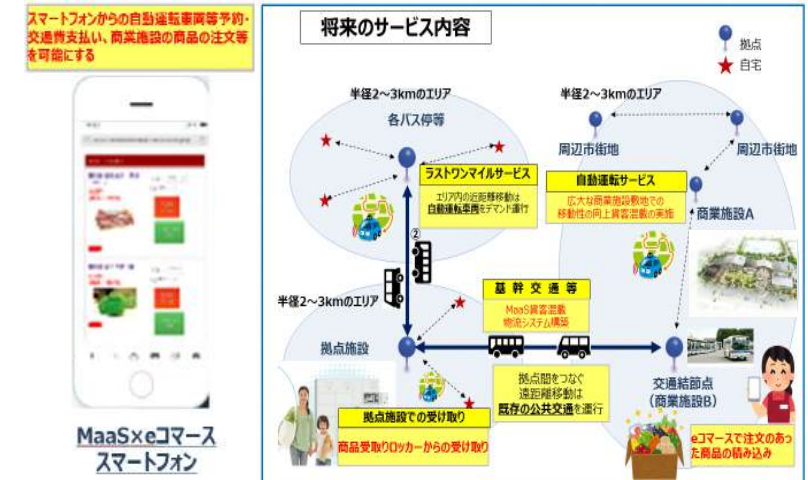


茨城デスティネーションキャンペーン

事業概要【自動運転の社会実装を見据えたMaaS×eコマース推進事業】

推進当初

申請者	茨城県常陸太田市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	138,238千円 (61,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・東部地区商業施設内及び周辺地域への移動性の向上と移動エリアが限定される近距離移動に対応することで、公共交通利用利便性の向上と、運転手等の担い手不足の解消を図る。 ・MaaS×eコマースの活用による、自動運転車両と既存の公共交通とを組み合わせたシステムを構築する。 ・拠点施設等に商品受け取り用ロッカーを設置し、商業施設と山間部とをシームレスにつなぐ。		
事業概要・ 主な経費	商業施設内での自動運転サービス及び東部商業施設及びその周辺での、自動運転車両によるラストワンマイル走行の範囲拡大、貨客混載の実証実験の範囲（利用可能店舗、利用者数）を拡大する。 ○ラストワンマイルの範囲拡大調査委託料 14,800千円 ○MaaS×eコマース等実証実験等委託料 10,000千円 ○自動運転車両運営に係る委託料 12,600千円 ○自動運転実装コンソーシアム（仮）の運営委託 8,600千円 ○貨客混載・拠点整備 15,500千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①自動運転車両の活用による移動性の満足度 (+26%) ②自動運転車両の乗車率 (+14%) ③MaaS×eコマースシステムを使用した際の満足 (+26%) ④拠点施設における商品受け取りロッカーの利用率 (+20%) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://autonomouscar-hitachiota.jp/



事業概要【移動の自由と安心安全で自立した生活を支えるSociety 5.0推進事業】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	420,356千円 (88,854千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	デジタルデバイド (情報格差) の解消、多様な住民への適切な情報発信、移動困難者のウェルビーイング向上及び買い物の利便性向上を図ることで誰もが安心して暮らすことができる、「持続可能な地域社会の実現」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①デジタルデバイド解消促進事業 スマホ貸与 (端末料・通信料) : 7,856千円、講座実施費用 : 8,531千円 スマホアドバイザー・窓口運営費 : 7,040千円、プロジェクト管理費 : 2,200千円 ②つくば市ポータルアプリ開発・改修 つくば市ポータルアプリ運用費 : 7,458千円、 データ連携基盤保守運用費 : 10,962千円 ③パーソナルモビリティシェアリング パーソナルモビリティ運行実証費 : 34,126千円 ④移動スーパー等ロケーションシステム モビリティ情報データ連携委託 : 1,341千円 ⑤荷物配送ロボット等による買い物の利便性向上 自動追従型搬送ロボット運用実証費 : 3,000千円 ⑥アバターロボットを用いた障害者雇用の促進 障害者雇用促進実証費 : 6,340千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移動スーパー 一か所あたりの月ごと平均利用者数 (+5.0人/月) ② (仮称) つくば市ポータルアプリのインストール数 (つくば市の人口に対する割合) (+50,000人) ③スマートフォン教室へスマホアドバイザーとして大学生が派遣された人数 (+80人) ④分身ロボットを活用した障害者雇用の実施者数 (+5者)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuaennai/4/3/1004715.html

事業概要【地域に開かれたまちづくり事業（道の駅を拠点とした地域ブランディング）】

推進当初

申請者	茨城県五霞町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	17,240千円（3,620千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少、少子高齢化に歯止めが利かない中、居住する人口だけでなく、地域外の人々に対しても、地域の担い手としての活躍を促すことは、地域の活力を維持・発展させるために必要不可欠であることから、地域課題及び農業分野における農業者の高齢化・担い手不足など様々な課題を解決するために、地域の担い手確保、さらには、人材育成に努めていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな就農希望者が学べるよう、農業の学びの提供 ・農作物作付けに係る一部作業委託費 60千円 ・機械のリース料 60千円 ・講師謝礼 30千円 ・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 210千円 ○地域産品の開発・販路拡大に向けた支援 ・商品開発に伴う委託料 400千円 ・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 360千円 ・リース料（トレーラーハウスレンタル料） 1,500千円 ・備品（オープンレンジ等）購入費 300千円 ○地域の担い手育成・確保のためのイベント開催。 ・イベント開催に係る費用（材料・謝礼等） 500千円 ・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による新規就農者数（+13人） ②本事業による新規地域産品の製品数（+22品） ③本事業により産出された地域産品の売上額（+13,630,000円）		
	関連URL	https://www.town.goka.lg.jp/gyousei/machizukuri/chihouseisei-kouhukin/suisinkouhukin/page005409.html	



↑ 農業の学びの場の提供

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	636,940千円（141,970千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・オンライン相談やリアル体験の組合せ等、若者世代のニーズの高い事業展開を行い、若者等のUターン・地元就職・移住定住の促進を図る。 ・子育て世代のwell-beingを実現したいというニーズに応え、あらゆる人が活躍できる就労環境の整備を進め、家族帯同での移住定住を図る。 ・本県で技能・技術を身につけ、優れた人材として活躍することを目指す移住希望者に向けた情報発信・相談対応・人材育成・就職支援を集約・一元化したとちぎ職業人材カレッジの開設・運営などに取り組むことで、本県への移住定住を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者等への移住定住支援 ・U I J ターン就職の促進（委託料）7,634千円 (1)学生と県内企業のマッチングの場となるフェアの開催 (2)U I ターン就職促進協定締結校と企業の情報交換会実施 (3)とちぎ女性活躍応援団登録企業のPR ○子育て世代のwell-being（心ゆたかな暮らし）の実現 ・企業の働き方改革を応援（委託料）30,138千円 (1)企業の担当者が抱える課題等を解決する講座の実施 (2)アドバイザー派遣、ワークショップ等の開催 (3)とちぎ生涯現役シニア応援センター運営 ○移住希望者のニーズに応える情報発信と就労支援 ・職業人材の育成・確保の促進（委託料）7,522千円 (1)情報発信・相談対応・人材育成・就職支援を一貫して行うとちぎ職業人材カレッジによる支援 若者の県外流出と就職活動のオンライン化 子育て世代の移住意向の高まりと県内企業の働き方改革 移住における情報収集と仕事・就業の壁 若者等への移住定住支援 新しい働き方へ対応する企業の課題等の解決支援 移住希望者のニーズを捉えた効果的なPR UIJターン等若者世代・子育て世代の移住定住を促進し、本県の人口の減少を抑制 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①子育て世代における転入超過数（+530人） ②栃木県及び県内市町の移住相談窓口等において受け付けた相談件数（+4,722件） ③新規就農者占める女性の割合（+10.6%） ④とちぎU I ターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数（+195人）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

106

事業概要【デジタルマーケティングを活用した「栃木ファン」拡大・強化による販路開拓プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集		
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	424,538千円（154,246千円）		
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野		
目的（効果）	・「栃木ファン」を強化・拡大するため、マーケティング手法や蓄積したデータから分析する体制を整えることにより、ブランド力の向上を図る ・デジタルマーケティングの手法を活用することにより、消費者のニーズに併せた情報提供や差別化した商品開発が可能となり、県産品のブランド力向上及び競争力強化、農産物の輸出を含めた販路開拓、販売額増加による所得の向上や雇用の創出・拡大を図る ・輸出に取り組む産地及び生産者の販路拡大に向けたオンラインセミナーや商談会、海外需要獲得のためのSNSを活用したPRやECサイトによる販売支援等を行い、輸出を含めた販路開拓、販売額増加による所得の向上や雇用の創出・拡大を図る				
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルマーケティングを活用した「栃木ファン」拡大に向けた体制整備 ・栃木ファンづくり事業（委託料・使用料）10,500千円 (1)顧客情報管理システムによるデータの蓄積等、効果的な情報発信 (2)市町を対象とした県産品磨き上げのためのワークショップ等 ○データ分析等に基づく商品開発及びブランド力向上・競争力強化 ・データ分析や観光誘客拠点の設置（委託料）79,032千円 (1)データ収集分析や効果的な誘客プロモーションの検討 (2)海外現地でプロモーション活動を行う観光誘客拠点の設置運営 ○ポストコロナ時代に対応した海外販路開拓戦略 ・輸出先国別輸出力強化事業（委託料・補助金）38,452千円 (1)EU等輸出先国におけるプロモーションやバイヤー招へい等 (2)現地バイヤーと連携したSNSによる情報発信等 (3)輸出先国の輸入規制への対応支援 (4)牛肉に特化した魅力発信プロモーション等の実施 ネットの普及による消費者行動の変化 ニーズを探り商品の差別化を図る取組の必要性 人口減少に伴う国内市場の縮小により海外への販路開拓の必要性 「栃木ファン」拡大に向けた体制整備 データ分析等に基づく商品開発及びブランド力向上・競争力強化 海外販路開拓・強化 栃木ファン増による販売額増加 競争力強化による国内販売額増加 海外販路開拓による輸出額増加   <td>関連URL</td> <td>https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</td>			関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農産物の輸出額（+4.6億円） ②海外取引を行う県内企業数（+97社） ③栃木ファン会員数（+20,000人） ④ネット調査により「栃木県との関りがある」と回答した人の割合（+14%）				

107

推進当初

108

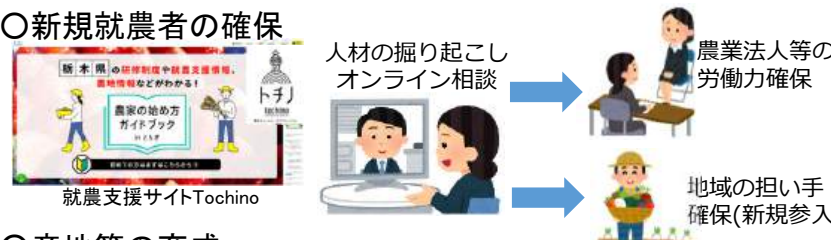
事業概要【レジリエンスマネジメントによる県内産業強化事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	714,715千円 (133,023千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・企業から求められるデジタル技術に長けた女性・障害者・外国人など多種多様な人材を育成する。 ・サービス産業におけるデジタル化を推進し、業務管理の効率化や生産性を向上させるとともに、ものづくり産業におけるDXの推進による業務効率化や技術の高度化を図り、本県企業の更なる成長・発展を目指す。 ・企業の自己変革力を向上させ、持続的に本県産業の成長を支え、雇用を創出していく。		
事業概要・ 主な経費	1 ○デジタル人材の確保育成に向けた体制づくり (1)外国人材におけるデジタル技術の活用促進 デジタルを活用した事前勉強会の開催、高度外国人材等のグローバル人材と県内中小企業等とのマッチングを支援（委託費等） 25,757千円 2 ○デジタル時代に対応したサービス産業の創出 ○デジタル技術を活用した業務効率化を推進 3 ○ものづくり産業におけるDX推進 ○新事業展開の導入支援		
KPI	①サービス産業のうち情報通信業の売上高（+152億円） ②創業支援事業計画による創業者数（+125人） ③自動車・航空宇宙・医療福祉機器の製造品出荷額（+8,504億円） ④A I・I o T等を導入する事業所の割合（+21.1%）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【とちぎ農業未来創生事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	440,650千円（177,974千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・企業等の農業参入により、職業として農業を選択する若者が増加し、農業者等が活躍している社会を実現する。 ・経営感覚に優れた農業者等が創意工夫を発揮し、収益性の高い農業を展開できる社会を実現する。 ・青年新規就農者の受入体制の整備及び受け皿となる産地や経営体を育成し、本県に就農・定着する農業者の増加を目指す。 ・稼げる農業が展開され、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○各種情報発信やオンライン相談窓口設置・就業体験等の取組 ・農業で働く意欲のある人材に向けた情報発信、オーダーメイド型相談サポート体制の強化（委託費）25,034千円 ○法人設立や集落営農組織の再編等による広域営農システムの構築 ・広域経営法人の規模拡大に係る投資負担軽減及び他地域への波及（補助金）10,000千円 ○大規模な土地利用型園芸産地（園芸メガ産地）の育成 ・水田を生かした園芸メガ産地等の育成（補助金）66,892千円 ○生産モデルの確立や産地を牽引する経営者の育成 ・施設園芸経営者育成に向けた専門家の派遣等（委託費）6,884千円 ○農業気象災害への対応力の強化 ・農業気象災害の未然防止対策の推進や気候変動に対応した新品種・新技術の開発（消耗品費、備品費等）8,708千円 ○新規就農者の確保  ○産地等の育成 【ソフト支援】 ・団地化や水利改善等の検討 ・低コスト栽培の実証等 【ハード支援】 ・栽培管理機械 ・出荷調整機械・施設等 他県との競争に負けない 50ha規模の園芸メガ産地を育成 【園芸メガ産地のメリット】 ・ロットの拡大、安定供給 ・価格交渉力がある ・地域に新たな雇用を創出 ○農業気象災害への対応力強化と新品種・新技術開発 ▶ 本県に就農・定着する農業者が増加するとともに、稼げる農業が展開され、 「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」を実現		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①青年新規就農者数（+960人） ②合併や連携する集落営農組織、農業に参入する企業及び自治体等が出資した広域農業法人等数（+20組織） ③販売農家1戸当たりの農業産出額（+148万円） ④販売額1億円以上の先進的園芸経営体数（+6経営体） 関連URL https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html		

110

事業概要【M I C Eを核とした地域の“稼ぐ力”向上プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	235,940千円 (43,402千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・「M I C E」を核とした、地域への経済波及効果や雇用の創出を図る ・経済の活性化に向けた、地域の「稼ぐ力」の向上を図る ・オール宇都宮による「M I C E」推進のための基盤強化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○M I C Eの推進 ・M I C E開催獲得のための主催者等に対する訪問営業活動の実施 4,506千円 ・開催地決定に影響のある主催者・キーパーソンの招聘によるファムツアーの催行 3,400千円 ・M I C E開催地としての魅力創出を図るための地域資源の発掘・磨き上げ 3,000千円 ○官民連携による観光資源の磨き上げ 8,000千円 ・本市の観光資源を結ぶイベントの開催 ○インバウンドの推進 3,000千円 ・体験型コンテンツの発信、販売事業の実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①MICE開催件数（+116件） ②MICE消費額（+15.5億円） ③参加者1人当たりの消費額（宿泊）（+3,316円）	関連URL	調整中

事業概要【SDGs達成に貢献する公共交通利用促進プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	314,917千円 (73,080千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・誰もが安全で快適に移動できる環境の整備を図る ・公共交通等への転換を図るためのモビリティ・マネジメントの推進を図る ・SDGs達成への意識の基盤づくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○端末交通手段の管理・運営 34,500千円 ・シェアリングモビリティの社会実装のために必要な車両維持管理や、予約システムの運営管理など ○モビリティマネジメントの実施 28,030千円 ・「モビリティ・マネジメント」の対象範囲を拡大し、公共交通利用促進に資するリーフレットの配布など ○SDGsの周知啓発に向けた掲出 1,800千円 ・人の往来がある観光拠点などの市有施設等にSDGsロゴを掲出 ○市内イベントと連携したPR活動 5,000千円 ・イベントと連携した公共交通の利用促進やSDGsに関するPR活動の実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs認知度 (+26%) ②公共交通年間利用者数 (+1,731万人) ③交通系ICカード「t o t r a」の年間発行枚数 (+12.3万枚)	関連URL	調整中

事業概要【「足利氏のふるさと」ツーリズム観光誘客促進事業】

推進当初

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,000千円 (14,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地域資源を生かした着地型観光事業を通じて「足利ファン」の獲得を図る ・新たな教育旅行先としてのブランド確立を図る ・足利氏を意識した市民のまちづくりへの参画		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○周遊モデルコースの設定やモニターツアーの実施 ・ファムトリップ企画 (委託料) 2,164千円 ○観光パンフレットの作成や連動した観光サインの設置 ・観光パンフレットの作成 1,336千円 ・標識柱作成費 400千円 ○歴代足利氏の甲冑の再現による着付け体験の提供 ・甲冑、付帯道具一式作成費 550千円 ○年間を通じた足利氏及び本市の魅力の発信 ・広報委託費 9,000千円 ○教育関連旅行の誘致 ・パンフレット作成、旅行ブース出展ほか 500千円 ○市民のボランティア意識の向上 ・歴史講座事業 50千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数 (+262万人) ②校外学習・教育旅行者数 (+825人) ③足利市観光ボランティアガイド協会会員数 (+9人) ④足利氏関連新商品年間販売額 (+80万円)	関連URL	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/goverment/000085/000472/p005168.html

事業概要【日本一キラキラした高校生によるU I Jターンプロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	55,185千円 (11,437千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・高校生をメインターゲットとし、市内への定住やUターンを促すと同時に、地域を担う人材を育成する ・移住施策の継続・深化により転入者の増加を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高校生のキャリア教育 ・次世代育成・PRコーディネート（委託料） 6,500千円 ・活動拠点経費（賃借料） 1,980千円 ・活動拠点経費（通信費・光熱水費） 574千円 ○体験プログラム等による移住者交流会の開催（委託料） 1,300千円 ○相談体制の強化等による移住促進 ・活動拠点経費（通信費・光熱水費） 214千円 ・移住定住促進諸経費 869千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高校生クラブ員数（+18人） ②高校生クラブによる実践件数（+9件） ③移住者交流会参加者数（+21人） ④相談事業を経た移住者数（+55人）	関連URL	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html

事業概要【日光市新しい働き方推進によるひと・しごと誘致戦略プロジェクト】

推進当初

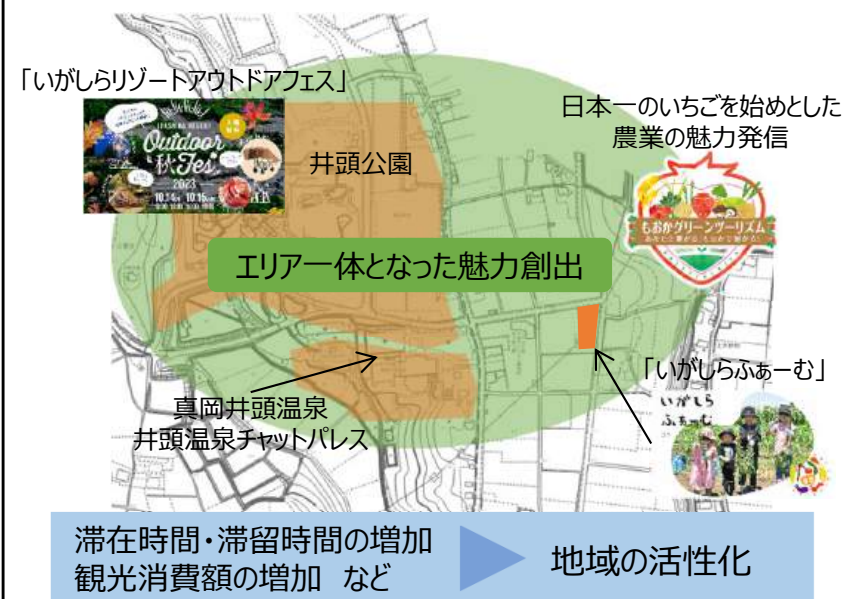
申請者	栃木県日光市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	97,578千円 (28,617千円)
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・市の多様な地域資源を活かしたワーケーションを推進し、ひとの流れを生み出し、東京圏企業のコワーキングスペースの活用とサテライトオフィス誘致を行う。 ・ワーケーションを契機に日光に訪れる東京圏の企業・人材等と、市内企業とのビジネスマッチングにより、販路開拓・拡大や、AI、IOT支援等による地域産業の高度化と生産性向上を図る。これらの取組により、多様な産業構造を生み出し若年層の流出抑制を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ビジネスマッチング事業 来訪したワーカー又は企業と地域の事業者との新たなビジネス創出に向けた交流会・マッチングイベント等費用(委託料) 4,475千円 ○ワーケーション実施事業 企業・ワーカーの要望に合わせたオーダーメイド型プラン、地域課題解決型プラン造成等(委託料)2,200千円 ○プロモーション事業費 地域の観光事業者、ワークスペース運営事業者、交通事業者等が一体となった、誘客に向けた情報発信等(委託料) 7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 転出超過の改善(+88人) ② ワーケーション等により2回以上当市を訪問した企業数(+38件) ③ 東京圏企業による市内企業へのIOT支援等件数(+12件) ④ サテライトオフィス誘致件数(+16件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/smartwl.html (効果検証) https://www.city.nikko.lg.jp/seisaku/kennsyoukextuka.html



事業概要【井頭周辺エリアを核とした真岡市の魅力発信プロジェクト】

推進当初

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	168,686千円 (12,883千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「いがしらリゾート」を核に、真岡市の魅力を発信する事業を行う。観光客に本市の魅力を感じてもらうため、施設間の連携を強化し、エリア一体としての受け入れ態勢を強化することで、周遊性向上による滞在時間の延長、観光消費額の増加を図るとともに、日帰り旅行から宿泊旅行へと促すグランピング施設等を整備する。加えて、首都圏等に向けたデジタルマーケティングを活用した情報発信を行うことで、農村部へ新たな人の流れを創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○体験圃場整備による通年誘客機能の拡充 ・農地使用料 864千円 ・農地管理委託料 5,219千円 ○エリアが一体となった魅力創出及び連携を促進するための共同イベントを開催し、新たな人の流れを創出する ・いがしらリゾート共同イベント実施費（委託料） 6,000千円 ○「いがしらリゾート」とグリーンツーリズムを連携することで、本市の農業の魅力を発信 ・グリーンツーリズム推進協議会（補助金） 800千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光拠点施設（井頭温泉、井頭温泉チャットパレス、真岡市農産物販売交流施設いがしら、観光いちご園）の売上高（+3.23億円） ②いがしらリゾート（井頭公園、一万円プール、井頭温泉、井頭温泉チャットパレス、真岡市農産物販売交流施設いがしら、観光いちご園）への観光入込客数（+47.17万人） ③真岡市への宿泊者数（+11,354人） ④県東地域滞在時間数（+0.4時間）	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k-eikaku/4/1691.html



推進当初

117

事業概要【始動人輩出のための教育イノベーション】

推進当初

申請者	群馬県、嬭恋村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	803,524千円 (179,432千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	「STEAM教育」の導入や教育課程外の新たな学びの提供により本県の公教育のアップデートを図るとともに、持続可能な地域を支える人材育成のためのリカレント教育の実施により、『始動人』（＝自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持った人）の育成・発掘する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○公教育のアップデートによる若年世代の始動人育成 学習指導要領を踏まえた教育システムから、多様性を重視した人材育成への転換により、若年世代の始動人輩出を目指す。 ・自ら課題を設定し立ち向かう力を養成する場の提供（委託料等）59,428千円 ・課外活動の改革による多様な学びの機会と交流の創出（報酬・需用費等）20,630千円 ○リカレント層へのアプローチによる現役世代の始動人育成 現役世代のマインドセットの転換に向けて、ロールモデルの発信やカンファレンスの実施を通して「始動」に向けた機運の醸成を図る。 ・始動人育成に向けたマインドセットの転換支援（委託料等）65,212千円 ・官民共創コミュニティの育成（委託料等）25,062千円 ・嬭恋村シティブロモーション（委託料）9,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①官民共創コミュニティから生まれた共創の取組数（+52件） ②地域ICTクラブ等で講座を受講した児童の数（+610人） ③ICTリテラシーが身についたと感じる生徒の割合（+3.5%） ④中高生向け課題解決型学習プログラム修了者（+81人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （評価検証）調整中



事業概要【次代を見据えた産業構造の転換・強化事業】

推進当初

申請者	群馬県、吉岡町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	162,379千円 (64,574千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・デジタル技術の活用による企業のイノベーション推進 ・スタートアップの集積を通じた県経済の活性化 ・企業価値の向上による優れた技術や地域の雇用を支える企業の事業承継・経営力強化		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「新たな価値」・「イノベーション」創出するための未来を見据えた異業種連携プラットフォーム「ぐんま未来イノベーションLAB」の運営等 ・プラットフォームへの負担金 2,562千円 ・セミナー開催等（委託費） 22,740千円 ・ビジネスマッチング支援（委託費） 2,400千円 ○スタートアップ創出支援事業 ・スタートアップ創出支援プログラム開催等（委託費） 13,688千円 ・若者向け起業機運醸成事業（委託費） 2,200千円 ○産業構造の強化促進実現支援パッケージ ・出展支援（補助金） 3,000千円 ・産業構造の転換・強化促進マッチング（委託費） 11,170千円 ・海外をターゲットとした連携促進 6,356千円 ・戦略的プロモーションツール構築支援 458千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DXに取り組んだ企業の割合（+105%） ②事業多角化(新分野進出)件数（+54件） ③スタートアップ支援事業による支援起業家数（+75者） ④関連人材育成数(セミナー・各講座の参加者数）（+240人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （評価検証）調整中

事業概要【快疎なぐんま実現プロジェクト】

推進当初

申請者	群馬県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	340,732千円（134,004千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域にしかない資源を見つめ直し、魅力として生かし、発信することにより、人を呼び込むことにつなげていく。 ・外国人との共生を進め、魅力的な地域の重要な要素である「多様性」を伸ばす。 ・地域の魅力の掘り起こし、磨き上げなどの事業を行い、新しいブランド化を進め、地域課題の解決につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域の魅力創出事業 （1）利根沼田サイクルツーリズム推進事業 9,876千円 （2）まちなか活性化事業 648千円 ○「快疎」なぐんま暮らし実現事業 ・都内における拠点整備（人件費、委託費） 51,016千円 ・新たな価値や魅力を発信するフォーラムの開催 22,800千円 ・情報発信やハイブリッド型相談会等 19,188千円 ○多文化共生 （1）トップ外交推進 27,760千円 （2）国際交流イベント 2,240千円 （3）「やさしい日本語」普及事業 476千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①他都道府県からの転入超過数（+979人） ②移住コーディネーターを設置している市町村数（+8団体） ③サイクルツーリズムポータルサイトアクセス数（+3,000回） ④「やさしい日本語」講座・研修受講者（+120人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （評価検証） 調整中

事業概要【イベント産業による地域活性化事業】

推進当初

申請者	群馬県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	180,379千円（43,020千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・本県へのMICE誘致やイベント産業に対する支援により、交流人口の増加を図る ・地域密着のプロスポーツの支援により、賑わいの創出・地域の活性化を図る。 ・これらイベント産業を核とした事業展開により、県民幸福度の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○MICE誘致 ・おもてなしのための街路灯フラッグ設置（委託料）1,420千円 ・MICE誘致等業務委託（委託料）22,786千円 ・県内施設紹介のための展示会出展（出展料等）1,318千円 ○イベント産業参入支援、周遊機会の創出 ・イベント産業事業者等に対するセミナー（講師謝金等）820千円 ・地域資源を活用した周遊機会創出（委託料）12,852千円 ○プロスポーツを格とした官民共創事業 ・プロスポーツ地域活性化事業等（委託料）3,132千円 ・パブリックビューイング運営委託（委託料）692千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本交付金事業に関連するイベント参加者数（+36,350人） ②大規模MICE誘致件数（+31件） ③主催者とコンベンションパートナー企業とのマッチング支援件数（+15件） ④プロスポーツ官民共創事業件数（+9件）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (評価検証)調整中

12

事業概要【未来へ紡ぐ！持続可能な農業・農村の確立】

推進当初

申請者	群馬県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	322,843千円（118,760千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・特にデジタル化への対応の観点から県の普及指導体制や県立農林大学校の教育体制を充実させ、「自ら考える農業者」の育成を図る。 ・生産現場の生産性を高め、農業を持続可能なものにする。 ・農畜産物の新品種開発、その成果を付加価値に結びつけるための取組を強化する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人材の確保・育成 ・人材育成の強化・定着支援（需用費等）29,038千円 ・地域への人の流れを生み出す交流拠点としての古民家再生、推進事業（委託料）6,770千円 ○農業の生産性の向上 ・収量増加・生産性向上の技術開発（需用費等）19,490千円 ・畜産振興におけるゲノミック評価の活用促進（補助金等）30,428千円 ○付加価値の高い農畜産物の生産・販売の推進 ・県オリジナル品種の研究開発・生産拡大等（需用費等）23,718千円 ・付加価値向上の取組に向けた輸出拡大の取組（負担金）8,410千円 ・農山漁村発イノベーション広域サポート事業（委託料等）906千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+120.5億円） ②本事業の担い手確保策による新規就農者数(45歳未満）（+515人） ③本事業の試験研究・実証による新品種・新技術の開発件数（+16件） ④施設園芸における環境制御技術導入農家数（+29戸）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （評価検証） 調整中

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	191,230千円（38,406千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・事業者のマインドセットの変革として、D Xの推進体制づくりにより新しい挑戦を促し、挑戦を継続できる環境を整える ・「デジタル技術等の導入を通じた業務変革の推進」により、市内事業者のDX推進をソフトハードの両面からサポート ・「先端IT分野を軸とした創業支援事業」によりデジタル技術等の急激な技術革新に柔軟に対応できる新たな産業を生み出し、既存産業とのマッチングにより、さらなる新しい価値を創造		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ソフト・ハード両面からのD X 推進 ・御用聞き型業務改善サポート事業（委託料）4,000千円 ・DX推進補助金（補助金） 27,000千円 ○先端IT分野を軸とした新産業育成とマッチングシステムの構築 ・前橋市創業センターにおけるセミナー（委託料）4,536千円 ・創業支援塾＋起業家交流会（委託料） 550千円 ・短期集中プログラム専門家謝金（委託料） 1,320千円 ・マッチング支援事業（負担金、消耗品、郵送費）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル技術の活用等により生産性が向上した事業者数（＋262.5社） ②改善活動のハンズオン支援を受け生産性が向上したことを、アンケート調査により確認できた事業者数（＋70社） ③創業支援による創業実現率（＋5％） ④ビジネスマッチング事業参加者数（＋550人） 関連URL https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuis hin/gyomu/5/2/3255.html		

申請者	群馬県伊勢崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	96,417千円 (26,681千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・まちなか（伊勢崎駅及び境町駅周辺地区）における創業や、小規模事業者の事業拡大、賑わいの創出を支援することによって、まちなかの経済活力や賑わいの向上を推進し、新たな雇用の創出や地域経済全体の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなか創業者への創業促進サポート補助金 ・ソフト事業分 3,000千円 ・ハード事業分 3,000千円 ○まちなか創業者向けのワークショップや、店舗確保等の支援 ・講師等謝礼金 1,035千円 ・空き家対策委託料 300千円 ・空き店舗活用支援委託料 616千円 ○まちなかで事業を営む小規模事業者への事業拡大補助金 ・ソフト事業分 2,000千円 ・ハード事業分 2,000千円 ○まちなかの賑わい創出のためのイベントの開催 ・イベント開催経費 10,030千円 ・賑わい創出の実施団体に対する開催経費補助 3,000千円 ・イベント講師謝礼金 600千円 ○本市の魅力等を紹介し、移住定住を促進させる政策間連携 ・広告費 1,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①まちなかで新たに創業した事業者の数 (+19社) ②まちなかワークショップ参加者数 (+300人) ③まちなかにおけるにぎわいづくりに資する事業への来場者数 (+22,300人)	関連URL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/shingikai_iinkai/machizukuri/16179.html



まちなかの賑わい創出イベントの様子

申請者	群馬県伊勢崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	86,050千円 (20,097千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内の製造業事業者による地域産業の活性化、付加価値の向上のため、販路拡大への支援や新技術及び新製品の開発支援を支援することで、製造業の収益を拡大させ、人口増加のための安定した雇用の創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内企業の技術展と地域活性化イベントの開催 ・企業技術展開催業務委託料：5,500千円 ・地域活性化イベント開催費用：1,800千円 ○市内企業の展示商談会の開催 ・会場設営委託料：900千円 ・会場借上料：800千円 ○県内自治体、金融機関、商工団体との展示会の共同開催と、市内企業による展示会開催及び出展への補助 ・共同開催負担金：200千円 ・展示会開催及び出展事業費補助：500千円 ○県外展示会への出展 ・出展ブース借上料 9,100千円 ○市のPR広告物の作成・配布による移住促進と、面接会の開催による就業支援の政策間連携 ・チラシ等印刷製本費：297千円 ・郵送料：600千円 ・就職面接会開催負担金：400千円		 展示商談会の様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額等 (+1,512億円) ②市内・県内展示会での新規契約数 (+32件) ③県外展示会での新規契約数 (+18件) ④移住相談会等の参加者数 (+69人)		関連URL https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/shingikai_iinkai/machizukuri/16179.html

事業概要【OTAアリーナ（仮称）を核としたまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	群馬県太田市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	257,434千円（60,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	OTAアリーナ（仮称）を最大限活用することを通じて、地域全体の協働によるまちづくり・地域活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○OTAアリーナ（仮称）を核としたまちづくりに関する調査・研究・企画立案事業 ○スポーツによるまちづくり事業 ・プロスポーツチームと連携した地域交流事業等 9,000千円 ・プロスポーツチームと連携した地産地消推進事業 6,000千円 ・運動公園内駐車場整備事業 30,000千円 ○太田市のPR・情報発信事業 ・市PRチラシ及びパンフレット等作成業務等 8,000千円 ・商店街及びチームと連携したフラッグタウン推進事業 2,000千円 ・試合会場における交流物産市開催事業等 5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロスポーツ観戦者数（+25,497人） ②来館者数（+191,356人） ③施設使用料収入（+3,323,076円） ④市内観光消費額（+636円）	関連URL	https://www.city.ota.gunma.jp/site/home-town-ota/list7-157.html



事業概要【藤岡市地域活性化事業】

推進当初

申請者	群馬県藤岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,309千円（748千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・交通アクセスの良さと豊かな緑による本市の住みやすさや暮らしやすさなどを、体験を通じた新たなPR手法により訴求するとともに、希薄となりつつある地域コミュニティを再構築し、社会減の抑制と持続可能な地域づくりの礎の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	- 移住希望者に対するオーダーメイド型移住体験ツアー ・対応者謝礼（謝金）36千円 ・移住交流セミナーブース出展費用（使用料及び貸借料）132千円 - 地域コミュニティの維持・強化事業 ・地域の絆推進フェスティバル 講師謝礼（謝金）80千円 - 群馬医療福祉大学と市内諸団体による地域大学・連携会議 ・ふじおか地域・大学連携会議（負担金）500千円	 地域づくり協議会プレ事業の様子	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市への転入者数（+345人） ②本市における社会減（▲285人） ③移住体験ツアー参加人数（+6人） ④ファシリテーター養成数（+60人）	関連URL	https://www.city.fujioka.gunma.jp/soshiki/kikakubu/kikaku/2/2047.html

事業概要【妙義エリアの持続可能な観光地創出事業】

推進当初

申請者	群馬県富岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,924千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	妙義エリアを地域内外からの来訪者がともに楽しみ・憩う場所とすることで、安定的で持続可能な観光地とする そのために受入体制整備・誘客対策に取り組み、エリアを一体化させた複合的なサービスを提供する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ビジターセンター活用支援 ・事業構想・計画立案経費等（委託料） 4,000千円 事業推進主体への運営支援、インバウンド対応として展示内容の翻訳、追加収集等 ・「食」のコンテンツ関連（委託料） 4,000千円 妙義ビジターセンター内カフェスペースの試験営業を行い、マーケティング戦略やPRを行いながら継続可能な運営形態を検討。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①妙義エリア観光消費額（+177,291千円） ②妙義エリア宿泊者数（+18,609人） ③妙義山エリア観光入込客数（+184,860人） ④妙義ビジターセンター入館者数（+7,830人）		関連URL https://www.tomioka-silk.jp/spot/sightseeing/detail/Myogi-Visitor-center.html

申請者	群馬県富岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	8,049千円 (2,225千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農業を魅力的な職業にする。 ・耕作放棄地を減少させる。 ・家族経営を脱却し、外部人材を雇用する仕組みを構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	農家が規模を拡大するため、マネージャー層の雇用と育成に向けた取組を行う。併せて、先進的取り組み実践者の講義を行い、経営手法のノウハウと経営改善の支援を行う。 ○経営目標設定・達成のための体験型講座の開催 ・体験型講座の開催（委託料） 782千円 ・行動目標設定ワークショップの開催（委託料） 782千円 ・先進的取組実践者の講義・ワークショップ（委託料） 526千円 ○意識改革のためのセミナー等の開催 135千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農家の課題解決プロジェクト参加農家の新規雇用者が作業を行った日数（+1,680日） ②農家の課題解決プロジェクト参加農家の耕作放棄地再生面積（+30a） ③農家の課題解決プロジェクトワークショップ・セミナー参加者数（+210人） ④課題解決に向けた、農家のワーキンググループ結成数（+3グループ）	関連URL	https://www.city.tomioka.lg.jp/www/genre/1694565545190/index.html

事業概要【地域経営・エリアマネジメントにより稼ぎ・発展する地域づくり事業】

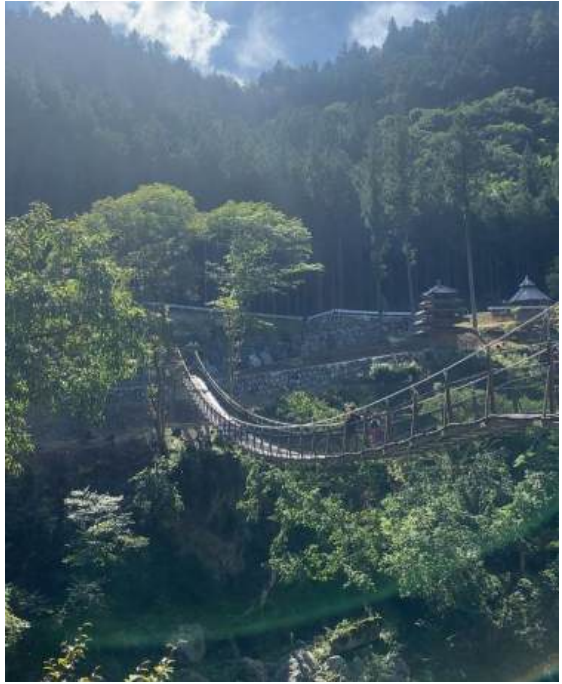
推進当初

申請者	群馬県みどり市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,600千円 (14,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	まちづくり分野
目的 (効果)	・空き家や空き店舗などの遊休不動産にあらたな価値を民間の活力で創出し交流人口の増加を図る ・事業者の創意と工夫で地域の顔となる特産品を創出し、市外から人を呼び込み地域経済活性化を図る ・市内全体の経済活性化を促進させるために官民連携の手法で、「まちの魅力」の向上を図る		
事業概要・ 主な経費	○リノベーションまちづくり事業 起業前のフォローアップ、事業の進捗管理、相談等を実施し、まちの新たな担い手を育成し自立するプロセスを構築 ・リノベーションスクール企画運営経費 (委託料) 7,500千円 ○特産品創出事業 特産品の考え方、素材選び、商品検討、品質管理、パッケージデザイン、値付け、PR方法を総合的に支援 ・研修(講座)、商品開発支援経費 (委託料) 7,000千円 ○リノベーションまちづくり事業  【家守塾】  【社会実験】 ○特産品創出事業  【講座】  【発表会】		
KPI	①特産品の開発数 (+15件) ②魅力的な特産品が増えたと感じる市民の割合 (+15%) ③遊休不動産の利活用件数 (+2件) ④市街地内の遊休空間を活用した社会実験・イベントの実施件数 (+15件)	関連URL	(交付金の具体的な使途・実施体制) https://www.city.midori.gunma.jp/sangyou/1001646/1001796/1005181.html https://www.city.midori.gunma.jp/sangyou/1001652/1001816/1002852.html (効果検証) https://www.city.midori.gunma.jp/shisei/1001659/1001840/1003004.html

申請者	群馬県上野村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	293,640千円 (83,060千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・天空回廊エリアの魅力を高め観光入込数の強化を図る。 ・コンテンツの乏しい冬に訪れてもらえるきっかけづくりを行う。 ・知名度を高めるため、特に若年層へのPRを行い、来訪者の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○知名度向上のためのシティープロモーション活動事業 ・プロモーション用PR動画等作成委託費 8,300千円 ・県内に対する広告宣伝費 6,600千円 ・首都圏に対する広告宣伝費 33,000千円 ・ネット、SNS等配信広告費 8,100千円 ・ネット特集記事作成委託費 4,400千円 ・観光プロモーション事業委託費 3,300千円 ・メディアプロモーション委託費 4,400千円 ○観光誘客数向上のためのイベント実施事業 ・誘客イベント実施委託費 8,250千円 ・イルミネーションイベント委託費 2,750千円 ○地域観光連携協議会運営事業 ・事務局運営委託費 3,960千円  整備した拠点を活用したイベントの実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+44,000人) ②SNSフォロワー数の増加 (+350人) ③整備したグランピング施設の利用者数の増加 (+3,300人) ④冬期間 (12月から翌3月) の来訪者数の増加 (+900人)	関連URL	調整中

事業概要【先祖の森を未来へ繋ぐサステナブルフォレスト事業】

推進当初

申請者	群馬県神流町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	169,000千円（14,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	林業の採算を高め、さらなる生産拡大、輸出拡大の推進による儲かる、稼げる、力強い林業への成長 ①神流町産材のスギ・ヒノキのブランド化「神流杉」「神流檜」による商品価値向上、販路拡大の推進 ②「神流杉」「神流檜」を活用したイベント・PRによるブランド力・認知度向上の推進 ③資源を活用した体験イベント開発による交流人口・木工品等消費拡大の推進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○神流杉・神流檜の消費（販売）拡大戦略の構築 1加工品開発（委託料） 2,000千円 2広報経費 ・webサイト維持管理（委託料） 500千円 ・広告宣伝委託料 4,000千円 ・森のフェスティバルイベント開催（委託料） 2,500千円 ○フォレストベース整備事業 ・フォレストベース運営（委託料） 2,500千円 ○森林体験 ・林業体験・イベント開催（委託料） 1,000千円 ○町民意識の醸成 ・町民意識の醸成（委託料） 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①神流町素材生産量（+2,500m ³ ） ②フォレストベース来場者数（+41,600人） ③フォレストベース活用によるコンテンツ開発数（+8コンテンツ） ④加工品の開発数（+10品）	関連URL	調整中

事業概要【農産物等直売所「あさまのいぶき」活性化計画】

推進当初

申請者	群馬県嬭恋村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,447千円 (14,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	R2に整備した公設農産物等直売所「あさまのいぶき」において、農業と観光を結びつけた体験事業を実施し、一体的にパッケージ化・PRしていくことで、農産物のブランド化や多品目化による収入の安定、観光産業の集客力強化を行う。また、若者層にとって当村の農業と観光が魅力ある職業とすることを目指し、多様な働き方が実現できる社会を構築することで、若年層の転出を抑制し、地域活性化させる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○整備した施設を中心としたエリアの誘客のための観光PRを実施 ・パンフレット・チラシ作成・印刷費 1,000千円 ・観光PR動画作成費 2,500千円 ・観光PR広告料 4,100千円 ・PR用消耗品費 500千円 ○加工体験や郷土料理体験等の定期的な集客イベントを開催し、地産商品の販促を行う体験交流事業を実施 ・体験事業の実施委託料 2,000千円 ・イベント設営経費 1,800千円 ・イベント消耗品費 250千円 ・イベントパンフレット・チラシ作成・印刷費 550千円 ・イベント広告料 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物等直売所の来訪者の増加（+35,000人） ②農産物等直売所の売上の増加（+46,000千円） ③農産物等直売所の雇用者数の増加（+4人） ④観光入込客数（+340,000人）	関連URL	https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/www/section/1647248286985/index.html



事業概要【孺恋村の地域課題解決に向けた企業向け研修・官民連携推進事業】

推進当初

申請者	群馬県孺恋村	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,100千円(3,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・社会課題解決に関心がある企業と積極的に連携する自治体としてのブランドを構築する。 ・企業版関係人口の増加を図り、村への滞在から移住へと段階的に繋げ関係人口、移住者増加を図る。 ・雇用創出や、村外へ進学や就職のために出て行った若者たちが地元へUターンする受皿を醸成する。 ・課題や展望に対し当事者意識を持ち、他者と協働的に新たな価値を創造する人材育成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◆事業概要：孺恋村で新たな挑戦を行いたい企業や個人が連鎖的に集まり、結果的に企業進出や移住等が促進されていくエコシステムの構築し、関係人口・移住創出を図る。 ○参加企業マッチング事業 - 研修プログラム募集イベント開催費用 400千円 - 参加企業との意見交換会開催費用 500千円 ○地域課題解決に資する実証実験事業 - 企画・設計費用 200千円 - 企業活動促進支援および実装費用 2,000千円 - 事業報告会の開催、研修マニュアル作成費 400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業により実現した移住者(+29人) ②研修プログラムの参加企業数(+16社) ③官民連携を通じて創出される地域と連携した事業数(実証実験を含む)(+12件)	関連URL	https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/www/contents/1676254604955/index.html



事業概要【「酒好きいらっしやい！」埼玉宿泊観光客拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	123,900千円 (38,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	県内に34もの酒蔵が各所に点在しているという本県の特徴を活かし、お酒を軸として宿泊者数増加への取組を全県で推進していく。また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークの浸透やワーケーションの普及など、宿泊に関連する新たなニーズが広がっている状況を踏まえ、ワーケーションやテレワークのプランを全県展開し、観光消費額を向上させ、本県地域経済の活性化を図ることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1「酒好きを中心としたツアー造成・プロモーションによる宿泊観光客数増加」 ・県物産観光協会による「埼玉の酒」を軸としたツアー造成、プロモーション（補助金）：19,000千円 2「新しい旅のスタイル・働き方を主とした観光事業」 ・県物産観光協会によるワーケーション、テレワーク宿泊プランの導入、プロモーション（補助金）：19,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 1人当たりの観光消費額（県外からの宿泊客） （+9,645円） ② DMOによるツアーの造成数（+131本） ③ DMOが造成したツアーの参加者数（+1,170人） ④ 1人当たりの観光消費額（ビジネス目的の宿泊） （+4,224円）		関連URL https://www.pref.saitama.lg.jp/a/0102/chihou-sousei.html

事業概要【花を活用した魅力あるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	埼玉県鴻巣市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,640千円 (20,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・一年を通じた賑わいの創出 ・地域食材を活用した商品の開発による農業・商工業分野の活性化 ・栄養や健康といった付加価値を加えることによる本市農産物のブランド化 ・情報発信機能の強化による関係人口の拡大		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	指定管理料 ○地域食材を活用した商品の開発、提供に関する事業(13,840千円) 女子栄養大学、日本薬科大学と産官学連携で地域食材を使用したメニューの開発・提供、地域食材の販売、6次産業化の推進 ○食と健康に関する事業 (2,570千円) 提供メニューのレシピをはじめとする食と健康に関する情報発信、料理教室、栄養セミナー、食育講座、農業体験等を実施 ○花と緑のPRに関する事業 (2,120千円) 施設及び施設敷地内の植栽帯を活用した花のPR、フラワーマルシェ（花の即売会）、SNSを活用した花のPR ○交流促進に関する事業 (2,350千円) デジタルサイネージを活用した情報発信、企業や大学等と連携した交流促進イベントの開催		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①提供メニューに使用した地域食材の仕入れ額 (+6,375千円) ② 6次産業化された特産品等の商品数 (+22商品) ③施設の来館者数 (+23,000人) ④転入者数 (+500人)	関連URL	https://www.city.kounosu.saitama.jp/page/3134.html

事業概要【幕張新都心を中心とした先端技術実装による都市型未来都市の実現】

推進当初

申請者	千葉県千葉市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	428,370千円 (127,850千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・ドローンや自動運転モビリティ等の先端技術産業の集積により、域内資源との創発を引き出し、幕張新都心の活性化に寄与する。 ・先端技術の導入・社会実装に向け、住民の理解等、社会受容性を拡大する。 ・自動運転モビリティ等により、域内の回遊性向上を図り、まちの賑わい創出に寄与する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ドローンの長距離飛行の定常化及び宅配システムのビジネスモデル構築 ・長距離飛行、飛行環境整備 8,000千円 ・社会受容性拡大支援 3,100千円 ○自動運転車の社会実装に向けた実証 ・デジタルツインを活用したバーチャル実証 108,000千円 ○先端技術モビリティのサービス実装に向けた支援 ・先端モビリティサービス導入、連携システム導入支援 8,750千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新たに社会実装した先端技術を活用したサービス利用者数 (+93,780人) ②社会受容性の拡大に資する事業への参加者数 (+2,495人) ③新たに社会実装した先端技術を活用したサービス数 (+6件) ④幕張新都心の日々活動人口 (+15,000人)	関連URL	調整中

申請者	千葉県銚子市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,000千円 (25,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開	事業分野	観光分野
目的（効果）	・銚子の魅力を体験するための「滞在時間の長期化」を図る ・若い世代の就業機会の増加につながる観光産業の収益力向上を図る ・地域での連携体制の構築・強化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○教育旅行商品、成人向け「学び」ツアーの開発およびモニターツアーの実施 5,000千円 ○市内の地区ごとの特徴や役割にあった学びのコンテンツ開発。水産業や醤油醸造業といった基幹産業と連携した体験コンテンツの開発 4,000千円 ○開発した旅行商品の情報発信やプロモーション活動 900千円 ○運営体制（ガイド養成事業含む）整備 3,000千円 ○事務費等 100千円 ○地域交流センターを今ある交流機能を維持しながら、銚子の歴史文化や自然の学びに関するゲートウェイやガイドランスの枠割を担う拠点にするための改修・整備 12,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①造成したプログラムを使用した市内宿泊者数（+135人） ②造成したプログラムによる誘客数（+450人） ③パートナーシップ構築したプレイヤー数（+20人） ④拠点施設への来館者数（+600人）	関連URL	https://www.city.choshi.chiba.jp/shisei/index0413.html



事業概要【地域資源を活用したシティプロモーション推進事業】

推進当初

申請者	千葉県旭市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	38,348千円 (13,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・市民の郷土愛の創出とまちづくりへの積極的な参加を促す。 ・撮影支援の過程で発生する様々な経済効果や地元農水産物を利用した特産品等の開発と活用などの産業振興を図る。 ・ロケ地を訪れた人々が特産品等の食文化に触れ旭市にさらなる魅力を感じ、ファン度が高まることで関係人口の増加と地域の活力が向上する好循環を生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進 ロケ誘致・受け入れ支援を継続して実施していくとともに、誘致に成功したロケ実績を活用した観光ツールの制作を行う。併せて、人材育成の成果となる観光ガイドを活用したロケ地ツアーを開催し、メディア掲載を企画した情報発信を行う。同時に、ガイドの育成を仕組化することで次年度以降の自走可能な体制づくりを行う。 ・外部専門家講演会開催費用 3,000千円 ・情報発信・広告企画業務費用 7,000千円 〇特産品等の開発及び活用 地域の素材を活用した特産品等のブラッシュアップを行い、撮影支援とともにロケツーリズムと併せた市内回遊・滞留のための情報発信やツール制作を行う。 ・外部専門家講演会費用 1,000千円 ・PRツール制作費用 2,000千円 【ロケツーリズムで目指すこと】		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな協議会によるロケ誘致件数 (+40件) ②特産品等の開発件数 (+4件) ③観光入込客数 (+35千人) ④移住相談件数 (+90件)	関連URL	https://www.city.asahi.lg.jp/soshiki/4/9569.html

事業概要【栄町ドラムの里再生事業】

推進当初

申請者	千葉県印旛郡栄町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	123,300千円 (42,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・高齢化や少子化をはじめ地域の基幹産業である農業の担い手不足などにより地域の競争力が低下しており、売上低迷が課題となる栄町観光拠点「ドラムの里」の再生を、課題解決能力をもった地域人材を育成し、組織化することにより解決を目指す。 ・ドラムの里が栄町でしか買えない農産物や加工品を豊富に取揃え、日常と観光の両面からニーズにあった商品・サービスを提供するユニークな場所として多くの人々を呼び込む施設となることで、地域経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	《組織育成と経営力強化》 42,500千円 1. まちづくり会社運営支援事業【28,000千円】 ⇒まちづくり組織が創生事業後も継続的に自走していくよう総合的にサポート ・まちづくり会社準備組織支援（人件費）（11,500千円） ・まちづくり会社準備組織支援（4,000千円） ・まちづくり会社「自主事業」事業計画策定・実施委託費（5,000千円） ・資金調達支援費（2,000千円） ・情報発信支援委託費（5,000千円） ・先進地等視察費用（500千円） 2. DX導入事業【4,000千円】 ・ARフィッティングシステム導入（4,000千円） 3. PR事業【5,000千円】 ・PRイベント実施費用（3,500千円） ・PRパンフレット作製（1,500千円） 4. 地場産品を活用した商品開発支援事業【5,000千円】 ・栄町の地場産品を活用した6次化商品開発支援（5,000千円） 5. 協議会運営事業【500千円】 ・協議会開催費用定（500千円）		
KPI	①栄町まちづくり会社の売上額（年間）（+76,000千円） ②栄町まちづくり会社の取り扱い商品数（生産者別）（+500品目） ③独自商品の開発数（+10品目） ④観光入込客数（+90,000人）	関連URL	https://www.town.sakae.chiba.jp/sp/page/page006182.html



まちづくり会社を中心となり、栄町の様々な産業が連携し、町内産業の発展に資する機能をドラムの里に集約する

事業概要【宮ヶ瀬湖周辺地域交通サービス推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	27,000千円（9,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・公共交通手段の確保により、公共交通利用者だけでなく自家用車での来訪者も公共交通手段に乗り換え、複数の拠点施設への来訪を促すことで、消費機会を増大させつつ、渋滞の解消を図る。 ・消費機会を増大させることにより観光消費の増加を実現する。 ・周遊を活性化する交通手段の充実や新たな交通サービスの展開を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1．地域公共交通実証実験事業 小回りの利くマイクロモビリティを新たな交通サービスとして展開することで、課題解消の深化と個人当たりの観光消費額の向上を目指す。 モビリティ及びシステム等使用料、維持管理費用等 7,000千円 2．既存交通システムとの連携を含めた地域交通体系調査研究事業 交通システムを引き続きスマートフォンアプリと連携させ、実証実験で得られたデータを活用して翌年度以降の自走化に向けた調査・研究を行う。 交通データ分析・報告作成等に係る経費 500千円 3．新たな交通システムと連携した観光客誘客事業 DMOなど地域の事業者や周辺市町村、交通事業者と連携して観光客誘客事業を実施する。 地域公共交通と連携した誘客事業委託費 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宮ヶ瀬湖周辺地域の観光消費額（平均消費単価）（+571円） ②実証実験期間中における新たな地域交通の利用者（1日あたり）（+150人） ③宮ヶ瀬湖周辺地域の観光客数（+94万人）	関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihou-sousei-kofukin.html

事業概要【テレワークによる新しい働き方の普及を契機とした移住・定住の更なる促進】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,349千円（22,076千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	「移住・定住にかかる新たな手法の必要性」という構造的な課題を解決するため、本事業では前身事業の分析をもとに、次の手法を新たに活用し、本県への人の流れを生み出していく。 ・ テレワーク等による働き方の改革やワーク・ライフ・バランスの推進を通じた人の流れの創出 ・ 空き家の利活用を通じた人の流れの創出		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇都心の働く世代へのテレワーク等に関する情報発信 ・事業成果の対外的なPR（委託料）1,900千円 ・ウェブサイト掲載コンテンツの更なる拡充等（委託料）2,219千円 〇テレワークの推進や空き家の利活用等に係る市町村の取組支援 ・市町村主導によるプロジェクト等の実施（委託料(専門家謝金、運営経費、一般管理費等)）5,071千円 ・市町村連絡会の開催による連携プロジェクトの実施（講師謝金）100千円 〇テレワーク等による移住に向けた相談体制の強化 ・市町村の自走化に向けた移住相談・移住セミナーの開催支援（委託料(人件費、運営経費、税等)）12,636千円 ・市町村主導によるフェアへの出展（ブース出展料）150千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業において神奈川県や市町村が取り組む移住相談を経由した移住者の数（+490人） ②本事業において実施するテレワークを切り口としたイベント等への参加者数（+23,000人） ③本事業において利活用された空き家の件数（+27件） 関連URL https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html		

事業概要【イノベーション創出ネットワーク形成事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	430,550千円（147,159千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・神奈川県経済を牽引する県内拠点のベンチャー企業が生まれ、育つ仕組みを構築することにより、県内経済の活性化と地域課題の解決を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○起業家と交流する機会の提供や、起業に向けたビジネスプランの作成支援を実施することで、若年層の起業準備者の増加を図る。 （委託料等）14,205千円 ○起業支援拠点において、起業準備者に対し、起業支援の実践的なプログラム及び先輩起業家との交流機会を提供し、ベンチャー企業の創出促進を図る。 （委託料等）43,957千円 ○成長期ベンチャー企業を対象に、ベンチャー企業と、大企業等の多様なプレイヤーが交流する拠点を運営し、オープンイノベーションを通じてベンチャー企業の成長を促進する。 （委託料等）88,997千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業化達成数（+31件） ②起業関心層支援件数（+120件） ③起業支援関係市町村数（+15市町村） ④提携プロジェクト件数（当該年度目標値+24件）	関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

事業概要【横浜市「グローバル拠点都市」推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,880千円 (36,960千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・企業・大学等との連携によりイノベーション人材を育成し、社会課題解決につながる新ビジネスが創出される環境を整備する ・国内外の都市やイノベーション支援組織と連携し、支援機能の共有と質の向上を図る ・産学公民連携でビジネスイベントを開催し、まちぐるみのイノベーション創出を推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 イノベーションが創出されるための環境整備 (1) 大学等と連携した人材育成プログラムと事業化支援 (委託料) 20,000千円 (※(3)と一体で実施) (2) 小中高生を対象とする次世代育成プログラム (委託料) 7,000千円 (3) 市内に立地する企業と連携したインターンシップ・プログラム 2 国内外の他都市との連携による支援機能の共有化、 国内外への情報発信 (1) 海外他都市のイノベーション支援組織との連携による国境を越えた スタートアップ支援、ビジネス創出プログラム (負担金) 1,630千円 (2) グローバル拠点都市自治体間の連携による女性起業家支援 プログラムの実施 (負担金) 2,100千円 (3) 国内外から人・企業・投資を呼び込むビジネスイベントの開催 (負担金) 6,230千円 【実施体制】 ○事業推進主体：横浜市、横浜未来機構 ○委託先は専門性を有する民間事業者等を選定予定  ビジネスイベント「YOXO FESTIVAL 2024」の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業の人材育成プログラムで支援した者による事業化件数 (+30件) ②本事業の人材育成プログラムで支援した者により創出されたプロジェクト件数 (+90件) ③人材育成プログラム参加者数 (+400人) ④ビジネスイベント等の参加者数及び集客数 (+8,000人)	関連URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要【「ハマフェス」を契機とした横浜都心部賑わい創出事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集		
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	120,000千円（20,000千円）		
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野		
目的（効果）	・横浜市の国際競争力の向上や魅力・活力の持続的な発展につなげる。 ・関内・関外地区を中心とした横浜都心部の賑わいや経済効果の最大化及び地域の一体性の向上を目指す。 ・交流人口の拡大や市のブランドイメージ向上を目指す。 ・公共空間を活用した集客・地域振興を図る。				
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域活性事業「ハマフェス」の開催 ・メイン会場、ステージ設営運営費 11,600千円 ・各地区イベント開催支援経費 600千円 ・広報宣伝費 900千円 ・各地区周遊・連携イベント経費 600千円 ○関内・関外地区各商店街の地域振興施策 ・出展ブース設営費等 2,100千円 ○地域企業等と連携した実証実験の実施 ・運営費、開催経費等 2,100千円 ○「横浜開港月間」を活用した賑わいの醸成と発信 ・チラシ・ポスター制作等経費、事務局経費等 2,100千円 【実施体制】 ○事業推進主体：ハマフェス実行委員会 ○共催：横浜市 ○後援：神奈川県、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー  ハマフェスパスポート ハマフェスメインステージ				
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ハマフェスの経済波及効果（+45,000百万円） ②支援事業への協力企業数（+200件） ③ハマフェスパスポートの利用件数（+16,000件）			関連URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要【横浜版スタートアップ・エコシステム形成推進事業～withコロナに向けたDXや

脱炭素などの社会課題解決に挑戦するスタートアップの成長・発展～】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,823千円 (59,941千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・スタートアップ・起業家の成長・発展に向け、支援プログラムやネットワーク形成、拠点施設の設置・運営、地域課題の地元関係者等のサポート体制構築を通じて、横浜ならではのスタートアップ・エコシステムの形成を図る。 ・人材不足に陥りがちなスタートアップや中小企業を主な対象として、フリーランスや大企業の社員、キャリアブランクのある女性等の「副業・兼業人材」とのマッチングに向けた『新しい・多様な働き方』の仕組みの構築を図る。 ・産業競争力強化法に基づき国から認定されている「横浜市特定創業支援等事業」などにより、民間団体と連携し市内各地で広く創業支援に関する講座を開催し、創業促進と創業の機運醸成を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スタートアップ支援業務委託（委託料）55,941千円 ○イノベーション人材交流促進事業業務委託（委託料）4,000千円 【実施体制】 ○実施推進主体：横浜市、協働で事業を運営する事業者 ○委託先は、スタートアップ支援等の専門的な知見やノウハウがある事業者を公募にて選定   写真左：スタートアップ伴走支援「YOXOアクセラレータープログラム」の様子 写真右：起業家育成講座「YOXOイノベーションスクール」の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援した新規起業件数（+100件） ②支援したスタートアップが受けた投資額（融資を除く）（+120億円） ③スタートアップやプロジェクトの支援件数（+250件） ④YOXO BOXのスタートアップ・コミュニティ参加者・利用者数（+14,000人）	関連URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要【SDGs・脱炭素化を原動力とする横浜経済の持続的な成長・まちづくりの推進】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	240,000千円 (76,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	人口減少・少子高齢化、炭素経済依存型の産業構造、事業者における脱炭素・SDGsへの意識・対応ギャップなどの課題解決に向け、 ・脱炭素化・SDGs達成を両輪とした都市経営の推進を図る ・都心臨海部・郊外部双方の構造転換がもたらす社会課題へ対応する ・ヨコハマSDGsデザインセンターの収益事業化を通じた自律的好循環を確立する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ヨコハマSDGsデザインセンターのESG投資マネーを呼び込む稼げる組織としてのプロジェクトメイキング ・プロジェクトの創出委託 27,000千円 ・認証制度“Y-SDGs”の運営・活用等委託 19,000千円 ・プロモーション委託 10,000千円 ○住民・事業者が使用する電力の再エネ切替を契機とした、郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的に進めるまちづくりの推進 (補助金) ・行動変容に向けた普及促進 (ソフト) 10,000千円 ・プロジェクトに関する費用 (ハード) 10,000千円 【実施体制】 ○事業推進主体：横浜市、ヨコハマSDGsデザインセンター ○補助金交付先：郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的に進めるまちづくりについて、鉄道事業者・開発事業者・地域住民・まちづくり団体等で構成される事業体に補助金交付により事業実施 ▲ヨコハマSDGsデザインセンター 拠点 (みなとみらい21地区)  ▼横浜版脱炭素化モデル事業 一例 (相鉄南万騎が原) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デザインセンターのコーディネートによる、SDGs達成に向けた取組創出のための内外の主体のマッチング斡旋数 (+120件) ②Y-SDGs認証取得者数 (+600者) ③グリーン×デジタル活用に関する連携事業数 (+6件) ④郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的にすすめるまちづくりの推進地区 (エリア) 数 (+9地区)	関連URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

事業概要【よこはま産官協働小規模事業者支援プロジェクト

（デジタル田園都市国家構想の推進に向けた小規模事業者への支援）】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,000千円（18,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・従業員数が僅少で相談窓口赶赴けない小規模事業者への支援が可能となるため、小規模事業者の抜本的な経営基盤の強化につながる。 ・専門家による実効性の高い相談を通じ、小規模事業者において対応の遅れている「配（流通・卸）・販（小売り）」のデジタル化を促進 ・デジタル化を意識した「製（メーカー）」に係る設備投資が促進され、小規模事業者の生産性の向上につながる。 ・市内小規模事業者の生産性向上・デジタル化の実装と経営回復・雇用の創出により、持続的な成長・発展とデジタル田園都市推進に寄与。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●小規模事業者に対するデジタル化としての販路開拓支援 IDEC横浜から小規模事業者へ訪問等で相談支援を実施 ・事業主体…横浜企業経営支援財団（以下、「IDEC横浜」とする） ・主な経費…出張相談員等 謝金 など、11,700千円 ・事業全体の統括事務費…広報経費 など、300千円 ●小規模事業者に対する販路開拓支援 民間事業者からのインセンティブ付与を伴う支援メニュー提供 ・事業主体…横浜市経済局中小企業振興課 ・主な経費…民間事業者からの提供のため、費用負担なしを想定 ●小規模事業者に対するデジタル化に資する設備投資支援 デジタル田園都市国家構想に向けた設備投資実装に対する少額助成を実施 ・事業主体…横浜市経済局ものづくり支援課 ・主な経費…補助金の支給 など、6,000千円 ※60事業者×100千円（上限額100千円 補助率50%）  IDEC横浜による小規模事業者出張相談の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当該支援対象事業者の設備投資・販路開拓等に係る市内投資額の増（+75,000千円） ②支援対象事業者の従業員数増減（+9%） ③小規模事業者への販路開拓支援を行う民間事業者数の増（+10事業所）	関連URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,210千円 (111,128千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・人流データ等を活用し、市内の回遊性を向上させ、滞在時間を延ばすことで観光消費額の増加を図る ・小田原城以外の観光コンテンツを造成し、若年層を中心とした交流人口の拡大を図る ・小田原の食や食文化を広めることで、誘客につなげるとともに、一次産業、二次産業、三次産業にも効果を波及させ、地域経済の好循環につなげる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【施策1：デジタル技術の活用】25,128千円 ・情報発信媒体掲載料 (委託料) ・AIビーコン設置・運営 (委託料・負担金) ・デジタルスタンプラリー企画・運営 (委託料・負担金) ・市場調査費 (委託料) 【施策2：「美食のまち」の確立】46,000千円 ・食の啓発イベント、生産者と事業者のマッチングの実施等 (負担金) 【施策3：ポップカルチャーを活用した若年層へのアプローチ】40,000千円 ・アニメやe-sportsのタイトルコラボした誘客可能なイベント等の実施等 (委託料・役務費・負担金・使用料)	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①一人当たり観光消費額 (+712円) ②宿泊者数 (+255,000人) ③メディア等に取り上げられた件数 (+60件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihousousei/kouka/p37099.html

事業概要【子育て世代の住まう町～真鶴町定住推進事業～】

推進当初

申請者	神奈川県真鶴町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,473千円 (15,915千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・小さな町ならではのきめ細かな支援が整った子育て環境整備による子育て世代の定住促進 ・真鶴町ならではの魅力を生かした教育環境整備による子供たちの地域愛、郷土愛の向上 ・公民協働による行政のみの視点や資源を越えた地域課題の解決 ・広報力を強化し、移住や定住推進のために効果的な情報発信を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○総合的な子育てケアに係る実証実験経費 4,880千円 (一時保育・相談事業、子育て学級、要保護児童への支援対策補助) ○教育環境整備推進費 ・真鶴町らしい社会教育の年間プログラム経費 (講師謝礼、委託料等) 808千円 ・出張展覧会・対話型鑑賞会の実施経費 501千円 ・地域住民主体型事業の実施経費 1,109千円 ○公民協働推進費 ・公民協働事業情報を含めた総合オープンテラ特設サイト整備委託料 6,039千円 ・地域課題解決及び公園づくりに関する民間提案事業への補助 2,000千円 ○広報魅力化実証実験費 ・紙面広告及びWeb広告経費 578千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育プログラム参加者の経年増加率 (+20%) ②公民連携事業による課題解決件数 (+4件) ③町ホームページ閲覧回数増加 (+30,000回) ④一時保育、子育て学級、教育プログラム参加者の満足度 (+80%)	関連URL	https://www.town.manazuru.kanagawa.jp/soshiki/kikaku/senryakusuishin/1188.html

事業概要【地域産業の活性化によるゆがわら魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	神奈川県湯河原町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,000千円 (32,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・開発及び商品化を進めている源泉を凝縮した「（仮称）クラフト温泉」を新たな観光資源として活用し、若年層と連携した情報発信及び効果的なプロモーションの実施 ・新たな販路拡大を狙う町内の生産者・事業者と町外の販売チャンネルを結ぶマッチングを実施し、地域産業の深化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○町内のイベント、東京ガールズコレクションとのコラボレーションによるクラフト温泉の効果的なプロモーションの実施。 ・プロモーションの実施・効果検証等（委託料）26,000千円 ○若年層による情報発信スキームの深化及び自走化に向けた検討等の実施。 ・情報発信体制の企画・運営と自走化の検討等（委託料）3,500千円 ○伴走型の創業支援及びマッチング支援の継続と自走化に向けた検討・実施。 ・伴走型の創業支援の継続と自走化に向けた検討・支援（委託料）3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,400百万円） ②本事業の取り組みにより町外の事業所とマッチングした町内事業者数（+17社） ③クラフト温泉販売数（+18,000本）	関連URL	https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/soshiki/17/1914.html

事業概要【県内産業D X推進プロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県	初回採択回	令和4年度第1回募集											
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	152,757千円（51,260千円）											
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野											
目的（効果）	・企業に対する技術支援や掘り起こしを行うとともに、デジタル化に取り組むための相談体制やIT企業とのマッチングなどの支援体制の仕組みを整備することで、デジタル化に取り組む企業の裾野拡大を図る ・ビジネスモデルの抜本的な変革などのDXに取り組む経営者の育成及びモデルとなる企業の創出を図る ・企業のシステム導入を支援することでDXの推進を図る													
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○DX推進に係る支援体制の強化（11,643千円） ・DXセミナー開催 ・DX相談対応 ○DXのモデル企業創出と経営者の育成支援（21,603千円） ・DXのモデルとなる成功事例の創出 ・DX推進に係る経営者の育成支援 ○DX推進に係るデジタルツール導入支援（18,014千円） ・企業のDXを推進するためのシステム導入を支援	<table><tr><td rowspan="3">裾野拡大</td><td>普及啓発</td><td>・支援機関と連携した企業への意識啓発 ・商工団体・市町村等と連携したセミナー開催</td></tr><tr><td>支援体制の整備</td><td>・DX相談対応 ・工技総研による技術活用支援</td></tr><tr><td>システム等導入</td><td>デジタル導入の支援（補助金）</td></tr><tr><td rowspan="2">アレバプル</td><td>DXモデル企業創出</td><td rowspan="2">・DXのモデル企業の創出（経営者等のデジタル人材育成を兼ねる）</td></tr><tr><td>デジタル人材育成</td></tr></table>		裾野拡大	普及啓発	・支援機関と連携した企業への意識啓発 ・商工団体・市町村等と連携したセミナー開催	支援体制の整備	・DX相談対応 ・工技総研による技術活用支援	システム等導入	デジタル導入の支援（補助金）	アレバプル	DXモデル企業創出	・DXのモデル企業の創出（経営者等のデジタル人材育成を兼ねる）	デジタル人材育成
裾野拡大	普及啓発	・支援機関と連携した企業への意識啓発 ・商工団体・市町村等と連携したセミナー開催												
	支援体制の整備	・DX相談対応 ・工技総研による技術活用支援												
	システム等導入	デジタル導入の支援（補助金）												
アレバプル	DXモデル企業創出	・DXのモデル企業の創出（経営者等のデジタル人材育成を兼ねる）												
	デジタル人材育成													
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援企業のデジタル化取組レベルが向上した企業の割合（+60%） ②「情報サービス・映像音声文字情報制作業」の県内総生産（+7,862百万円）	関連URL	調整中											

申請者	新潟県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,402千円（12,009千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・本県の環境に適した循環型林業のモデル化を図る ・林業事業体の経営基盤の強化や素材生産量の拡大に向けて、林業事業体の事業共同化を図る ・川上から川下までの関係者が連携し、地域の森林資源の活用を図る ・林業の成長産業化を図り、中山間地域をはじめとした地域経済の活性化や公益的機能の発揮を推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○モデル的な低コスト再造林の取組に要する経費を支援 ・低コスト再造林経費（補助金）29,297千円 ※交付対象外事業 ○共同化の取組の実践に必要なスタートアップ経費を支援 ・共同土場、共同運搬に要する経費（補助金）5,542千円 ・事例報告会に係る開催費（事務費）84千円 ○川上から川下までの関係者が連携し地域の森林資源の活用を図る「つなぐプロジェクト」の立ち上げと実践を支援 ・各地域に関係者の調整役となるプロジェクト推進員を派遣（委託料）6,210千円 ・プロジェクト研修の開催（謝金、講師旅費、事務費）173千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①素材生産量（+3.75万m³） ②新規就業者数（+150人）	関連URL	調整中

事業概要【コンパクトな都市の実現に向けた魅力的な住環境創出支援事業】

推進当初

申請者	新潟県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,960千円 (42,782千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	目指す将来像として「コンパクトな都市」を実現し、暮らしやすいまちになることにより、魅力的なまちとして人口が集積し、限りある資源の中で誰もが快適に生活できる「質の高い生活空間」の形成を図る。 また、空き家を活用した住環境整備やまちなかへの居住誘導を図る市町村を支援することで、コンパクトな都市や質の高い生活空間の形成へ寄与する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①にぎわい空間創出支援：10,130千円 まちづくり初動期の事業検討調査を支援 ②空き家再生まちづくり支援：1,526千円 空き家を活用したにぎわい作りを支援 ③空き家利活用支援事業：28,500千円 空き家を活用した移住・定住対策を支援 ④空き家対策支援：1,500千円 市町村の空き家対策を総合的に支援 ⑤持続可能なまちづくりの推進：332千円 まちづくりに関する情報提供・普及啓発を行う ⑥美しいまちづくりの推進：794千円 良好な景観形成に関する啓発や専門による助言を行う  にぎわい拠点創出に係る検討調査を支援  まちづくりに係る意識啓発  空き家の地域活性化施設への改修		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県民意識・満足度アンケート 「住んでいるまちが魅力的だと感じる住民の割合」 (+6.4%)	関連URL	調整中

事業概要【食と雪と佐渡金銀山を活用した県産品販売促進事業】

推進当初

申請者	新潟県	初回採択回	令和4年度第1回募集
第事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	554,398千円（190,799千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・食や雪、佐渡島の金山などの他県と差別化できる観光コンテンツを活用した誘客促進 ・県産品の国内外への商品PRや販路拡大の取組のほか、本県の食文化を交えながら魅力を発信 ・県産品を観光コンテンツと組み合わせることで県外への認知度向上を図り、県産品の需要拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○メディア等を活用したプロモーションや、本県の食文化を組み合わせ た商品造成等、本県が誇る上質な食の魅力を国内外に発信 ・食を活用した実誘客の取組、情報発信等 26,922千円 ○「子ども」「ファミリー層」向け誘客等、将来スキー人口の拡大に向け た取組及び本県の雪（スノーリゾート新潟）の魅力を発信 ・国内外への情報発信等 13,438千円 ○「佐渡島の金山」の世界遺産登録を契機とした交流人口拡大に 向け、国内外にプロモーションを実施 ・県内周遊、通年型観光に向けた情報発信等 28,129千円 ○地方鉄道等、交通事業者と連携した誘客の促進 ・国内外への情報発信、観光商品造成支援等 11,526千円 ○本県農産品や日本酒の需要拡大や認知度向上に向け、プロモ ーションや販路拡大を促進 ・本県農産品のブランド化推進のためのPR等 98,036千円 ・新潟清酒の認知度向上や輸出拡大の促進 12,748千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①新潟税関支署管内の輸出総額 （+20,928百万円） ②本県の観光入込客数（+39,993千人）		関連URL 調整中

事業概要【「にいがた2km」魅力向上事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	659,876千円 (119,776千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・都心エリア「にいがた2km」において、居心地がよく歩きたくなるウォーカブルなまちづくりを推進する ・効果的な情報発信により、市民や民間事業者のまちへの期待感を高め、公民連携によるまちづくりを推進する ・上記取組により、「にいがた2km」の魅力向上を図り、歩行者通行量や商業販売額の増加につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ウォーカブルシティ・都市緑化の推進 ・旧新潟駅前通ストリートデザインの推進 (委託料) 7,300千円 ・東大通の賑わい創出 (委託料) 22,800千円 ・緑のまちなか空間の創造 (委託料・補助金・工事費) 36,000千円 ・新潟の食と花を活かしたイベントの開催 (委託料) 10,000千円 ・シェアサイクルの導入 (負担金) 6,376千円 ・「にいがた2km」の魅力創造と8区連携の強化 (委託料・補助金・負担金) 33,000千円 ○「にいがた2km」の情報発信 ・「にいがた2km」の魅力創造・魅力発信 (委託料) 4,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①都心エリアの歩行者通行量 (+8,008人/日) ②シェアサイクル車両あたり回転数 (+2.10回転/日) ③「にいがた2km」特設ホームページ閲覧延べ件数 (+77,000PV)		
		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/niigata2km/niigata2km.html (効果検証) https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/tihou/sossei2020/soseikaigi/soseikaigi2023.html



事業概要【オーガニックSHIBATAプロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県新発田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	132,666千円（32,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・オーガニック米をはじめとした高品質・高付加価値な農産物の生産拠点を整備し、農家の所得向上を図る。 ・グローバル市場を見据えた高品質な加工品・特産品づくりを行い、それに関わる組織、人材、生産体制、販路拡大を支援することでまちづくり基本目標である「健康田園文化都市しばた」を担う産業基盤を確立する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オーガニック米産地形成・・・6,000千円 ・スマート農業の検証・堆肥の高品質化等に関する長岡科学技術大学への調査分析委託料 1,000千円 ・実証圃設置・電気柵等鳥獣害対策・除草作業軽減対策経費等のオーガニック米生産体制構築経費 3,000千円 ・オーガニック米PR及びキャンペーン経費 2,000千円 ○加工品、特産品製造と販路拡大・・・10,000千円 ・オーガニックの食材や地域物産などを使用した「健康志向・高付加価値」な商品をはじめとした商品開発経費 5,000千円 ・販路拡大経費 5,000千円 ○農産物等輸出促進及び国内販路拡大・・・16,000千円 ・新発田産米トップセールス渡航経費、新発田産米海外PR及びキャンペーン経費、輸出用倉庫借上費 6,000千円 ・和牛国内外PR及びキャンペーン経費、和牛トップセールス渡航経費 5,000千円 ・いちご国内外PR及びキャンペーン経費 4,000千円 ・各トップセールスに係る通訳・コーディネーター委託費、農産物輸出PR及びキャンペーン経費、観光連携経費 1,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①有機JAS認証によるオーガニック米生産面積（+22ha） ②オーガニック米の生産量（+58.5トン） ③新規加工品・特産品の数（+41アイテム） ④米、牛肉、加工品、イチゴの総輸出金額（+71,000千円） 関連URL https://www.city.shibata.lg.jp/machidukuri/saisaku/sougoukeikaku/1013543.html		

事業概要【交流拠点施設を核としたアウトドアアクティビティによる

地場産品振興プロジェクト事業】

推進当初

申請者	新潟県燕市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	111,516千円 (33,247千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・道の駅における自然環境と市内農産物を活用した交流人口の創出・拡大を図る ・園芸作物との複合営農やスマート農業の推進により、市内農産物の販売量増加を図る ・さらなる人の流れを創出するため、首都圏やインバウンド等に向けたプロモーションの強化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○道の駅国上をベースキャンプとした、マルシェや子育て世帯向けのにぎわい創出イベントの実施 ・各種イベント開催経費（委託料）7,519千円 ○市内農産物販売量増加に向けた「複合営農×スマート農業」の推進 ・スマート農業の導入経費の補助（補助金）4,000千円 ・園芸作物転換に向けた設備導入経費の補助（補助金）3,000千円 ○首都圏やインバウンド等に向けた観光プロモーションの実施 ・キャンプ・BBQエリアを整備した道の駅国上でのアウトドアレジャー体験や100年フードに認定された背脂ラーメンをキーコンテンツに、各種メディアや首都圏、インバウンド等の観光客に向けたプロモーション（委託料・広告料）9,445千円 等		
KPI	①道の駅国上（ふれあい交流センター）利用者数 （+132,946人） ②市補助制度利用者の園芸作物作付面積 （+10ha） ③市公式LINEのお友達登録者数（市外者） （+240人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1316.html （効果検証） https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1359.html



▲イベント時、賑わいを見せる道の駅国上



▼好評の道の駅国上BBQエリア

事業概要【「ツバメ」でひろがれ。市内企業におけるSDG s 経営推進プロジェクト事業】

推進当初

申請者	新潟県燕市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,791千円 (14,697千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内企業におけるSDG s 経営推進に向けた取組を支援し、持続可能な市内産業を実現する。 ・地域におけるダイバーシティ推進やSDGsの理解促進を図り、多様な人材の確保と定着を目指す。 ・市内企業におけるカーボンニュートラルへの取組を支援し、生産技術や企業価値の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○女性活躍、ダイバーシティ推進に取り組む企業に対し、就業規則・社内制度の改善や外部専門家によるコンサル導入等の経費の補助 ・女性活躍・ダイバーシティ経営推進の補助（補助金）2,000千円 ○障がい者が作業を受託しやすくなる環境の整備や、企業に対する障がい者雇用に向けた理解の促進を図るセミナーの開催 ・障がい者への作業受託マッチング支援（委託料）2,200千円 ・セミナー開催経費（委託料、謝金、費用弁償）285千円 ○子ども向けに、異文化交流イベントや教室等の開催 ・ALT等の配置（報酬、謝金、費用弁償）4,000千円 ○カーボンニュートラルの実現に取り組む企業に対し、研修や計画策定等の経費の補助 ・カーボンニュートラル取組促進の補助（補助金）2,000千円 ・CO2排出量可視化ツール導入の補助（補助金）2,640千円 等  ▼カーボンニュートラル実現に向けた講演会の様子  ▲異文化を学ぶ教室の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イクメン応援プラス認定を受けた市内企業数 (+15社) ②「カーボンニュートラル宣言企業」数 (+100社) ③障がい者福祉の住民満足度 (+0.4%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1316.html (効果検証) https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1359.html

申請者	新潟県妙高市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,520千円（3,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	「登山者が増えるほど、自然や地域が豊かになる」 国立公園の保全において「担い手不足」と「財源不足」という課題を解決する必要がある。地域内のみで考えるのではなく、観光目的の利用者が増えその中から保護に積極的に関わる「関係人口」が現れ定着し、保護と利用と定着が好循環する「保護・利用モデル」を構築し、課題を解決する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 国立公園保護・利用モデル構築業務委託（3,300千円） ・登山道整備を行う担い手育成講座 ・保全活動ツアーの実施 ・妙高・火打エリアへの入山者増加施策の実施	「保護・利用モデル構築事業」の目的 YAMAP 本事業では、国立公園の「保護・利用モデル」を構築するため、保全に関する「担い手不足」「財源不足」という2つの課題を解決する必要があります。 課題を解決するための事業を考えるに当たり、事業目的を以下のとおり設定しました。これは、地域内部のみで保全を考えるのではなく、観光目的の登山者が増え、その中から保護に積極的に関わってもらう「関係人口」となる人が現れることで地域が潤い、結果として自然が豊かになる仕組みづくりを目指すことを表しています。 目的：登山者が増えるほど、自然や地域が豊かになる 「財源不足」の解決 国立公園の自然を守るためには多額の財源が必要。登山者が増えることで、保全への寄付が増えるのみならず地域全体が潤い、地域経済全体の活性化も期待できます。 「担い手不足」の解決 妙高・火打山の登山道総延長は100km超。地域の手による整備だけでなく、一般登山者が積極的に整備に関わることで登山道がより良い状態に保たれます。 目的を通じて達成されるゴール © YAMAP Inc.	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①入域料の総額（+800,000円） ②火打山の登山者数（+3,510人） ③登山道整備人材数（+10人） ④環境体験ターズ登録者数（+110人）	関連URL	https://www.city.myoko.niigata.jp/docs/55222.html

事業概要【日本一輝けるスタートアップアイランド

～多様な人財が集まり、安心して暮らし・働き・チャレンジできる島づくり～

推進当初

申請者	新潟県佐渡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	143,463千円 (47,362千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	●UIターン者の受け入れ促進、定着化に向けたフォロー ●島内企業全体のブランド力向上、選ばれる会社になるための仕掛けづくり ●人材の育成と確保、デジタル技術の活用等による柔軟な雇用と多様な人材活用 ●ベンチャー企業のスタートアップ拠点／企業研修施設の整備		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「稼げる」地域づくりと「働く」人材の確保から安心して「働き」・「チャレンジ」し輝ける環境づくり ・企業ブランド力強化支援（補助金）6,350千円 ・求人求職マッチングサイトシステム管理（委託料）5,500千円 ・企業研修および大学等の活動拠点運営（委託料）1,543千円 ・インターンシップ開催の企画運営（委託料等）6,508千円 ・「佐渡式株式会社（仮称）」運営（委託料）8,500千円 ○都市部とのつながりを築き、都市部からの新しいひとの流れをつくり安心して「暮らせる」環境づくり ・UIターンサポートセンター運営（委託料）6,897千円 ・移住促進・関係人口拡大イベント運営（委託料）1,350千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン定着率（+80%） ②UIターン者数（+76人） ③インターンシップ受入企業数（+17社） ④ベンチャー企業の本社機能移転数（+8社）	関連URL	https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/38452.html



求人求職マッチングサイトシステム
「さどマッチボックス」

事業概要【「元気なしまびと」を起点とした「魅力あるしま」づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県佐渡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	152,540千円 (64,748千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	市民が生涯にわたって活躍できるまちを目指し、青少年からお年寄りまでの健康寿命、食育、運動にアプローチした事業を展開するほか、都市部の人材との一体的な取り組みにより、地域づくりに資する人材＝「元気なしまびと」として、地域課題の解決に取り組む地域共生社会＝「魅力あるしま」を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○交流・居場所づくり ～社会参加及びコミュニティ形成の促進～ ・コミュニティソーシャルワーカーの設置による地域課題の解決力向上（委託料）41,572千円 ○活躍・しごと ～生涯活躍のまち＝「魅力あるしま」へ～ ・地域課題の解決や地域活性化の活動を行う地域団体等への支援（交付金）10,000千円 ○市民の健康対策 ～「元気なしまびと」づくり～ ・健康いきいきフェスティバル普及・開催（謝礼等）1,140千円 ・健康・スポーツ教室事業（謝礼等）691千円	 健康・スポーツ教室事業「1000人ラジオ体操会」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域づくり活動に関わった人数（+96人） ②しまびと元気応援団参加数（+2,220人） ③健康・スポーツ教室、ウォーキング教室の参加者数（+240人）	関連URL	https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/38452.html

事業概要【持続可能な観光地域づくりを目指した「佐渡版MaaS」実証事業】

推進当初

申請者	新潟県佐渡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	248,034千円 (83,313千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	持続可能な観光地域づくりを目指し、安心安全な公共交通ネットワークを実現するため、公共交通網の維持・確保を図るとともに、MaaSによる新たなモビリティサービスを通じて、新たな来訪者の誘致につなげ、高齢化とデジタル化を同時に解決する仕組みを構築し、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○佐渡版MaaS「観光地における新たなモビリティサービス」 ・さどまる倶楽部運営管理（委託料）8,631千円 ・ツアー・マルシェ・イベント等交流促進（委託料）4,532千円 ・博物館の魅力向上事業（謝礼、人件費等）2,920千円 ・地域の伝統技能発信事業（謝礼、人件費等）7,492千円 ・地域文化保存継承・体験事業（謝礼、委託料等）4,012千円 ・さど観光ナビ運営（委託料）5,840千円 ・CRM運営管理（委託料）4,647千円 ・ガイドを活用した観光コンテンツ造成（委託料）3,220千円 ○佐渡版MaaS「過疎地域における新たなモビリティサービス」 ・タクシーアプリ導入（補助金）3,700千円  該当するバナーをタップして 専用アプリをダウンロードしよう！ ☐ スマートフォンをお持ちの方 iPhone5以前の機種やAndroidでは、機種によってはアプリをインストールできない場合や、アプリをインストールできても機能が一部利用できない場合がございます。   ダウンロード後、画面指示に従い必要な情報を入力して登録完了！ 「さどまる倶楽部」アプリ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 1人当たりの旅行消費額（+15,465円） ② 観光旅行者の満足度（+3.8%） ③ 路線バス利用者（+3万人）	関連URL	https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/38452.html

事業概要【Startup connect project】

推進当初

申請者	富山県ほか 2 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	924,746千円 (218,920千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	誰もが起業にチャレンジできる環境づくりが重要であり、スタートアップの核となる突き抜けた人材が県内で自由にのびのび活躍しやすくする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●スタートアップ支援事業 ・スタートアップエコシステムの形成に向けたセミナーの開催等 委託料、負担金等 61,000千円 ほか ●まちづくり支援事業 ・起業・新分野展開に必要な経費への助成など 補助金10,000千円 ほか ●事業承継等によるイノベーション事業 ・相談窓口の設置など 補助金 10,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学発ベンチャーの起業件数 (+ 13件) ②県創業支援センター利用者の創業件数(+ 24件)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、入善町の広域連携事業

事業概要【ウェルビーイングによる人口増加プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	873,074千円（197,282千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県民の結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して子どもを生み育てられる環境、仕事と家庭生活との両立が実現できる環境、すべての子どもが心身ともに健やかに成長し、次代の社会を担う者として自立できる環境を整備。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●多様性や寛容性のある環境整備 ・県立大学が実施する県内就職定着促進事業に対する支援 補助金 10,000千円 ほか ●子育てしやすい環境整備 ・専門講師の派遣、伴走支援 委託料、補助金等 10,720千円ほか ●ライフステージ、ニーズに応じた移住、定着支援 ・移住の相談会、研修会、交流会 補助金等 10,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住みよさランキングの50位以内の市町村数（+9市） ②男性の育児休業取得率（+8.9%） ③県・市町村等の相談窓口を通じた移住者数（+190人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、黒部市、上市町、入善町の広域連携事業

事業概要【開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県ほか15自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	625,294千円（140,003千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	再生可能エネルギーの地産地消や環境・エネルギー産業の育成等により地域活性化や産業活性化、防災力強化も併せて実現。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●ワンチームとやま脱炭素プロジェクト ・アルミのリサイクル（グリーン化）に関する研究開発補助 補助金 20,000千円 ほか ●持続可能な社会づくり ・SDG s 宣言を行う企業の掘り起こし及びSDG s 宣言企業の連携促進企業と団体のマッチング等 補助金、委託料等 10,100千円ほか ●水資源の保全、活用 ・海洋教室やイベントへの補助 7,300千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①エネルギー消費量の2013年度比の削減率（+7.8%） ②県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率（+86.5%） ③一般廃棄物循環利用率（+2%） ④北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数（+150人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【Toyama Digital Transformation Project】

推進当初

申請者	富山県ほか 7 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,969,288千円 (407,101千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「県民目線」「スピード感」「現場主義」の 3 つの視点で、デジタルによる変革 (D X) 及び D X による働き方改革を強力に推進していくことにより、県民の「真の幸せ (ウェルビーイング)」を追求する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●デジタル基盤づくり ・データ連携基盤の拡大、利活用促進 委託料等 64,446千円 ほか ●県内企業等のデジタル推進 ・バックオフィス業務のデジタル化支援、研修会・個別相談会 2,500千円 ほか ●デジタル人材供給拠点づくり - 県立大学にDX人材の育成や学生の確保、遠隔事業の推進など 委託料 72,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①データ利活用による地域課題解決の取組み件数 (+56件) ②データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数(+300団体) ③県立大学での D X 関連教育を受けた社会人数 (+150人) ④県立大学における D X に関する相談受付件数 (+25件)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、黒部市、射水市、入善町、滑川市、高岡市、魚津市、小矢部市の広域連携事業

事業概要【ポストコロナの海外展開事業】

推進当初

申請者	富山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	776,841千円 (175,450千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	コロナ禍により落ち込んだ海外輸出、インバウンドといった産業、観光分野においてポストコロナの反転攻勢施策を進めるにあたり、外国人材の技術や才能を活かし、コロナ前の経済に戻す努力ではなく、コロナ前を超える経済状況を目指し、日本人にも外国人にも、働きやすく、暮らしやすい地域づくりを進め、世界に選ばれる「元気とやま」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●外国人材の活躍促進 ・県内企業への高度人材の受入・受入学生の県内定着促進 委託料、事務費 17,606千円ほか ●ポストコロナの反転攻勢（海外輸出） ・アドバイザーを活用した企業へのPR 補助金・委託料24,000千円ほか ●ポストコロナの反転攻勢（国際観光） - デジタルデータ等を活用したSNSによる情報発信 委託料、事務費 11,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山県の貿易額（輸出入額合計）（+1,781億円） ②外国人延べ宿泊者数(+1,051,000人） ③富山県内の「専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人労働者数」（+919人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

申請者	富山県魚津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,012千円（15,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	○魚津市ならではの「上質な体験プログラムや旅行商品の企画開発を行うとともに、快適で満足度の高い受入環境の整備に努めることで、繰り返し訪れてもらえる“観光地として選ばれる”地域づくりを進めていく。 ○魚津市が一体となった戦略的な観光推進体制（＝DMO）を構築することで、持続可能な観光地経営を図り、観光振興による地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○魚津市版地域DMO構築に向けた取り組み ・観光推進体制強化に向けた検討・協議等（委託料）1,500千円 ・専門家派遣費用（委託料）2,100千円 ○旅行者に「感動」を与える魅力的な商品・サービスづくり ・体験プログラムの造成（委託料）7,000千円 ・販売促進プロモーション（委託料）4,000千円 ・北陸新幹線敦賀延伸に伴うプロモーション（委託料）1,000千円  観光関連事業者による ワークショップの様子  地域資源を活用した 体験プログラムの造成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋39億円） ②延べ宿泊者数（＋130千人） ③体験プログラム参加者数（＋2,000人） ④レンタサイクル利用台数（＋982台）		関連URL https://www.city.uzo.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=8497&topkb

事業概要 【～住み慣れた場所で生涯安心して暮らせるまちづくり ～散居村型デマンドタクシー運行モデル事業】

推進当初

申請者	富山県砺波市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	151,287千円 (61,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・公共交通の効率化 ・高齢者の生きがい創出 ・中心市街地の活性化 ・散居景観の保全		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●運行エリア市内全域化に向けた実証運行にかかる委託費等 59,570千円 ●民間活力の活用と地域経済活性化に向けたHP改修・印刷製本費 320千円 ●医療・福祉との連携強化にかかるおでかけニュース発行費・イベント開催費・クーポン配信準備費用 1,610千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コミュニティバス及びデマンドタクシーの年間利用者数 (+13,000人) ②コミュニティバス収支率 (+10%) ③デマンドタクシー登録者数 (+880人) ④デマンドタクシー停留所数 (+50箇所)	関連URL	www.city.tonami.lg.jp/info/35269p/ www.choisoko.jp/tonami/

事業概要【若者から選ばれる「寛容なまち南砺」創生プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	270,060千円 (63,204千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制を構築する。 ・若者どうしの交流による新たな価値創造を推進する。 ・寛容でチャレンジ精神旺盛なまちを創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制の構築 ・移住コンシェルジュ配置 (負担金・事務費) 2,186千円 ・移住コーディネート事業 (委託料・事務費) 10,708千円 ・就活・雇用支援事業 (委託料) 7,329千円 ○若者どうしの交流による新たな価値創造 ・婚活支援事業 (委託料・事務費) 9,977千円 ・若者ネットワーク構築事業 (委託料) 4,135千円 ○寛容でチャレンジ精神あふれるまち創造 ・働き方改革、子どもの権利普及事業 (委託料・事務費) 6,027千円 ・若者、女性から選ばれる企業への変革応援事業 (補助金) 8,750千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者 (20～39歳) の純移動率の改善 (+4.6%) ②市内企業に就職した新卒学生数 (+46人) ③寛容な社会が形成されていると感じる市民 (20～39歳) の割合 (+18.5%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=26590



誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ

事業概要【まちの中心「地鉄立山線五百石駅周辺」便利な街へ再設計事業】

推進当初

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	76,980千円 (24,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	五百石駅周辺の商業展開の基盤を整え、五百石駅周辺での起業支援や交流の促進、五百石駅から富山地方鉄道を利用して立山黒部アルペンルート等へ向かう観光者の増加等に取り組むことにより、地域内外の経済循環が創出され、五百石駅周辺の営みが増し、酒類を提供できる飲食店や起業店舗等の従業員といった雇用の創出が生まれ、活気にあふれた町を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 五百石駅周辺の「街」再設計事業 まちなかでの新規開業出店者への起業時の支援や、町と包括連携協定を締結している各大学生の活動支援、「宿泊施設等誘致可能性調査」の結果をもとに、今後も町中心部に相応しい機能を維持するよう、町民総参加のもとまちなかの再設計を行う。 ○ E-BIKEステーション運営・管理委託料 ○ 五百石駅発着ツアー及び歓迎イベント開催委託料 五百石駅を起点とし、E-BIKEで田園・里山エリアの観光地や立山駅へ行く観光商品を企画販売する。 また、地鉄立山線の活性化に向け、地鉄立山線の車両の中吊りを活用した「動く美術館」事業や、町民が乗車客におもてなしの意味を込めて手を振る「多手山（たてやま）プロジェクト」を実施する。  富山地方鉄道五百石駅・元気交流ステーション「みらいぶ」 E-BIKEで 周遊 平野部の観光資源ヘルジアンウッド		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①五百石駅前通行量（+30人） ②五百石駅前でE-BIKEレンタル件数（+30件） ③五百石駅乗降者数（1日平均）（+30人）	関連URL	https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/hishoseisakukakari/3/2/9434.html （現在準備中）

事業概要【官民・地域と連携した金沢港を核とした賑わいづくり】

推進当初

申請者	石川県、金沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	438,029千円 (209,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光分野
目的 (効果)	・金沢港を拠点とした交流人口の拡大の取組を図る ・クルーズ客の県内全域への波及を図る ・金沢港周辺地域の賑わい創出を図る ・県産食品・伝統工芸品のPRを図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○他港と連携したクルーズ船誘致強化事業 (補助金) 33,000千円 ・海外見本市への出展や国内他港と連携した誘致、クルーズ船社・旅行社等の幹部招へいなどを展開。 ○金沢港クルーズターミナルを核とした賑わい創出事業 (補助金) 146,000千円 ・「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」を中心とした石川らしい歓送迎や港から市街地へのシャトルバスサービスなどを実施。 ○金沢港発着クルーズの定着促進に向けた安全安心なクルーズのPR事業 (補助金) 30,000千円 ・県内外のイベントやクルーズセミナー、広報媒体などを通じたPRを実施。 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①金沢港クルーズターミナルで開催したイベントによる集客数 (+13,000人) ②金沢港クルーズターミナルの利用者数 (+100,000人) ③金沢港へのクルーズ客数 (+39,600人)	関連URL	https://www.k-port.jp https://www.kanazawa-cruise.jp https://www.pref.ishikawa.lg.jp/keikaku/keikaku/20150303.html

事業概要【北陸新幹線県内全線開業による開業効果の最大化及び持続、県内全域への波及】

推進当初

申請者	石川県ほか 3 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,268,129千円 (421,293千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光分野
目的 (効果)	・令和 6 年春の北陸新幹線敦賀開業に向け、観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出を図る ・交流人口を一層増加させ、県内全域に開業効果を波及させるとともに、雇用の維持・確保を図る ・コロナ禍を経て、多様化する旅行ニーズの変化を踏まえた誘客に取り組む		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○北陸新幹線県内全線開業効果の最大化に向けた広域連携による誘客対策 198,150千円 (主な経費) ・北陸三県で連携した大手旅行会社の観光PRキャンペーンの実施負担金 5,000千円 (県) ・DCなど開業イベント関連事業 59,500千円 (県) ・北陸三県で連携した J R タイアップ通年誘客キャンペーン事業実施負担金 11,500千円 (県) ・旅行博への出展等のセールスプロモーション活動の実施委託費 20,150千円 (金沢市) ・金沢-敦賀間開業に向けた各自治体のプロモーション活動の強化及び交流基盤の底上げ事業 55,000千円 (小松市) 4,000千円 (能美市) 等 ○多様化する旅行ニーズに対応した誘客 222,143千円 (主な経費) ・学生ガイドプログラムの開発等修学旅行の誘致強化補助金 12,000千円 (県) ・若年女性など多様なターゲットにも対応したデジタルマーケティングを活用した三大都市圏からの誘客強化事業 63,800千円 (県) 、85,000千円 (小松市) ・女性向け雑誌やWEBメディアとタイアップしたプロモーション活動の実施委託費 10,200千円 (金沢市) 等 ○有識者委員会の開催 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①三大都市圏からの観光入り込み客数 (+ 803万人) ②県観光ホームページへのアクセス件数 (+ 2,865,602件) ③教育旅行誘致人数 (+ 16,792人)	関連URL	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/20150303.html#H28kensyou

※石川県、金沢市、小松市、能美市の広域連携事業

事業概要【インバウンド再開を見据えたいしかわの魅力発信プロジェクト】

推進当初

申請者	石川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	361,342千円 (125,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光分野
目的 (効果)	北陸新幹線の県内全線開業、その先の世界的なイベントである令和7年の大阪・関西万博も見据え、それらの効果を最大限に引き出すため、外国人旅行者の多様なニーズに対応した県内の観光素材の発掘・磨き上げを進めるとともに、観光コンテンツを含めた本県魅力を効果的に発信することで、年間を通じた誘客（時期の分散）、および中心地の金沢のみならず、加賀や能登など県内全域への波及（地域の分散）による誘客効果の最大化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アジアに向けた魅力の発信 ・現地消費者に向けた情報発信を目的とした現地イベントへの出展および現地販売店舗の運営委託費 53,720千円 ・国内外メディアやインフルエンサーの招へい・情報発信委託費 6,500千円 ○欧米豪に向けた魅力の発信 ・欧州・米国観光レップやオセアニア観光特使を活用した現地PR・情報収集委託費 17,000千円 ○受入環境の整備 ・外国語観光ウェブサイトの管理運営、情報更新・翻訳費（補助金） 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①現地イベントにおける参加者数（+12,100人） ②SNSフォロワー数（+22.5千人） ③オンライン商談会での成約件数（+40件） ④大手オンラインショップ内の県産品紹介販売サイトでの売上額（+5,672千円）		関連URL https://www.pref.ishikawa.lg.jp/keikaku/keikaku/20150303.html#H28kensyou

事業概要【特色ある石川県産農林水産物のブランド化推進事業】

推進当初

申請者	石川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	566,756千円 (199,830千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産分野
目的 (効果)	本県には、量は少ないものの特色ある農林水産物が数多くあり、これらのブランド化により、農林水産業の持続的な発展のみならず、石川県の魅力向上への昇華を経て、地域経済の活性化はもとより、石川県民の誇りの醸成にも寄与することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農林水産物の更なるブランディング ・各品目パッケージ化によるプロモーション経費 33,500千円 等 ○首都圏における販路開拓 ・「いしかわ百万石マルシェ」開催やテスト販売にかかる経費 71,000千円 等   百万石の極み 首都圏トップセールスの様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ブランド品目の販売額 (+15.4億円) ②商談成立件数 (+277件) ③6次産業化総合化事業計画の認定数 (+12件)	関連URL	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/20150303.html#H28kensyou

事業概要【大学発のスタートアップの発掘・育成事業】

推進当初

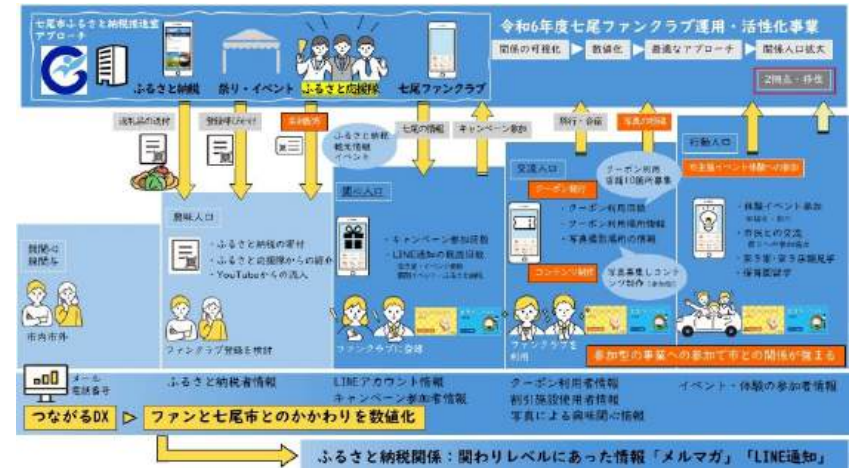
申請者	石川県	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	125,600千円 (57,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・機械・繊維をはじめとした本県の製造業の集積を活かし、技術優位性の高い大学発スタートアップを創出することで幅広い業種の産業を創出し、本県の産業構造の多重化・多軸化を図るとともに、スタートアップ創出による雇用増加や移住・定住を促進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①大学発スタートアップ発掘・育成事業 ・地元大学と連携した研究シーズの発掘、企業とのマッチングのためのプレゼン会の開催等（補助金）15,000千円 ②スタートアップビジネスプランコンテストの実施 ・本県での起業希望者を県内外から募集し、認定された起業家を対象に創業準備資金の支援等を実施。（補助金）23,000千円 ③いしかわアクセラレータープログラム ・急成長が期待されるスタートアップに対して、経験豊富なベンチャーキャピタリストが伴走支援（補助金）10,000千円 ④スタートアップ支援拠点の形成 ・県内の支援拠点に対する交流促進等の取組支援（補助金）9,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①研究シーズと民間企業のマッチング（+22件） ②研究シーズ発掘件数（+35社） ③大学発ベンチャー設立数（+8社） ④県内出身県内大学生の県内就職率（+12.2%）	関連URL	※②スタートアップビジネスプランコンテストの様子  https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/20150303.html#H28kensyou

申請者	石川県金沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	462,944千円 (162,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・スポーツを通じて国際理解、多様性の理解の促進による共生社会の実現を図る。 ・文化スポーツイベント開催を通じて、市民の幸福で豊かな生活の実現を図る。 ・国内外からの誘客により観光産業の進行や関係人口の拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国際交流事業 ・日仏の競技大会へ相互派遣 (委託料) 1,000千円 ○共生社会推進事業 ・イベント開催等によるパラスポーツの推進 (委託料) 8,300千円 (補助金) 1,300千円 ○スポーツ文化推進事業 ・新サッカー場周辺活性化事業 (委託料) 4,500千円 ○交流人口拡大事業 ・文化スポーツイベント誘致促進事業 (委託料) 43,200千円 (補助金) 18,100千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間宿泊客数 (+107万人) ②市内における学会、大会等の開催数 (+350回) ③ふるさと納税寄附受入件数 (+4,000件) ④健康づくりに取り組む団体の応募数 (+28団体)	関連URL	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html

事業概要【スポーツと文化を生かした七尾みなと・まちなか賑わい再生プロジェクト】

推進当初

申請者	石川県七尾市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	108,425千円 (11,275千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・賑わいの創出から新たな雇用を生み出し、稼ぐ力を高めることで、将来的には、地域の担い手となる若者層流出の抑制や事業者等の経営継続性を高めることにより、激減する人口減少を緩和させ、七尾市の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○なお S D G s コンソーシアム運営事業 ・コンソーシアム運営に係る支援 (補助金) 1,000千円 ○官民連携による「みなと・まちなか」の賑わい創出 ・「君は放課後インソムニア」コラボ事業 (委託料) 679千円 ・七尾ファンクラブ事業 (委託料、広告費) 5,836千円 ○スポーツ・文化を活用した情報発信 ・スポーツイベント活用事業 (補助金) 2,200千円 ・地域の文化資源を活用した芸術文化の振興事業 (謝金、委託料、消耗品費等) 1,560千円		
KPI	※経費内訳はR6年度事業費 ①本事業にて実施されたイベント等への参加者数 (+11,000人) ②七尾駅前にぎわい館入館者数 (+75,000人) ③新たにオンラインショップを開始した事業者数 (+3件)	関連URL https://www.city.nanao.lg.jp/kika-ku-s/shise/sesaku/sogosenryaku/sougousenryaku.html	

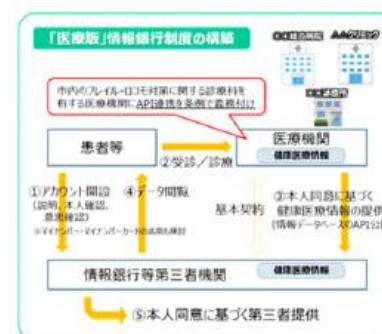


事業概要【マイナンバーを軸とした加賀市版電子自治体推進事業】

推進当初

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	432,000千円 (107,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・マイナンバーカード及びマイナンバーを軸としたデータ連携により、豊かで最適化された地方創生モデル都市の構築を図る。 ・異なる医療機関において蓄積される情報を横断的に閲覧可能とすることで、最適なプッシュ型支援を行い、「100歳まで元気に暮らせるまち」の実現と医療費や介護費の削減を図る。 ・マイナンバーカードによる公的個人認証とマイナンバーと紐づいた分野IDをデータ連携することで、ワンストップによるサービス提供を図る。		
事業概要・ 主な経費	○市内医療機関と情報銀行を連携し、市内医療機関と接続 ・情報銀行連携医療機関拡大事業（委託料）21,000千円 ○モビリティデータ連携拡充及びEBPMによるモビリティの導入等改善 ・モビリティ連携等拡充事業（委託料）65,500千円 ○マイナンバーカードを活用したデジタルサービスの恩恵を受けられる社会に向けて、スマホ教室等を開催 ・スマホ活用教育事業（委託料）：4,000千円 ○マイナンバーカードと顔認証による利用登録サービスを提供 ・加賀市イノベーションセンターのマイナカード顔認証登録サービス事業（委託料）11,000千円 ○加賀温泉駅以南の田園エリアにおいて、Wi-Fi Halowの整備を実施 ・加賀温泉駅以南Wi-Fi Halow環境整備事業（委託料）5,500千円		
KPI	①市民の情報銀行のアカウント開設人数（+600人） ②AIオンデマンド交通の利用者数（+1,930人） ③AIスクリーニングシステムによる子どもへの支援件数（+115件） ④Wi-Fi Halowを活用したサービス導入数（+4件）	関連URL	（行政評価） https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html

※経費内訳はR6年度事業費



◀医療版情報銀行のイメージ



Wi-Fi HaLow子機が設置
可能と想定されるエリア図

※カッコ内の数値は最終事業
年度までの「KPI増加分の
累計」の目標値

事業概要【子ども・若者を中心としたSDGs推進プロジェクト】

推進当初

申請者	石川県白山市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,526千円 (9,342千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	子ども・若者を中心にSDGsについて学びつつ、平野部から白山ろくの多様な地域特性を守り、人口減少や高齢化など社会の変化への対応や地域課題解決に向け、地域間及び広域的な連携強化、市・地元企業・住民組織の協働により、白山ろく地域の活性化、市民が地域に誇りを持ち、安全で安心して暮らし続けることができる「まちづくり」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 推進本部運営事業（謝金・旅費）421千円 産学官民連携推進関係 ○ SDGs 未来会議（委託料）600千円 ○ SDGs 若者チャレンジ事業（委託料）2,971千円 ○ SDGs 認定制度運営（委託料）1,480千円 ○ SDGs 教育の展開（委託料）1,170千円 ○ 学びのモデル地区（委託料）500千円 ○ 女性活躍の場の創出（委託料）350千円 ○ ユネスコ活動の強化（委託料）350千円 ○ 市民交流活動（委託料）500千円 ○ 総合学習の実施（委託料）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者チャレンジ事業活動人数（+580人） ②白山ろく地域の定住者数（+30人） ③学生との交流事業参加人数（+150人） ④市外の団体等の事業参加者（+300人）	関連URL	https://www.city.hakusan.lg.jp/machi/chihososei/1003422.html



事業概要【伴走型サポートによる移住定住促進事業】

推進当初

申請者	石川県能美市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	31,241千円 (10,161千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・転出超過となっている若年男女の対策を講じる能美ならではの暮らしの魅力を首都圏の移住希望者を中心に広く発信する ・移住希望者を受け入れる土壌づくりに努め、住まいや仕事に関する情報提供等の総合的な支援を展開する ・伴走型の移住サポートを実施し、若年層を中心に本市への移住定住を促進する		
事業概要・ 主な経費	移住定住促進協議会運営補助金 【協議会の主な業務内容】 (1) 相談体制・ネットワークの強化 (2) 情報発信の充実 (3) 住まい探しのサポート (4) 仕事探しのサポート 【補助の内訳】 ①移住コーディネーターによる伴走型相談支援業務 4,312千円 ②情報発信業務 1,617千円 ③移住イベント出展 353千円 ④短期移住体験施設の維持管理（2軒） 2,786千円 ⑤空き家発掘強化事業 269千円 ⑥事務作業 674千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①伴走型サポートによる相談から移住に繋がった移住者数（+60人） ②移住に関する相談件数（+220件） ③市内にある短期移住体験施設の利用件数（+90件） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	調整中



申請者	石川県中能登町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,500千円 (4,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・心のバリアフリー推進に向けて、障がい者や高齢者が地域活動や観光を楽しんでいただくため、コロナ禍で新しいまちづくりの在り方としてSociety5.0の未来技術を活用するとともに、若者の田園回帰のきっかけのための環境づくりとして、観光、繊維産業、農業、伝統産業、地域経済に変革を与え、新産業としてデジタルを地域に根付かせたうえで、起業できる風土をつくる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○未来技術社会実装検証事業 ・スマートツーリズム調査検証事業（委託料）3,000千円 観光ARやVRのアプリ、地域通貨などのローカルポイントシステムを順次実装を拡大したうえで、デジタルコンテンツ活用やワークショップと組み合わせた「デジタルツアー」のモニターツアーを実施する。 ○デジタルアカデミー・人材育成・確保事業 ・アカデミーセミナー実施・人材育成事業（委託料）1,000千円 協議会の自立のため民営化の準備と併行しながら、デジタル人材を発掘するため、シビックテックの意識高い講師などと連携した中能登独自のアカデミーを創設し、小学生や中学生、高校生、成人者などの若者や地域も巻き込み、ワークショップや人材育成のスキルアップ研修や勉強会、実証事業の体験イベントなども開催する。     		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光ARコンテンツ利用者数（+15,900人） ②未来技術環境への期待度・満足度（+80%） ③デジタル活用支援員（+39人） ④マイナンバーカード取得率（申請率）（+50%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/kikaku/3/5/1/1/8420.html

事業概要【新幹線開業に向けた県都まちづくり官民応援プロジェクト】

推進当初

申請者	福井県、福井市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	933,277千円 (362,388千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・福井県・福井市・経済界が連携し、県都中心市街地の商業エリアの開発・誘致を図る ・北陸新幹線開業を契機とし、誘客イベントの開催や観光案内・情報発信の強化等により域内消費の最大化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなか誘客イベントの開催 ・フルマラソンおよび機運醸成イベント等開催(負担金) 134,126千円 ・まちなかでの観光消費拡大イベント開催(委託料) 40,453千円 ・新幹線開業イベント等の開催(委託料) 3,274千円 ○観光情報の発信 ・福井駅観光案内所の運営(負担金) 20,000千円 ○リノベーション等により商業まちづくり事業への支援 ・リノベーション等ハード整備への支援(負担金) 164,535千円	  フルマラソン開催による誘客 Before  After  店舗等のリノベーション	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①福井市まちなか観光客入込数 (+80万人) ②福井まちなか地区の歩行者通行量 (+8,933人/日) ③福井まちなか地区の空き店舗の解消数 (+6店舗)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html 福井市調整中 (効果検証) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/vision_senryaku.html

事業概要【SDGs未来都市ふくい 未来人材育成プロジェクト】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	222,628千円 (78,139千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・「SDGs未来都市」として、「福井県長期ビジョン」にも掲げるSDGsの理念を全県に広げつつ、産学官が一体となり、福井の未来を担う次世代の育成を進めることで持続可能な地域社会の実現を目指す。 ・県内企業への就職を志す若者や地域課題の解決に興味をもつ若者を増やすことにより、進学や就職を契機とした人口流出に歯止めをかけることを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SDGsの理念に沿った地域人材の育成 ・SDGsパートナー登録企業等との連携による次世代育成のためのプログラム継続実施（消耗品費、印刷製本費） 35千円（実施主体：県） ・SDGsパートナー登録企業等との連携によるSDGsの普及啓発 4,813千円（実施主体：県） ○若者に魅力的な大学づくり ・各大学の魅力や特色を高める取組みへの支援 44,000千円（補助金） ・企業の課題解決など地域に根差したPBL・共同研究への支援 28,267千円（補助金） ○探究的な学びの促進 ・先端の研究者に学ぶ講座の開催 1,024千円（県主体） 2030年のあるべき姿 自信と誇りのふくい 誰もが主役のふくい 飛躍するふくい 好循環の創出		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内高校卒業生の県内大学進学率（+4.2%） ②県内大学等の卒業生の県内就職内定率（+4.4%） ③学生Uターン率（+2.9%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/sdgs/sdgs-top.html （効果検証） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html

事業概要【デジタルマーケティングを活用した移住定住促進事業】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	515,426千円（173,303千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・デジタルマーケティングを活用した移住定住施策の実施による潜在的な移住希望者層の開拓 ・ワーケーションの受皿拡大による都市部人材の地方滞在および将来的な移住の推進 ・学生の就活スタイルの変化に合わせた、オンラインを活用した就活事業の実施によるUIターン就職の促進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルマーケティングを活用した移住定住施策 ・ナッジ広告や動画、SNSなどを活用した情報発信 12,704千円 ・「ふくい暮らしはたらくサポートセンター」による支援 73,484千円 ・移住フェア等の開催およびナッジ広告による集客 17,857千円 ・若者向けのしごと、住まいマッチング支援 5,349千円 ・移住サポーターによる移住情報発信・定着支援 3,017千円 ○ワーケーションの受け皿拡充 ・ものづくりを中心とした若者向け滞在体験 5,016千円 ・子育て世帯の長期滞在プラン「ふく育県留学」の実施 6,135千円 ○新たな就活スタイルに適応した学生UIターン就職の推進 ・インターンシップの開催 13,845千円 ・WEB広告やオンラインコンテンツを活用した情報発信 2,695千円 ・新たな就活形態に適したセミナーや交流会の開催 33,201千円     ナッジ理論を活用した広告（上段）の活用により情報発信・集客を行い、対面実施の移住フェア（下段）にて本県の魅力を伝える		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた移住者数（+216人） ②ワーケーションに参加した人数（+500人） ③県外学生のUターン就職率（+8%） ④「ふくい移住ナビ」のチャットボット利用件数（+240件）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.fukui-ijunavi.jp/

事業概要【ふくいの社会経済環境大変動時代における地域産業活性化事業】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	207,823千円 (78,146千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	本県の地域産業が持つ課題として、全国水準を超える人口減少・高齢化はもちろんのこと、それに伴う県内企業の人手不足や経営者の高齢化が顕著であり、加えて昨今の新型コロナウイルス感染症や物価高等、社会経済環境が大きく変化している。変化に柔軟に対応できる新たな企業を生み育てるために、ベンチャー等の成長企業の創出、創業・事業承継の推進、企業の省エネ・脱炭素化への対応を支援し、本県の地域経済の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○成長力ある創業者の育成、創出に向けた支援 42,160千円 ・創業にかかる初期経費の補助 (補助金) ○県内ベンチャー企業の成長支援 10,167千円 ・ベンチャー相談窓口の設置、経営者が集う経営戦略塾・投資家等を集めたベンチャーピッチイベントの開催 (補助金) ○県内企業の事業引継ぎ支援、承継に向けた企業価値向上に対する資金的支援 ○首都圏の企業を対象に、トップセールスにより本県の企業立地環境、福井の暮らしなどを紹介するセミナーを開催し企業を誘致 2,189千円 ○県内企業のカーボンニュートラル支援策 ・県内企業向け省エネ総合相談窓口の設置、省エネ実施企業による先進事例の研修会開催 (委託料) 12,630千円 ○企業の新事業展開に対する資金的支援 (補助金) 11,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた県内創業者数および事業承継件数 (+530件) ②デジタル人材活用支援件数 (+108件) ③ベンチャーピッチ登壇企業数 (+20社)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sinsan/sougyousien.html (効果検証) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/fukui-sousei-senryaku.html

事業概要【ターゲットに刺さる福井の魅力創出・発信事業】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	590,137千円 (200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・本県魅力を活かしたコンテンツを充実させることにより、観光客の周遊・滞在の促進、宿泊促進を図る ・ターゲットに応じたプロモーションを実施することにより、開業効果の最大化を図る ・嶺南地域の魅力の磨き上げ、プロモーション強化に取り組むことで、嶺南地域の観光客増加、地域経済活性化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新幹線駅から県内周遊・滞在を促すコンテンツの充実 ・一乗谷朝倉氏遺跡の連携研究 (委託料) 22,443千円 ○新幹線開業に合わせたインパクトある県外ターゲット向けプロモーション ・戦国イベントを開催 (委託料、補助金) 41,656千円 ・県外学生向けに情報発信を実施 (委託料) 8,676千円 ○マーケティング結果を活かした効果的なインバウンド向けプロモーション ・ターゲットに刺さる広告掲載等を実施 (委託料) 12,720千円 ○嶺南地域への開業効果波及につながるイベント開催、コンテンツ充実 ・嶺南誘客キャンペーンを開催 (負担金) 63,754千円 ・三方五湖エリアにて広域バスを運行 (委託料) 3,611千円     		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+866億円) ②観光客入込数 (+829万人) ③外国人宿泊者数 (+37.7万人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/kankouvision.html

事業概要【「御食国若狭おばま」観光デザインプロジェクト】

推進当初

申請者	福井県小浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	48,814千円 (15,676千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「御食国」の歴史や食文化を核として観光の目的地に選ばれるよう観光誘客力の強化と地域ブランドの確立 ・歴史観光関連産業の事業者等が連携した観光コンテンツ開発等による地域資源を活かした交流人口の拡大 ・生産者と料理人が連携する場の整備やブランド養殖魚の養殖等による地元食材の消費拡大 ・令和6年3月の北陸新幹線敦賀開業による交流人口の拡大		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○歴史資源等を活かした観光コンテンツやツアー等を開発・造成する。 ・自己資金調達プラン実施促進に向けた調査委託料 693千円 ・歴史遺産活用プラン環境整備補助金 400千円 ・自己資金調達プラン実施補助金 400千円 ・食と連携した着地型観光コンテンツ開発・ファムトリップ実施・誘客促進委託料 2,844千円 ○食を核とした観光誘客と地元産品の消費拡大を図る。 ・地元産品の販路開拓・情報発信委託料 1,100千円 ・市民参加型情報発信環境整備・講習会・WEBサイト情報発信委託料 1,144千円 ・食の情報発信・食観光ツアー造成・体験観光プログラム造成等補助金 3,900千円 ・鯖養殖技術研究開発委託料 5,195千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①造成・開発した観光商品やツアー等の参加者数 (+100人) ②観光消費額 (+900百万円) ③観光商品やツアー等の造成数 (+5件) ④お土産パッケージデザインの開発数 (+10件)	関連URL	(具体的使途・実施体制) https://www1.city.obama.fukui.jp/shisei/shinoseisaku/seisaku-keikaku/p006530.html (効果検証) 令和6年7月公表予定

事業概要【大野の未来につなぐ人づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	福井県大野市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,000千円（3,196千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人の成長や人から人への継承による持続可能な地域づくりを目指し、次の事業に取り組む。 ・脱炭素への関心と実践を促すための脱炭素を推進する人づくり事業 ・デジタルリテラシーの格差を解消するための公民館等でのデジタル活用支援事業 ・防災意識や防災活動を強化するための自主防災組織育成事業		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○脱炭素を推進する人づくり事業 ・中学生が地球温暖化問題を学ぶEco落語の開催（委託料）504千円 ・親子や若年層が地球温暖化問題を学ぶ講演会の開催（委託料）850千円 ・省エネ啓発パンフレットの作成（委託料）758千円 ・出張エコドライブ体験の開催（委託料）42千円 ・EV乗り換え促進のための乗車体験イベント（消耗品）46千円 ○公民館等でのデジタル活用支援事業 ・スマートフォンの活用方法等の講座（手数料）396千円 ○自主防災組織育成事業 ・地域防災マップ作成経費の補助（補助金）600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①COOL CHOICEに賛同登録した人数（+1,000人） ②公民館や生涯学習センターでのデジタル活用支援講座の受講者数（+180人） ③結成した自主防災組織の活動割合（+30%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.ono.fukui.jp/shisei/seisaku-keikaku/sogoplan/suishinkaigi/index.html

19

事業概要【地域イノベーション・エコシステム形成支援事業

～人が集い・輝き・挑戦するまちの創造～

推進当初

申請者	福井県鯖江市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	187,957千円 (67,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	高い技術力に裏打ちされた既存産業と、成長分野や域外企業とを融合させることにより、新たなイノベーションを追求するスタートアップを継続的に生み出し、産地の新陳代謝を促進させる地域エコシステムを形成する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	既存産業の技術・品質力を、企業収益性の向上や産地全体の受注獲得につなげるため、ターゲット市場を絞った販路拡大を行う企業の取組を支援する。 また、産地全体を指す地域ブランド「めがねのまちさばえ」の認知度向上を、地域ブランドとしての価値向上につなげるため、国内見本市への市ブース出展などの産地プロモーションを行う。 さらに、既存産業と異業種分野のマッチングの機会創出や、企業のデザイン力やマーケティング力の向上、デジタル技術の積極的な活用推進、プロモーション能力の強化・向上などに産官学が連携して取り組む。 1 世界への挑戦支援事業（補助金）5,000千円 2 地域ブランドの価値向上（委託料、補助金）50,000千円 3 共創型新事業創出プロジェクト（委託料、補助金）12,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市産医療器具、部品加工等の受注額（+320,000千円） ②域外企業との事業マッチング件数（+9件） ③AI・IoT等導入支援事業採択数（+5件）	関連URL	https://www.city.sabae.fukui.jp/about_city/kekaku_torikumi/kakuhukeikaku/sogosenryaku/SogoSeisaku0120230.files/2-2-2KPI.pdf



申請者	福井県越前市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,240千円 (20,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・北陸新幹線越前たけふ駅周辺エリアにおいて産業集積を行い、若い世代に魅力ある雇用創出を図る ・オープンイノベーションを推進し、外部人材・企業との交流機会の創出を図る ・北陸新幹線越前たけふ駅の地理的ポテンシャルや本市の特徴を活かし、未来都市の創造を図る ・未来的な挑戦ができるまちとしての機運醸成を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オープンイノベーションプラットフォーム（企業連携の推進体制）の構築事業 20,500千円 ・デザイン経営スクールの開催 (シンポジウムの開催、セミナーの開催、実践型の商品・サービス開発プロジェクト) ・事業計画の共同策定 ・バランスの良い産業構造を目指すための研究調査		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①越前たけふ駅周辺エリア内への企業誘致数 (+5件) ②若年人口 (15～34歳) の減少率 (+3%) ③オープンイノベーション研究会 (仮称) の会員数 (+90件) ④実証実験等への支援件数 (+4件)	関連URL (事業内容) https://www.city.echizen.lg.jp/office/06/0/010/ppp_top.html (効果検証) https://www.city.echizen.lg.jp/office/03/0/011/echizensisougousenryaku.html (令和6年8月公表予定)	

事業概要【スポーツで稼げる県づくり推進事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	67,909千円 (16,862千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによる地域活性化を推進していく組織として、地域スポーツコミッションを設立し、コンセプトに「自然を生かしたアウトドアスポーツアクティビティを「山梨」で」を掲げ、最大の地域資源である恵まれた自然環境を生かしたアウトドアスポーツアクティビティを楽しむことのできる環境づくりを行うこととして、アウトドアスポーツアクティビティの開発・検証、県有資産を活用したイベントの開催、スポーツ関連データの収集・分析、人材の育成等の事業を実施していくこととしている。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによる地域活性化を推進していく組織として、地域スポーツコミッションの設立を目指し、有識者を集めた準備委員会を開催。（補助金）326千円 ○アウトドアスポーツアクティビティの開発・検証、県有資産を活用したイベントの開催、スポーツ関連データの収集・分析、人材の育成等の事業の実施。 ・やまなしサイクルツアーガイドの養成（補助金）1,795千円 ・県営南アルプス林道を活用したサイクルツアーの企画・開催（補助金）4,741千円 ・スポーツイベント等開催支援（補助金）10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツコミッション実施事業参加のための来県者数（当該年度目標値300人） ②スポーツコミッション実施事業参加者の県内消費額（当該年度目標値6000千円） ③エスコートライダー養成者数（当該年度目標値15人）	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

推進当初

194

事業概要【やまなしハイクオリティブランド事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	291,852千円 (96,267千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	強化を進めてきたワイン・地場産業等のやまなしブランドに新たに高付加価値と高品質化を追求することで、他地域との差別化を図る。また、新たな販路開拓やブランド確立後のプロモーション等を見直し、さらなる展開を図る。国内外における認知度の向上が、市場における高価格での販売を促進し、収益性を高めることで地域経済を活性化させ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○前身事業において地域間競争を勝ち抜くために差別化・浸透を図ってきた事業については、さらなるブランド確立のため販路拡大と高品質化・高付加価値化をめざしていく。 ・ワイン：県産ワインの販路拡大及び産地山梨ブランド力向上のためのPR。(補助金・委託料) 8,000千円 ・ワイン：さらなる高品質化に向けた取り組みの支援。(補助金) 450千円 ・日本酒：本県の「水ブランド戦略」と連携を図り、あわせて発信することで日本酒のプロモーションを強化していく。(補助金・委託料) 6,150千円 ・「名水の地」ブランド化推進事業費。(役務費・委託料) 9,916千円 ・ワイン・日本酒交流：業者間のネットワーク構築のための交流会や、販路拡大のための技術セミナー開催、産業技術センターの食品科学的な品質評価機能強化等の経費。(報償費・使賃料・講師旅費・需用費) 580千円 ・リアルタイムPCR等の発酵管理機器の整備(備品購入費) 18,422千円 ・ジュエリー：産地PRイベントの核であるやまなしジュエリーウィーク、ジュエリーショップの集客強化。(補助金) 2,000千円 ・織物：近年需要が低迷しているため生産額が低下し、海外販路の開拓や自社ブランド・直販等のBtoC比率の増加。(報償費・専門家旅費・需要費・補助金) 3,622千円 ・茶：生産力向上と開発支援を行うことで高付加価値化につなげる。(補助金・需用費・役務費・使賃料) 1,962千円 ・すもも：米国産にほんすももの輸入が解禁されたことにより脅威にさらされた県産すももを高品質に生産できる体制づくり。(補助金) 38,400千円 ○前身事業において体制整備や各フェーズに応じた取り組みを展開してきたが、ブランド確立後の販路開拓やプロモーション等を見直し、さらなる展開を図る。 ・県産特産林産物：種菌等を購入し、自主的に栽培に取り組む生産者を支援。(補助金・役務費・委託料) 823千円 ・県産魚：新たな販路を開拓するため、展示会等に出展し流通事業者等に効果的なプロモーションを実施。(需用費・委託料・補助金) 4,757千円 ・花き：産地力の向上や活性化を図るため、市場商談会への出展を支援する。(使賃料) 234千円 ・高品質化、省力化、効率化等、生産性の向上に資する技術等の現地実証に必要な種苗費や生産資材に対する補助。(補助金) 250千円 ・ジビエ：これまでジビエのPRや新たな販路の開拓等について検討し一定の成果が見られたため、次の段階としてジビエの供給力不足を改善するため体制強化に新たに取り組んでいく。併せて、新たな生活様式に適合し、SNS等を活用し広く消費者へ周知するために、飲食店等で行うジビエフェア等のリアルプロモーションとデジタルコンテンツを活用。(報償費・委員旅費・負担金) 270千円 ・アニマルウェルフェア：研修会を開催し、前事業にて創設した認証制度の理解醸成・普及を図る。(委託料) 431千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業を通じた甲州ワイン年間輸出数量 (+4.38万本) ②高品質なすももの生産量 (+300トン) ③きのこと類の年間生産量 (+22.50トン)		関連URL 山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

事業概要【市場ニーズに対応した戦略的海外事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	313,961千円 (112,053千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	消費行動や社会情勢など大きく変化していく中で農業・産業・観光等と一体的なプロモーションを継続的に行うことで新たな商流の構築と深化を図るとともに、世界的に関心が高い環境問題についても積極的に取り組むことでこれまでとは違った販路を獲得する。また、変化していく市場ニーズに対応していくために地域産業人材の育成や、グローバルな視点を養っていくことで安定的な海外展開を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○継続的なプロモーションについてはコンテンツの拡充やデジタルとリアルを連動させたPRを行う一方で、支援対象を増加する。また、前身事業から浮き彫りとなった課題や前身事業で実施した市場調査の結果を踏まえ、商流の構築に向け、海外バイヤーとの商談活動を実施。 ・県産果実等の農畜水産物の輸出拡大に向けて、現地小売店等での販売促進イベント（リアル）とSNS等でのインターネットによる情報発信（デジタル）を組み合わせた効果的なプロモーション、マーケティング調査、流通システムの構築などに、生産者団体や輸出関係事業者と連携して取り組む。（委託料・委員報償・委員旅費）37,643千円 ・「おいしい未来へ やまなし」のブランド力の強化と商品を通じたロゴマークの認知度向上に向け、コロナ禍により変化している生活様式に対応するため、食材の魅力だけではなく、美酒美食体験をあわせてプロモーションを強力に実施。 （委託費・委員報償・委員旅費・報償費・消耗品費）5,297千円 ・県内農業団体等により構成される「山梨県果実輸出促進協議会」が行う海外での販売促進活動を支援する。また、新たな輸出先国における市場開拓のための取り組みを支援する。（補助金）4,918千円 ・物流に係る知見を有する民間コンサルタントへの委託により、専門的な調査・分析をするとともに、それらの結果を基にした方策の検討や物流事業者への情報提供を行う。（委託料）21,659千円 ○4パーミル・イニシアチブのさらなる認知度の向上を目指すために、既存のPRに加えて新たに社会課題に関心の高い消費者（エシカル消費層）を対象としたPRを行う。 ・首都圏のシェフ、実需者に4パーミル・イニシアチブ農産物をはじめとした山梨県のエシカル農畜産物等の理解を促すための情報発信を行い、継続的な購買や取り扱いを促す。（報償費・委員旅費・委託料）12,066千円 ○DX人材強化のための環境整備や、デジタル技術導入促進、水素・燃料電池や医療機器、次世代半導体など本県に優位性のある産業分野の企業に対し、事業展開の支援を行う。 ・社会全体のDX加速化に必要な技術を扱う人材を育成する（委託料）7,817千円 ・企業等の施策支援や、グローバル・スタートアップとして活躍する人材を育成する（委託料）22,653千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産果実の輸出額（+138.70百万円） ②ビジネス展開促進事業を通じた商談件数（+210件）	関連 URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	281,379千円 (99,527千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	保育士人材の確保や保育の質の向上といった子育て環境の整備によって安心して子育て出来る環境をつくるとともに、文化芸術・スポーツ・教育等の多角的な方面から施策を進めていくことによって本県の魅力を高めていく。環境整備と魅力向上によって他県との差別化を図り、県内子育て世代のみならず、他県からの移住も呼び込むことで地方創生の実現と人口減少の克服を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○保育士確保・定着策等を実施する協議会を運営する。また、若い世代の県内保育所等への就職率を高めるためのツアーを実施するとともに、幅広い層の県民に対して子育ての理解と関心を深めることができるような普及啓発活動を行う。(報償費・委員講師旅費・需用費・役務費・使賃料) 1,729千円 ○適正な水準の保育提供と従事者同士の課題解決のため研修会開催経費。(報償費・講師旅費・需用費・使賃料) 81千円 ○通行量の多い場所への懸垂幕の掲示や県公用車へのマグネットシートの掲示などを通じて、社会全体で子育てを支援する気運の醸成を図る。(需用費・委託料) 418千円 ○国立大学法人山梨大学が実施する胚培養士の育成・研修に要する経費を補助することで、胚培養士の養成に取り組む。(補助金) 7,500千円 ○県独自に実施した買い物環境調査の結果について集計等を行い、市町村へのフィードバックや県ホームページへの掲載を実施。当該データの利活用を図りつつ市町村等の効果的な取り組みを推進する。(補助金) 10,000千円 ○小規模小・中学校のデメリット解消に向け、特色ある教育活動 (ICT・地域の強みを活用等) を通して県内全体の教育の質の向上を図り、移住促進の誘因とする。(補助金) 19,000千円 ○県の教育課題に対応した教育モデル事業での、ICT等を活用した機材等の備品購入経費に対する補助。(補助金) 8,000千円 ○民俗芸能やクリエイターの活動、文化芸術の推進による創作活動を支援。(委託料・報償費・旅費) 5,885千円 ○民俗芸能等を活用した文化観光振興経費 (補助金) 13,750千円 ○山梨の文化・伝統を記憶遺産として保存するための冊子の作成及びプロジェクト推進のための周知・広報活動及びマニュアルの作成経費。(委託料) 6,339千円 ○本県の子育て施策の周知・子育て世代に向けたオンラインセミナーなどの情報提供を行う。(委託料) 13,331千円 ○子育て世代への関心を引き起こすWEB・SNS・冊子を活用した情報発信、地域コミュニティへの受入に向け県内関係団体と連携調整を行うための職員経費、コミュニティ受入に係る先例事例の共有のためのセミナー開催費。(報酬・職員手当等・役務費・共済費・報償費・旅費・使賃料・委託料) 3,440千円 ○東京圏のテレワーク可能な個人事業主、企業の社員等で二拠点居住に関心があるが、地域が決まっていない方を対象に、本県が選ばれるよう記事コンテンツを作成し情報発信及び二拠点居住者の実態把握・分析を行うための経費。(委託料) 10,054千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県の移住相談窓口等を通じて移住決定した若年世代 (20～40代) の移住組数 (+64組) ②文化芸術活動を実践している県民の割合 (+8.3%) ③県内1医療機関あたりの胚培養士の平均人数 (+0.75人) ④県外出身者で県内保育士養成校に入学し、卒業後、県内保育所等へ就職した就職率 (+3%)		関連URL 山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

申請者	山梨県都留市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	109,726千円 (21,296千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・探究型学習塾を創設し「自ら学び自ら考える」力を育成し地域課題を解決する人材の育成を行う ・現役世代を対象として市民大学創設し地域での起業マインドの形成、現役世代のデジタル社会形成への寄与につなげる ・生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材育成を行う		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「自ら学び自ら考える」力を育む探究型学習プログラム提供のための探究型学習塾創設事業 ・法人等委託費 15,730千円 ○社会貢献のマインド醸成やキャリア形成支援を現役世代を対象に行う市民大学整備事業 ・講師旅費 75千円 ・講師謝礼 348千円 ・需用費 155千円 ○ARアプリや連動するゲームを活用した、生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材を育成する事業 ・デジタルプラットフォーム構築事業委託費4,988千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①都留文科大学卒業生の市内定着率 (+1.90%) ②この事業を通して創出した雇用数 (+24人) ③この事業を通じて創出したデジタル人材育成数 (+2,130人) ④この事業を通して創出した関係人口数 (+520人)		
		関連URL	https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku/manabinomirai/index.html https://tsurulabo.jp/ https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/shougaiigaku/shuu/shogaigakusyuu_t/sirius_college/index.html https://tsuru-roots.jp/ https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku/koufukin/13444.html



事業概要【韮崎産ワインプロモーション事業】

推進当初

申請者	山梨県韮崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,581千円 (14,566千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・市内にワイナリーが増えることにより、市産ぶどう及びワインの産地化やブランド化を図る ・地域農業の担い手の確保や耕作放棄地削減、新たな雇用の創出や人口減少対策、市特産品とのペアリングや市内飲食業等との連携によるマリアージュ等、様々な分野に対して相乗効果と好循環を生み出すことを目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○小規模ワイナリー開業予定者サポート事業 ・醸造技術、製造免許を取得するための研修（委託料）300千円 ○果樹新植苗購入費補助金 ・ワインの原料となるブドウの生産量増大に向け、ブドウの苗木購入に要する経費に対する補助（補助金）1,400千円 ○ワイナリー整備事業費補助金 ・ワイナリーの開業又は事業拡大における施設又は設備整備に対する補助（補助金）5,000千円 ○ワイン原料用ぶどう栽培棚等設置事業費補助金 ・醸造用ブドウの生産に必要な栽培棚を新設もしくは、事業拡大を目的に改修する者に対する補助（補助金）2,855千円 ○ワインフェス、ワインセミナー等開催経費（補助金）5,011千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小規模ワイナリー開業数（+3箇所） ②支援事業を通じた不耕作及びその恐れのある農地の減少面積（+240アール） ③市内における醸造家へと育成する者の発掘及び市外からの呼び込み（+9人） ④小規模ワイナリー開業予定者サポート事業利用者数（+6人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.nirasaki.lg.jp/sangyo_s_higoto_jigyosha/4/7862.html （効果検証） https://www.city.nirasaki.lg.jp/soshikiichiran/digitalsenryakuka/jinkotaisakutanto/1_3/5266.html

事業概要【山梨県の東の玄関口から発信する移住促進情報とサテライトオフィスや 活性化施設を活用した魅力発信・若者交流事業】

推進当初

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,590千円（6,080千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・東京圏に近いことを強みに、豊かな自然環境と利便性を求める人に魅力を訴求することで、移住の促進を図る ・移住者の求める仕事や若者が東京圏へ行かなくてもできる仕事の環境を整える ・山梨県の東の玄関口という特徴を活かし、県の特産品を軸に当市を訪れてもらい、認知度の向上を図る ・他の地域と差別化し、「若者が住みたくなるまち上野原」を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○YouTubeやSNSでの移住等の情報発信や市の魅力を伝える移住ハンドブックの作成 ・動画作成・情報発信（委託費）730千円 ・移住ハンドブックの作成（委託費）2,000千円 ・移住者等交流会開催（報償費）50千円 ○移住者等を講師とした学びの場・交流会の開催や起業を考えている移住者等を対象とした起業・創業セミナーの開催 ・学びの場・交流会の開催（委託費）1,200千円 ・起業・創業セミナー開催（委託費）600千円 ○市をPRするための県内の特産品を軸としたイベントの開催や出展 ・イベント開催・参加費用（補助金・委託費）1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+45人） ②空き家・空き店舗の登録件数（+60件） ③施設利用者数（研修会やイベント参加者）（+150人） ④YouTube再生回数（+300回）	関連URL	https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html

事業概要【山中湖村版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業】

推進当初

申請者	山梨県山中湖村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	297,439千円（115,225千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・閑散期に大規模イベントを開催し、経済波及効果を高めるとともに通年型観光を再構築する。 ・「ウェルネス」をテーマに新機軸の体験コンテンツを開発し誘客促進を図る。 ・域内の他産業と連携した体験プログラムの開発、訴求により地域全体の活性化を図る。 ・地域一体となって、観光や富士山目的にとどまらない滞在体験を開発することで観光振興を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○イベントを活用した集客事業 ・イベント運営、設営、撤去（補助金）96,816千円 ・SNS等による広告宣伝費用（役務費）6,000千円 ○ウェルネスをテーマにした旅行商品の造成 ・旅行商品開発、プロモーション（補助金）5,000千円 ○ウェルネスツーリズム受入基盤整備事業 ・村内事業者向け勉強会の開催（補助金）900千円 ○教育旅行団体受入促進事業 ・営業用パンフレット制作（印刷費）3,000千円 ・体験コンテンツPR動画作成（手数料）3,509千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた旅行消費額（+107.51億円） ②延べ宿泊者数（携帯電話基地局からの位置情報データ（モバイル空間統計）を活用した宿泊者数を設定）（+348,597人） ③「ウェルネス」着地型旅行体験コンテンツ造成数（+15件） ④山中湖村ファン数（LINE@、Instagram、FaceBook、地域CRM基盤格納顧客会員数）（+2,400人）	関連URL	https://www.vill.yamanakako.lg.jp

事業概要【分数村民と創る新たな源流資源の活用・保全システム及び源流地域複業プラットフォームの構築】

推進当初

申請者	山梨県小菅村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	121,255千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・村まるとマウンテンバイクトレイルの構築・運営による森林空間利用の拡大 ・ドローンを活用した村内配送システム及びスマートストア設置による生活利便性の向上及び関係人口の増大 ・村民、分数村民の集いの場構築による源流産業の担い手及び移住者の増加		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○森林空間利用による参加型アクティビティ創造 ・森林アクティビティの改善・運営 3,000千円 ・森林アクティビティに係る森林整備、運営チームの拡充・育成 3,000千円 ・新ルートの開通と運用（ガイドライン制作等） 1,500千円 ・事業実施状況・実施運営体の運営と改善 2,000千円 ・レンタルバイク購入費 1,000千円 ○ドローンを活用した集落配送システムの構築 ・スマートストアの運営・改善 3,000千円 ・観光施設ドローン配送の運営・改善 2,000千円 ・医薬品配送・フードデリバリーの運営・改善 2,000千円 ○村内における分数村民の「つどい場」及び「源流地域づくり事業協同組合」の構築 ・村内事業に関わる新たな人材ネットワークの拡充 2,000千円 ・つどい場構築に係る村民総参加による企画ワークショップの開催 3,500千円 ・村内コンテンツPR動画の制作および関連イベントの実施 2,500千円 ・つどい場構築に係る詳細設計施工費 4,500千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①源流資源の維持・保全に係る事業の参加人数 (+1,100人) ②MTBトレイル等源流心を体験した人の数 (+5,000人) ③ドローンの配送回数 (+2,800回) ④源流産業に関連した仕事をする人の数 (延人数) (+25人)		
	関連URL	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/living/soumu/	

事業概要【都内駅等での官民協働催事による情報発信とデジタル顧客管理】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,072千円 (14,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	東京都を最大のターゲットとして、小さな村の試みに賛同し、交流・関係人口に繋がる潜在的な人たちへめがけ、環境変化に強い情報発信策と関係人口の仕組みを構築する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○官民協働催事とデジタル顧客管理のための事業費等 (委託料) 4,000千円 ○大田区産官学との教育・観光・産業連携のための事業 (委託料) 1,000千円 ○催事事業に係る経費 (委託料) 9,024千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①JR駅等での特産品販売における購買客数 (+3.6万人) ②JR駅等での特産品販売額 (+1,800万円) ③デジタル顧客管理による個人への特産品通信販売額 (+330万円) ④デジタル顧客管理による小売業者への特産品販売額 (+330万円)	関連URL	(交付金の具体的使途・効果検証) https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html

事業概要【官民連携による沖縄県との交流促進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	45,075千円 (21,764千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	長野県と沖縄県は、双方国内屈指の自然豊かな観光県であり、かつ、「長野の山」と「沖縄の海」に代表されるように好対照な魅力を持ち合うため、相互補完できる関係にある。両県の交流連携を進めることにより、 ○広域観光を展開することにより、外国人観光客を中心に、相互送客により、本県への観光客増を図る。 ○沖縄国際物流ハブを活用した海外販路が開拓され、長野県産品の国内外への流通量増を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○チャーター便を活用した旅行商品造成支援事業 旅行会社への支援 (負担金) 15,488千円 ○沖縄県との観光交流促進事業 観光商談会・教育旅行説明会開催 (負担金) 949千円 ○沖縄県との交流促進事業 トップセールス実施 (旅費、使用料) 1,800千円 交流連携PRチラシ作成 (委託費) 149千円 ○信州ブランド推進重点品目等販路拡大事業 物産展開催 (委託費等) 3,378千円		 沖縄県と交流連携協定を締結 (R5.3) (左: 阿部長野県知事、右: 玉城沖縄県知事)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①沖縄県から長野県への宿泊者数 (+3,072人) ②長野ー沖縄県を結ぶチャーター便運航便数 (+32便) ③長野県産品取引を開始した沖縄県内輸出商社数 (+8社) ④各種交流事業による長野・沖縄両県の訪問者数 (+100人)		関連 URL https://www.pref.nagano.lg.jp/ki-kaku/kensei/shisaku/okinawa/okinawa.html

事業概要【関係人口の次のステージとなる”共創人口”構築事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,696千円（16,157千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・都市部や県内別地域の人材が、関係人口として、空き家DIY等のイベントに参加し、地域住民と共に継続的に何かを創り、コミュニケーションを通じて強いつながり関係を構築することで、二地域居住や移住の適地として選ばれる地域となることを目的とする。 ・テレワークの普及等により、地方への移住や二地域居住を志向する都市住民が増える中、地方最高の魅力である自然や田園風景、食の豊かさを実感できる「農（農ある暮らし）」を通じて、関係人口化を図る。 ・持続可能な地域づくりの取組を促進・支援するため、中間支援人材の養成を行い、中間支援人材同士、その他地域づくり人材が有機的に機能し、地域づくりを下支えする体制の県内各地への展開を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○空き家DIYを通じて、参加者が地域住民と共に継続的に何かを創り、交流することで強い関係性を構築する「共創人口構築イベント」の開催 ・研修講座、DIYイベント、フォーラム開催経費（委託料）4,464千円 ○遊休荒廃農地等を市民農園に整備した「農ある暮らし農園」で販売可能な農作物作りに向けた講習会の開催や農園のPR、体験農園の企画・運営 ・講習会開催、体験農園実施経費（人件費等）5,971千円 ○各地域で栽培講習会や勉強会等の講師を務める「農ある暮らし地域サポーター」の県内地域への派遣、サポーター向けの研修会の開催 ・サポーター登録管理、研修会開催経費（人件費等）2,222千円 ○中間支援人材養成講座の開催 ・養成講座、交流会開催経費（委託料）3,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+574人） ②荒廃農地の解消面積（+600ha） ③本交付金事業で実施するイベント・研修会等への参加者数（+1,650人） ④空き家DIYを通じた空き家の解消数（+14軒）		



関連 URL

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html>

事業概要【ICT産業集積等推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,502千円 (40,044千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・産業の担い手のための人口確保、ICT産業の担い手となるIT人材の確保、スマートシティの担い手となる企業の確保を目的とする ・これら担い手が確保されることで、生産年齢人口の減少に対応し、スマートシティの実現やICT産業の集積により、市内経済が活性化されることを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 移住関連を中心とした東京圏への情報発信 (委託料7,000千円) 2 IT企業の人材確保と新たな雇用創出につながるIT専門人材の育成等 (委託料15,815千円) 3 IT関連企業等の誘致活動 (委託料、使用料、役務費、負担金17,229千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①IT人材育成者の就職者数 (+50人) ②IT関連企業等誘致件数 (+24者) ③社会増減の改善数 (+300人)		(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

事業概要【ヒューマン×デジタル×グリーンによる持続可能なまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	長野県上田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	318,640千円 (104,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	ヒューマン（地方への人の流れの創出）・デジタル（地方創生に資するDXの推進）・グリーン（脱炭素社会の実現）の3つの視点に対応する具体的な取組を組み合わせ、相互連携のもと、段階に展開していくことで、人口の減少抑制を目標とする当市総合戦略の達成を目指すとともに、訪れたい・住み続けたいと思えるような、魅力にあふれ、また持続可能なまちづくりとして全世界共通の目標であるSDGsの各目標達成にも資する将来像を描く。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ヒューマン事業】 ○移住支援サイト運営事業 相談業務等 委託料6,200千円 ○移住希望者就職支援事業 相談業務等 委託料5,500千円 ○若者自立定住促進事業 相談業務等 委託料27,000千円 【デジタル事業】 ○スタートアップ・サテライトオフィス開設 地域課題解決の意思のある市内事業者 補助金10,000千円 ○ワーケーション推進事業 コンシェルジュ委託等 委託料など10,500千円 【グリーン事業】 ○地方創生実践プラットフォーム基盤強化事業 民間企業の先進取組をコーディネーターが支援 委託料15,000千円 ○生産性向上投資促進事業 高効率設備投資への補助 補助金30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①行政支援による移住者数 (+150人) ②ワーケーションプログラム利用人数(+300人) ③事業実施による若者の正規雇用人数(+30人) ④デジタルコミュニティ通貨ユーザー数(+1,500人)	 Human Digital Green	関連URL 上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

申請者	長野県須坂市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	237,730千円（76,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・子育てを行いながら、働く意欲のある人が、その知識や能力を生かし、多様な働き方にチャレンジでき、子どもたちを見守りながら就労にチャレンジのできる環境整備に加え、きめ細やかな子育て支援や育児に取り組む世代への支援体制をより充実・強化させ、豊かな気持ちで子育て・就労の両立が叶う、「子育ての心配がなく、安心して働けるまち」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○子育て・就労支援総合拠点運営事業（委託料）45,000千円 ○就業希望者のためのスキルアップ事業（委託料）5,000千円 ○働き方改革啓発促進事業（委託料）5,000千円 ○子育て世代による創業等スタートアップチャレンジ事業（委託料）5,000千円 ○子育て・就労を応援する地域の魅力アップ情報配信事業（委託料）1,500千円 ○いきいき！職場改善支援金助成事業 ・子育て世代が働きやすいと思える職場環境づくりに関する取組み（ハード経費）に対する支援（補助金）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①拠点に関連した子育て世代の就業のべ人数（+90人） ②子育て・就労総合支援拠点のべ利用者数（+13,500人） ③拠点における外部からの業務受託件数（+15件） ④子育てしやすい環境づくりに具体的に取り組んだ企業の件数（補助金交付を受けた企業の件数）（+25件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.suzaka.nagano.jp/material/files/group/3/kofukin_kosodateouen_jigyogaiyo.pdf （効果検証） https://www.city.suzaka.nagano.jp/material/files/group/3/kofukin_kosodateouen_shinchoku_20240331.pdf

事業概要【農と林の地域資源を活用するイノベーション促進事業】

推進当初

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	257,000千円 (77,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農林の地域資源を活用した新商品開発を行い地域資源の活用促進を図る。 ・新規開設した施設を使いイベント等を開催することで人材育成を図る。 ・産学官連携拠点施設の関係企業等との連携により農林業に関わるイノベーションを起こし、農林業に関わる仕事が事業として成り立つようにする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農林に関わる起業支援事業 ・アイデアソン実証事業支援（委託料）6,000千円 ○持続可能な農林業推進事業 ・持続可能な農林業推進（委託料）7,000千円 ・林業の持続可能性調査（委託料）8,000千円 ・小規模熱供給システム開発（委託料）17,000千円 ○地域資源活用実証事業 ・地域資源活用実証（交付金）15,000千円 ・地域資源観光活用（交付金）24,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新商品開発件数（+25件） ②イベント等参加者数（+600人） ③商品の売上高（+12,100千円） ④施設利用機関数（+10社）		関連URL https://inadani-sees.jp

事業概要【人の流れづくりと全世代・全員活躍を通じた「まちなか」活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県駒ヶ根市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,000千円 (9,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少や少子高齢化の進展により空洞化と来訪者減少が進む中心市街地（まちなか）で、多様な人が集う賑わいをつくるために、地域資源を活かした、全世代・全員活躍の機会創出による「人の流れづくり」に取り組み、これを通じて生涯活躍のまちの実現を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	中心市街地（まちなか）に多様な人が集まる目的を創り出すために、まちなかの地域共生拠点施設を活用する。 【A】地域資源を活用したプログラム（SDGs、国際理解教育、チームビルディング）により、教育旅行やワーケーション受入：4,300千円 【B】地域資源を活用したユニークな取り組みを切り口にした「学びと交流の場」づくり：900千円 【C】人手不足で対応できていない地域内外の仕事/作業を集め、気軽に取り組めるレベルに細分化及び高齢者への提供：2,500千円 【D】商店活性化カード（つれてってカード）のデジタル化により、プリペイドカードとポイント連携させることで、まちなかへの来訪者増加とまちなか消費増加の相乗効果を狙う：2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育旅行受入人数（+1,540人） ②学びと交流プログラム参加者数（+300人） ③新たな活躍の場に関わる高齢者数（+20人） ④中心市街地の歩行者交通量（+170人）	関連URL	https://bit.ly/420PRaX



地域交流
拠点

地域交流拠点を核に様々な機能を街なかに展開



申請者	長野県中野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,607千円 (13,607千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・新たな「価値」を農産物に付加し、インターネットを活用した販売により生産者の販路開拓を支援する。 ・農産物定期便や農業体験ツアー、若年層向けのPR動画による発信、本市農産物等のPRイベントの開催などにより、農業の魅力発信と本市の認知度向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	課題 農家の収益 市の認知度 農家数減少と高齢化 新たな「価値」の創造と 他産地との差別化 ターゲット層を 絞ったPR等 農業の魅力発信 「農家」「農産物」「中野市」のファン獲得 信州なかの FAN PROJECT		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①農業所得額 (+10億5,000万円) ②プラットフォームを活用した生産者売上額 (+175万円) ③プラットフォーム利用者数 (消費者) (+70人) ④新たな資源を活用した観光ツアー利用者数 (+150人)	関連URL	https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2023122700038/

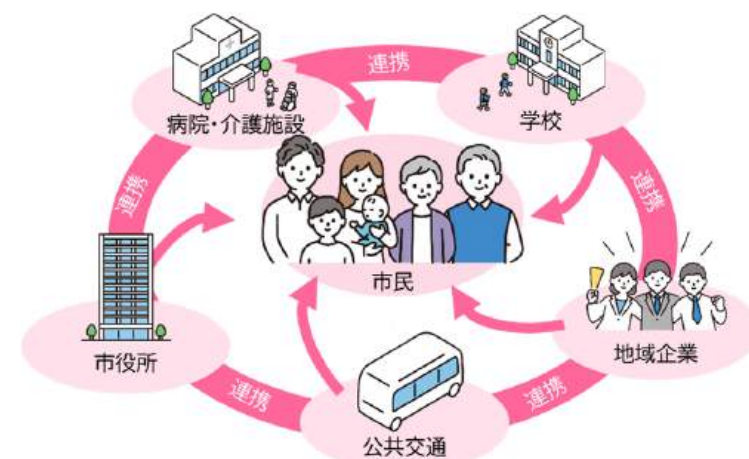
事業概要【立川市を起点とし多摩地区及び首都圏からの交流人口・

推進当初

関係人口の拡大及び地域資源への関わりを通じた関係人口創出事業】

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,600千円(4,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・首都圏でも茅野市とアクセスの良い多摩地域との連携による地域の活性化 ・IT関連企業の誘致や、首都圏のIT企業につとめながら茅野市に暮らしつづけるライフスタイルの創出 ・地域資源の活用に地域外市民の視点を生かした「コト」づくり事業の創出 ・新たな関係人口を通じた労働人口の流入による高齢化・生産年齢人口減少の抑制		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業を通じて前年度までに構築した茅野市と多摩地域との連携、新たに造成した茅野市独自のワーケーションプログラムを活かして、都市部等でプロモーション活動を行い新たな関係人口の獲得を目指していく。 また、本事業を通じて茅野市との関わりが生まれた新たな関係人口が定着していくための支援を行う。 ・都市部企業等を対象としたワーケーションプログラムによるプロモーション事業 2,500千円 ・大学生等を対象とした地域活動の支援に関する事業 800千円 ・本事業全体を通じて創出した関係人口者の事業定着化に向けた伴走支援 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①IT関連企業の首都圏等からのサテライトオフィスの設置および起業数(+6社) ②立川市を始めとする都市部のIT企業等と行うイベント等への参加者数(+110人) ③地域資源への「関わりしろ」について発信した情報の到達数(+5,950件) ④地域資源に関する「コトづくり」事業等への参加者数(+100人)		関連URL https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzais/ei/1209.html

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,366千円 (60,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	当市が総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現のため、データやデジタル等の先端技術を活用し、市民が便利で暮らしやすさを実感できる新たなサービスの展開と、新たな技術が地域内に持ち込まれることにより付加価値の高い新たな産業や雇用を創出すること、またこれらの情報を効率的かつ広域的に発信することで、地域における若者の移住・定住の促進と、人口減少・少子高齢化による地域の担い手不足の解消を図り、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすいまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業においては、地域DXを推進することで総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現を目指す。そのため、「データ連携基盤」を活用した、デジタルサービスを提供及び情報発信、また構築する職員や利用する市民等の情報リテラシー向上などの施策を並行して行い、便利で暮らしやすい街づくりに寄与する。 ○構築した都市OS等の機能拡張事業 9,000千円 ○デジタルサービス実装事業 12,000千円 ○デジタル人材育成、情報リテラシー向上 1,500千円 ○DX専門人材による支援 38,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①都市OS利用者（ID登録者）数（+14,130人） ②都市OSを活用したサービスの実証件数（+19件） ③デジタル人材研修受講者数（+590人）	関連URL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html



事業概要【地域におけるデジタル人材活躍×DX推進事業】

推進当初

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	263,600千円 (59,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域課題の解決に資する研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みの構築を図る ・地域DX領域の新たな社会機能の創出を図る ・デジタル分野への新たな就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費	○課題解決に必要な先進的なテクノロジーやソリューションを有する企業の参画促進 ・セミナー及びショーケースイベント開催費 3,000千円 ・アセット集積活動費 3,600千円 ○地域課題を解決する事業開発プロセス推進のコーディネート及びサポートの実施 ・地域DXコーディネーター 12,000千円 ・DXサポートスタッフ 9,600千円 ・プロジェクト推進・総括支援 20,000千円 ○地域DXで必要となるデジタル人材の育成・確保 ・デジタル人材コーディネーター兼DXサポートスタッフ 4,800千円 ○プロモーション、各種諸経費 ・事業活動諸経費 6,000千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①・・・交通DX分野で社会実装したサービス数 (+4件) ②・・・事業開発プロセスに参画した企業数 (+30者) ③・・・交通DX分野での実証実験数 (+25件) ④・・・自営型テレワーク事業からキャリアアップし事業開発プロセスにおいて就労した地域デジタル人材数 (+225人)		

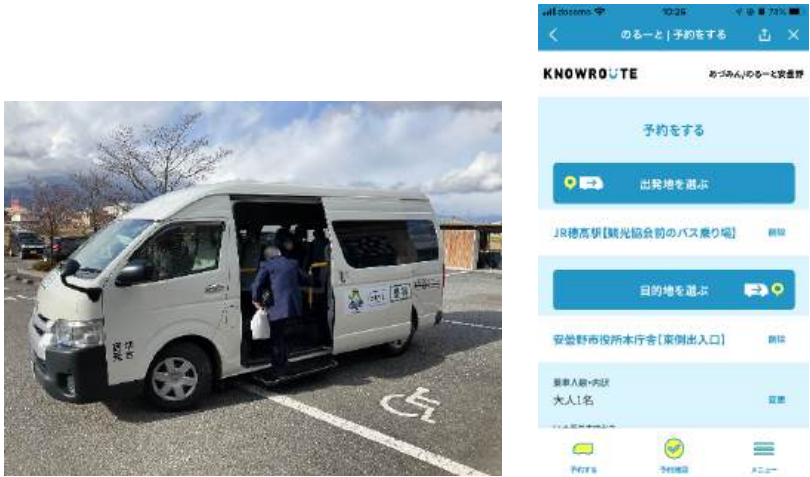


関連URL

<https://www.city.shiojiri.lg.jp//sos-hiki/7/37656.html>

事業概要【新たな地域公共交通サービスの構築と地域の持続的発展推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	125,895千円 (51,764千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・ 地域公共交通の充実を図る ・ 観光客等来訪者の受入体制を整備する ・ 安心して移動できるコンパクトなまちづくりを推進する ・ 農業・観光・文化を生かした地域ブランドの創出と関係人口拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○AI活用型デマンド交通運行に係るシステム使用料・保守管理 (26,464千円) ・ 予約管理システム運用費 ・ 利用予約ツールの充実 (LINE連携) ○来訪者の受入体制準備 (10,300千円) ・ 来訪者向け案内パンフレット作成 ・ 地域MaaSの構築 ○コンパクトなまちづくり (15,000千円) ・ 移動サービス及び関連施設の決済一元化		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デマンド交通利用者数 (+1,320人) ②農業体験者数 (+1,100人) ③シェアサイクル利用台数 (+300台) ④イベント等開催回数 (+20回)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.azumino.nagano.jp/site/kokyokotsu/2597.html (効果検証) http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757

申請者	長野県青木村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,000千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	○関係する法人、市町村から新たな関係人口を創出し、関係性をいかした事業を展開する ・東急グループ関係者を呼び込む取り組みと、関係性を進化させる取り組み ・地域資源（農産物、工業製品など）を活かした関係人口創出、産業振興の取り組み ・新たな地域資源の掘り起こし		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○五島慶太未来創造館を活かした取り組み ・東急グループへの来訪を促すプロモーション（2,500千円） ・五島慶太ゆかりの地を巡る周遊コースの整備（5,000千円） ○農産物を活かした取り組み（1,500千円） ・新たな加工品の開発、PR ・来訪せず販売ができるシステムの構築  五島慶太未来創造館		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①商品開発参加企業（+5社） ②五島慶太未来創造館でのワークショップ実施回数（+25回） ③製造出荷額（+10億円）	関連URL	https://www.aoki.nagano.jp

事業概要【みのわの「知」と「しごと」の拠点拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県箕輪町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,200千円 (10,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地方創生テレワーク交付金にて整備された東箕輪サテライトオフィスの継続的利用を促すとともに、更なる魅力の構築と利活用者の増加を図り、地方への新しい人の流れを創出 ・東箕輪サテライトオフィスを核としたデジタル人材の育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東箕輪サテライトオフィス利活用促進事業 3,700千円 利用促進イベント等実施（委託費）、P R印刷物等の制作（委託費） ○東箕輪サテライトオフィス進出企業と地元企業の共同開発事業 ・農業従事者の現状調査（委託料） 1,000千円 ・農作業機械等の遠隔操作システム開発、スマート農業のデモンストレーション（委託料） 2,000千円 ○デジタル人材の育成事業 ・デジタル機器セミナー開催（委託費） 1,000千円 ・ICTフォローアップ講座（委託費） 1,000千円 ・VR・プログラミング体験講座（委託費） 1,000千円 ・クラウドソーシングセミナー（委託費） 1,000千円  夏休みドローンプログラミング教室  デジタル機器セミナー（サテライトオフィス）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サテライトオフィス施設利用者数（+1,800人） ②サテライトオフィス県外利用者割合（+20%） ③サテライトオフィス進出企業と地元企業とのマッチング数（+3組） ④移住者数（+144人）	関連URL	https://www.town.minowa.lg.jp/kikaku/keiei0009_mirai.html

事業概要【宮田村Uターン・関係人口拡大若者人材確保プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県宮田村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,359千円 (13,434千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	ふるさと郷育の推進 若者ならではのアイデアをまちづくりや、情報発信事業に生かす。 地域の魅力の発信により関係人口や若者の移住者数の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者活躍ふるさと郷育事業 参加する若者やアドバイザーなどの報償費等 778千円 ふるさと教育をコーディネータ専門員の報酬 2,150千円 電子会議システム使用料 1,384千円 ○地域の課題解決及びPR・情報発信事業 地域活動費補助 3,000千円 AIチャットボット使用料等 522千円 PR活動等イベント出展料金 3,500 千円 P R 活動に使用するイベントの消耗品など 600千円 各種イベント等広告費 1500千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①30代以下の移住者数・・・(+30名) ②若者による新規事業立ち上げ件数 (+7件) ③新規起業件数 (+4件)	関連URL	https://www.vill.miyada.nagano.jp/government-pages/c-archive-plan

申請者	長野県木曽町、王滝村	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	115,000千円 (35,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	DMOの収益性を高め雇用の継続と安定化を図るとともに、日本遺産ストーリーをDMO等が主導してプロモーションを実施し地域人材活用や産業振興を関連付けながら多角的に事業推進することにより滞在型観光地づくりを達成させ地方創生につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	観光客の大部分（約8割）を占める中高年層に最も支持率が高い日本遺産ストーリーを用いてDMO自らが滞在型ツアーを造成、販売することで滞在時間、宿泊率を上げ観光消費額増加を図る。 ・日本遺産構成文化財横断的コーディネートによる観光商品造成及び情報発信 3,500千円 ・木工・林業文化を活用した観光コンテンツ構築 4,000千円 ・木曽文化伝承師育成・活用 8,500千円 ・DMO単独型ランドオペレーター運用 9,000千円 ・木曽版リゾートテレワーク推進 3,000千円 ・ビジターセンターを活用した「御嶽山と共に生きる人と暮らし文化」発信3,500千円 ・DMO（木曽町、王滝村）の一元化した観光情報PR等発信事業 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域連携DMO事業収益額(+39,334千円) ②DMO造成プログラム参加者数(+1,880人) ③外国人宿泊者数(+7,400人) ④宿泊率(+5%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) 令和6年8月公表予定 https://www.town-kiso.com/chousei/chousei/100367/102026/

事業概要【木工木育推進を核とした未来につながる持続可能なまちづくり計画】

推進当初

申請者	長野県木曽町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	233,584千円 (50,723千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	木工木育を推進するおもちゃ美術館の創設による木製品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業を一体的なプロジェクトとして実施することで、木材産業の振興を起点とした雇用機会の創出、観光の振興、多世代交流による子育て支援の充実を図り、人口減少に歯止めをかけ、未来につながる持続可能なまちづくりを進める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業の概要】 ①担い手確保のため生産現場に関する理解を深める農林業体験・伝統食体験・木工体験等の各種体験事業を実施。 ・農林業体験・伝統食体験・木工体験等の各種体験の充実 1,000千円 ②SNSや動画を利用したプロモーションを通じて認知拡大、新規ターゲット層の開拓。 ・Webサイト等の改修・充実 3,200千円 ・SNSの活用による情報発信 900千円 ③子育て支援に関する講座を企画・実施。 ・出張おもちゃ美術館等のイベントの開催経費 4,750千円 ・おもちゃ美術館運営費 37,873千円 ④最新グッドトイへの入替・地域産木材を活用した什器等の製作設置 ・展示品・おもちゃ入替・館内什器の製作設置 (備品購入費) 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①林業木材産業の新規雇用者数 (+29人) ②農林業の販路拡大における新規顧客契約件数 (+45件) ③体験周遊型ツアーへの参加者数 (+160人) ④施設入場者数 (+40,000人/年)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) 令和6年8月公表予定 https://www.town-kiso.com/chousei/chousei/100367/102026/

事業概要【信濃町DXイノベーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,903千円 (13,073千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・事業者DXにより、起業創業などに基づき地方における雇用の創出を目指す ・住民DXにより、誰もがデジタル化された社会でその恩恵を享受できるようデジタル・ディバイドが解消された「デジタル対応社会」を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 地域事業者DX推進事業 ○コンサル・プラットフォーム構築業務費（委託料）4,820千円 2. 地域人材派遣組織構築事業 ○DX相談窓口開設、求人開拓業務費（委託料）1,680千円 3. DXによる地域活性化事業 ○セミナー・イベント開催業務費（委託料）4,420千円 4. 新たな雇用創出事業 ○マッチング支援業務費（委託料）2,153千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①先進的技術等を活用した新規事業件数（+1件） ②業務改善件数（+13件） ③ICT人材と事業者とのマッチング数（4件）	関連URL	（交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証） https://www.town.shinano.lg.jp/docs/degidenjigyou.html

事業概要【ぎふリニア活用人の流れ創出プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	272,787千円(135,392千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・岐阜県として、県が率先垂範するだけでなく、市町村がリニア開業を契機にした自らの魅力を発信する提案事業への支援を通じて、未だ魅力が発揮されていない地域資源を積極的に掘り起こしていくことにより、関係人口の増加などリニア岐阜県駅周辺から県内市町村へと人の流れを創出する好循環を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本県におけるリニア中央新幹線コア部分の魅力向上 ・県活用戦略アクションプラン推進に向けた事業の実施、進捗検証(委託費等・19,192千円) ○周遊観光を可能とする観光地づくり ・リニアを見据えた基礎調査に基づく情報発信、周遊企画等の実施(負担金・委託費・県18,700千円、多治見市1,600千円、中津川市1,600千円、瑞浪市1,600千円、恵那市1,600千円、土岐市1,600千円、可児市1,600千円、御嵩町800千円) ○持続可能な観光地づくりとサステイナブル・ツーリズムの推進(補助金・38,000千円) ・「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」認定地域が行う受入環境改善や魅力発信等の取組を支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住定住相談数(+1,600件) ②観光入込客数(実人数)(+1,399万人) ③県や市町村が実施する人の流れ創出に資する事業数(+42事業)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

※岐阜県、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市、可児市、御嵩町の広域連携事業

事業概要【新次元の地方分散による地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	606,355千円(221,697千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	・地域づくりの担い手として、地域と関わりたいという想いを持つ「関係人口」の創出と、外国人県民が地域の担い手として活躍できる多文化共生社会を実現し、人口減少社会においても、「地域コミュニティの維持・強化」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住・定住相談対応 ・地方移住に関心のある三大都市圏の若者世代を主なターゲットとするため、東京・大阪・名古屋に移住交流拠点を設置し、市町村等と連携した相談対応の実施、関心の高い継業や支援制度、相談内容データベースの分析結果から移住検討者が求める情報を発信(33,412千円) ○外国人県民と地域との交流促進事業 ・地域及び関係団体等と外国人県民との更なる交流促進、関係団体等との繋がり深化を目的とした交流イベントを開催 ・構築された留学生と県内企業、関係団体等とのネットワークにより掘り起こされた、地域の課題解決に繋がるような交流会を開催(補助金)(1,584千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数(+4,600人) ②関係人口を活用した地域課題解決に資する事業を実施した市町村数(+9市町村) ③都市住民が運営側に関わる市内催事の数(郡上市)(+5件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要【岐阜県版「みどりの食料システム」構築プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	728,069千円 (193,003千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・今後の世界ルール（環境面）にも対応した国内外に対する競争力のある農産物づくりにつながる。 ・本県への移住を含め、新たな農業分野における雇用の増大にもつながる。 ・魅力ある県産農産物は、県民をはじめとした消費者の豊かな食生活の実現につながるなど、「岐阜県版みどりの食料システム」から、岐阜の地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○有機農業の安定生産に向けた体制整備、営農モデルづくり ・有機農業の生産・消費拡大に向けたセミナーと先進的な有機農業者と連携した技術実証（728千円） ○多様な人材育成 ・生産性向上につながる障がい者の農業分野の活躍促進に向け、農福連携の魅力発信と商品の販路拡大の取組に対して支援（補助金）（19,475千円、補助率：10/10以内） ・「ぎふ清流GAP評価制度」の推進PR事業（ぎふ清流GAPパートナーによる新たな流通体制の構築等）（補助金等）（5,801千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①持続的な農地利用を担う経営体数（+740経営体） ②本事業を通じた農福連携マッチング件数（+100件） ③本事業を通じた規格外農産物等を活用した6次産業化商品の開発数（+25商品） ④ぎふ清流GAP消費者認知度（+34%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要【「清流の国ぎふ」の未来を支える森林づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	457,136千円(112,762千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・産業・防災・環境のバランスを重視した森林づくりを実現する。 ・木材の需要を拡大し、生産された木材が余すことなく活用され、利益がすべての関係者に還元される林業・木材産業を実現する。 ・森林や自然環境が有する資源を最大限活用し、山村地域に新たな産業と雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○林業事業体のICT導入経費の支援やICT・IoTを活用するための各種講習会等の開催 ・高性能林業機械の貸出と技術指導(委託料)9,562千円 ○特用林産物の販路拡大支援 ・特用林産物の国内外販路拡大PR費用(補助金)3,500千円 ○木材プラットフォームの整備及びサプライチェーン構築に向けた取り組み支援 ・木材プラットフォームの整備費用(補助金)1,400千円 ・サプライチェーンの規模拡大による体制強化費用(補助金)700千円 ○新たなターゲットに向けた展示・商談会の開催 ・国内での県産材製品の販路拡大費用(補助金)15,101千円 ・県産材の輸出にかかる商談会等の開催費用(補助金)8,243千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①木材生産性(+2.2m ³ /人・日) ②ICTを導入・活用する林業事業体数(+64者) ③林業労働災害の発生件数(▲6.3件/10万m ³)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	795,328千円 (191,564千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・中小製造業のデジタル化による生産性や企業変革力の向上等により若者に魅力のある企業を創出し、さらに学生への企業情報の積極的な発信を行うことで、県内中小製造業の人材確保を支援し、県民総生産の中核を担う製造業の持続的発展を実現していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地場産業における熟練技術をデータ化し、技術承継するための研究及び実用化支援等を実施 ○伝統技術の見える化・自動化により多品種少量生産を実現するための新技術の研究及び実用化支援等を実施 ○シミュレーション技術、AIを活用したイノベーション創出・基盤技術強化のための研究及び技術移転等を実施 ＜支出科目＞ 消耗品費：15,868千円、役務費：5,917千円、委託料：3,754千円 ○教授・学生を対象とした県内企業魅力体験PR事業を実施 6,792千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内製造業（4人以上300人未満）における一人当たり付加価値額（+875千円/人） ②技術移転件数（+37件） ③県出身大学生（新卒者）の県内企業への就職率（+23.8%） ④県内大学新卒者の県内企業への就職率（+14.5%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要【文化芸術を核とした交流拡大・社会参加促進プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	274,845千円 (108,236千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・祭りなどの地域の伝統行事や伝統芸能を一堂に集め、各種団体が魅力を発信する文化総合イベント「清流の国ぎふ 祭・芸能の祭典」を開催し、年間1万5千人以上の新たな人の流れを創出する。 ・多様な魅力発信の創出、地域の伝統文化活動への意識醸成を育み、気軽にだれでも文化芸術に触れる機会を提供していくことで本県の文化芸術に関係する人を呼び込んでいく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○清流文化プラザを舞台として、順次、演目を披露する「地芝居・伝統芸能フェスティバル」を開催し国民文化祭における発表の場を創出することで、新たな担い手の育成を支援する。 ・地歌舞伎公演の実施 77,045千円 ○障がい者や団体等を対象とした、舞台芸術の発表の場として開催する「障がい者舞台芸術フェスティバル」を支援。 (補助金) 5,500千円<補助対象：(公財) 岐阜県教育文化財団、補助率：10/10>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①清流の国ぎふ 祭・芸能への参加者数 (+30,000人) ②地歌舞伎、文楽・能伝承教室の参加者数 (+5,400人) ③ぎふ清流文化プラザ入館者数 (+30,000人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要【「誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ」健康増進プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	324,416千円 (116,747千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・子どもから高齢者まであらゆる世代が、それぞれの関心、適性等に応じて、多様なスタイルでスポーツを楽しみ、スポーツを通じて生涯にわたり健康と生きがいを得られる、本県の地域資源を活かしたスポーツによるまちづくりの実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県民参加を広げるスポーツ環境づくり事業費（5,000千円） ・ウォーキングアプリを活用したスポーツポイントの維持・普及 ・県内スポーツ情報を集約した岐阜県スポーツ情報WEBサイトのコンテンツ充実化 ・オンラインウォーキングイベントの開催 ○清流の国ぎふ健康づくりコンテスト事業費（6,111千円） ・健康づくりに取り組む団体等の支援のため、顕彰及び式典や取り組み紹介を実施 ○清流の国ぎふデータヘルス推進事業費（381千円） - 健康・医療・介護分野のデータの分析手法の検討及び利活用人材の育成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①成人の週1回以上のスポーツ実施率（+11.3%） ②「スポーツ振興まちづくり補助金」の交付を受けて開催される県内スポーツイベントの年間県民参加者数（+15,000人） ③健康・医療・介護データを活用した健康施策に取り組む市町村数（+21市町村）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

申請者	岐阜県岐阜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,490千円 (19,830千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・『本物志向』の地域資源を活かした取り組みや事業者の活動を支援する取り組みにより、まちの魅力をより一層高めるとともに経済の活性化を図っていく。 ・まちの魅力などをデジタル技術を活用し、より広くシティプロモーションを実施することで、移住・定住を促進し、交流人口の拡大につなげていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○経済産業省の「伝統的工芸品」に認定されている岐阜和傘・岐阜提灯を活用した灯りイベントを実施 ・GIFUナイトビュー事業（負担金）12,000千円 ○楽市楽座ゆかりの地周辺地域の歩道上で、マーケットやワークショップ等を開催し、賑わいを創出する ・信長楽市（補助金）1,050千円 ○「エエトコタント岐阜市」HPなどをリンク先として本市の魅力を訴求し、本市の認知度向上や交流人口の増加を図る ・インターネット広告掲載（広告料）650千円 ・Instagram広告掲載（広告料）1,070千円 他		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20・30代の社会動態（+30人） ②主要施設観光客数（+1,500人） ③中心市街地のにぎわいが高まっていると思う人の割合（+0.9%）	GIFUナイトビュー（灯り物語）  「エエトコタント岐阜市」HP  	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1026401.html （効果検証） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1016894.html

申請者	岐阜県岐阜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	235,678千円（82,618千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・多様な働き方を支援する「雇用」に関する事業と、働く場を創出する「成長」に関する事業を実施することで、雇用と成長の好循環を図り、働くことを土台とした持続可能で選ばれる都市を目指す。 ・新たな働き方の取り組みを発信することで、就業機会の創出や多様な働き方を推進する。 ・新たな地域経済の担い手を創出するとともに、リノベーションまちづくりや、スタートアップ支援、企業誘致を推進する。 ・民間企業のDX支援を行い、事業の効率化や働きやすい環境の整備につなげる。		
事業概要・ 主な経費	○働きづらさを抱える方への就労支援や就労に困難を抱える若者・学生向けの就労支援を実施 ・ワークダイバーシティ推進事業（補助金等）14,420千円 ○障害がある方等を対象に週20時間未満の超短時間雇用を創出 ・超短時間雇用創出事業（委託料等）15,024千円 ○まちづくりに興味がある人たちが、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手を育成する ・リノベーションまちづくり事業（委託料）32,015千円 他 【雇用】 多様な働き方を支援 【成長】 働く場を創出 ・岐阜市ワークダイバーシティ推進事業 ・超短時間雇用創出事業 ・ぎふ仕事フェア ・WLB優良事業者紹介コンテンツ作成 ・バス運転手雇用支援事業 ・リノベーションまちづくり事業 ・スタートアップ支援事業 ・三輪地域ものづくり産業等集積地計画推進事業 すべての人に居場所と出番を創出		
KPI	①ワークダイバーシティ推進事業で就労につながった方の人数（+7人） ②まちの新旧の様々な資源の魅力を活かした体験プログラムの開催を通じて形成されたコミュニティへの参加人数（+150人） ③就労環境に恵まれたまちだと思ふ人の割合（+3.2%） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1026401.html （効果検証） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1016894.html		

事業概要【環境SDG s おおがき推進事業】

推進当初

申請者	岐阜県大垣市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,000千円 (14,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	市民や市内事業者を巻き込みつつ、市一丸となって環境とSDG s を原動力とした各種取り組みを集中的に実施することで、市全体の環境SDG s に対する機運の醸成を図り、SDG s を共通言語とした「住みたくなる・働きたくなる」まちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高校生を対象としたSDG s 講座の実施等 ・未来講座開催経費等 (委託料) 8,000千円 ○SDG s カードゲームを利用した講座の開催 ・SDG s カードゲームを利用した講座開催経費等 (委託料) 550千円 ○市民団体、事業者等による環境SDG s 活動発表・展示などを行うフェスティバルの実施 ・フェスティバル開催経費等 2,450千円 ○草木などを乾燥させ、たい肥化を行い、そのたい肥を市民や事業者が農業などに活用 ・草木等たい肥化経費等 (委託料) 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じたSDG s の取り組みの提案件数 (+9件) ②事業への参加人数 (+7,500人) ③事業を通じた環境SDGs推進人材の養成人数 (+30人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.ogaki-sdgs.com/ (効果検証) https://www.city.ogaki.lg.jp/0000063456.html



事業概要【外国人向けワンストップ医療窓口設置事業】

推進当初

申請者	岐阜県高山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,961千円 (5,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・外国人観光客の受入体制の強化を目指し安心して滞在できる観光地となることで、外国人観光客数の回復及び質の向上につなげる。 ・外国人向けワンストップ医療相談窓口で外国人対応を行うことで市内医療機関への負担を減らし、安定的な地域医療の維持に居することを目指す。 ・日本語に一定の不安を抱える在住外国人の方が安心して医療機関に問い合わせできる体制を構築することで、外国人にとって生活しやすい環境を整備し、外国人が定住しやすいまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【内訳】 ◆受付業務：宿泊業者、観光事業者、医療機関等から連絡を受け、患者の情報収集、患者情報管理システムに案件登録。 ◆情報提供・予約案内業務：外国人が医療機関で診療を受ける際の情報、助言の提供（支払い、保険制度等を含む）、医療機関の案内 ◆緊急時・トラブル対応業務 ◆支払いサポート・未払い防止策：未払い防止策の助言 ◆通訳手配：通訳者を事前に登録し、業務の流れなどを説明依頼を受け、通訳に業務依頼。 ◆重篤案件手配：ビザ延長やその他手続き案内、来日家族のための諸手配、国内医療搬送、帰国搬送、遺体搬送などの案内外国人の定住を促進する取組については、別事業で対応している。 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①相談件数 (+325件) ②市内外国人延べ宿泊者数 (+142,500人) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.takayama.lg.jp/s-hisei/1005322/1014595/1016774.html



事業概要【みずなみプロモーションによる移住・定住促進事業】

推進当初

申請者	岐阜県瑞浪市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	134,325千円 (44,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・瑞浪をもっと知り、瑞浪をもっと好きになってもらう「ふるさとへの愛着」を醸成し、「みずなみ愛」を深める。 ・市外に瑞浪の魅力を発信し、瑞浪の素晴らしさを実感いただき、若者の移住・定住、人口・活力の維持を目指す。 ・持続可能な地域づくりを推進し、SDGsを原動力とした地方創生の実現を目指す。 ・瑞浪市の認知度向上を図り、ふるさと納税寄附金額の増加（返礼品の売上増加）を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地場産品ブラッシュアップ事業：15,000千円 本市の地場産品のブラッシュアップや新たな産品の開発。 ○域学連携推進事業（ミライ創ろまい課）：2,000千円 高校生を中心とした「ミライ創ろまい課」を結成し、にぎわいを創出。 ○お試し移住体験事業（ふるさとワーキングホリデー）：5,000千円 本市の暮らし体験を通じ、将来的な移住・定住、関係人口を創出。 ○観光コンテンツ造成事業：11,000千円 本市の魅力を体験できる観光コンテンツを造成。 ○観光促進動画の制作・情報発信：4,000千円 本市を体験できる観光コンテンツをテーマに動画の制作・発信。 ○「みずなみ世界一プロジェクト」(市制70周年記念事業)：7,400千円 市民とともに達成を祝うことができるギネス世界記録に挑戦する。		
KPI	①本事業を通じた移住定住相談件数 (+49件) ②ふるさと納税の寄附申し込み件数 (+4,850件) ③20代・30代のこれからも瑞浪市に住みたいと思う市民の割合 (+10.8%) ④市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思ふ市民の割合 (+5.0%)		
※経費内訳はR6年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.mizunami.lg.jp/shisei/shingikai/1003696/1005966/index.html	

申請者	岐阜県恵那市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	109,881千円（30,339千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地域の多様な輸送資源を活用した移動手段を確保し、効率的で利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を図る ・抵抗なく自然に移動できる環境整備（MaaS）をすることで、円滑な移動手段の実現を図る ・利用者の困りごとに総合的に対応する誰もが使いやすい交通ネットワークを実現し、住みよい持続可能なまちづくりを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○便利な暮らしを実現する交通体制の整備 - PRパンフレット等作成費（委託料）2,275千円 - シェアサイクル実証実験（委託料）1,221千円 ○自然に移動できる環境整備 - コンシェルジュシステムの構築（委託料）21,281千円 - コンシェルジュ運営（委託料）5,562千円      		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①まちなか循環線の年間利用者数（+30,600人） ②明知鉄道・バス年間利用者数（+1,731,081人） ③自主運行バス利用者の満足度（+279%） ④人身事故発生件数（+180件）	関連URL	https://www.city.ena.lg.jp/shiseijoho/gyoseiinkai/sogokeikaku/3519.html

事業概要【ヘルステック健康まちづくり事業】

推進当初

申請者	岐阜県美濃加茂市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,460千円 (2,375千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・市民の健康に対する意識を向上させる。 ・地域の活力や経済効果、まちの賑わいを生む社会を目指す。 ・健康増進プログラムやウォーキングイベントを活発に行う事で健康増進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇みのかもヘルステックセンターを活用し市民の健康を広く一体的に支える機会の創出を目指す。 ・ヘルステックセンター事務用品（11千円） ・印刷製本費（40千円） ・建物借上料（1,928千円） 〇みのかもヘルステックコンソーシアムを設置することで、企業間の連携による経営分析された健康情報と医療情報を基に、効果的なプログラムの研究開発の実施を図る。 ・業務処理委託：健康まちづくり推進支援（396千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本プロジェクトの参加市民数（+600人） ②ウォーキングイベント開催数（+35回） ③コンソーシアム参加企業数（+9社） ④特定検診受診率（+8.4%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.minokamo.lg.jp/

事業概要【誰もが住みたいと思える魅力あるまちづくりプロジェクト

～圏域の宝もの「穂積駅」を活用して～

推進当初

申請者	岐阜県瑞穂市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,013千円（5,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	行政だけでなく、まちづくり組織「JR穂積駅周辺まちづくり協議会ExSite」と一体となり、当市の重要拠点である穂積駅周辺づくりを推進し、ソフト事業の展開によって知見・ノウハウを蓄積するとともに、それらを将来的にハード整備に活かし、より多くの方にとって使い勝手が良い駅周辺にしていくことを目指す。また、駅周辺の魅力を向上することにより、人口増加につなげるだけでなく、外から人を呼び込み、市内や圏域に点在する観光施設に誘導する拠点となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●まちづくり組織による拠点化構想事業の推進 ・賑やかし活動（イベントなど）の実施 ・観光拠点化を目指した取組の企画、実施 ・市営遊休スペース・遊休施設活用事業の展開 ・SNSなどを活用した情報発信 ・事務局の運営管理、体制の構築 など ●まちづくり組織の基盤強化に向けた支援・援助 及び 拠点化構想推進における企画調整（5,500千円） ・会議等の組織運営に係る支援・援助 ・事業の企画調整に係る支援・援助	まちづくり協議会による賑やかしイベントの開催 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住定住による人口増加数（+90人） ②駅利用・南北通過・交流人数・・・（+900人） ③新規出店数・・・（+3店舗）	関連URL	●事業実施に関すること https://www.city.mizuho.lg.jp/5138.htm ●評価に関すること https://www.city.mizuho.lg.jp/10102.htm

事業概要【中山道大月多目的広場を中心とした周辺の賑わいの創出】

推進当初

申請者	岐阜県瑞穂市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,492千円 (3,780千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	中山道沿線に点在する特色ある地域資源を有機的にネットワーク化（中山道で串刺し＝中山道団子化構想）し、当該地域の魅力や認知度を高め、ブランド化を図っていくことで、市内だけでなく、市外からの交流人口を増やし、「ひと」が増えることで「しごと」を呼び、移住や定住につながるまちの好循環を生み出すことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①中山道まちづくり基本構想事業 2,703千円 - 計画等の確認修正 - 運営推進体制の整理、委員会の体制の構築を目指す ②まちづくり委員会の自立に向けて 830千円 - 組織自立に向けた人材育成 - 民間事業者とまちづくり委員会でイベントの企画立案を行っていく ③キッチンカー委託 247千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域横断組織に加入した事業者、民間活動団体の数（+15団体） ②中山道大月多目的広場利用者数（+100,000人） ③みずほバス乗客数（十九条古橋線）（+26,000人）	関連URL	https://www.city.mizuho.lg.jp/10102.htm



事業概要【食の魅力を活用したガストロノミー(食・食文化)ツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	372,273千円 (113,491千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域特有の食とともに、その背景にある文化、歴史、自然環境などを味わうガストロノミーツーリズムの推進体制を構築し、本県のガストロノミー (食・食文化) の魅力を活用した持続可能な観光地づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○静岡県のガストロノミーツーリズムを県全体で推進 ・ネットワーク「ガストロノミーツーリズムフォーラム」の体制強化とコーディネーターの配置 (需用費、役務費、委託料: 22,705千円) ・質の高いモデル事例創出に向けた食と食文化に関する講演会等の開催 (委託費: 7,000千円) ○静岡の食文化を継承し、取組を実践する担い手を育成 (委託料4,000千円) ・大学等と連携した講座の開催 ・調理専門学校を対象とした「食の都の授業」 ○県産食材や静岡独自の食文化等の発信、料理人と生産者が連携した、SDGsに貢献する「食」の取組を促進 ・ウェブサイトによる食の情報の発信 (委託料7,000千円) ・料理人と生産者が連携した「レストランフェア」の開催(委託料、その他報償費、需用費4,779千円) ・生産者、飲食店SDGs認証制度の運用・普及 (委託料、その他報償費、その他の旅費、需用費8,307千円) ○静岡独自の食文化発信 ・静岡県の特徴的な食文化の掘り起こし、それを発信する企画の実施 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 4,980千円) ・農芸品や食文化の豊かさをテーマとした常設展の拡充 (報償費、講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料: 21,000千円) ・県立美術館企画展と連動したレストランメニューの開発 (委託費: 4,000千円) ○ガストロノミー・文化・景観をパッケージで味わえる環境づくり ・舞台芸術を活用し、他の文化施設等と連携したガストロノミーツーリズムの実証事業の開催 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 13,000千円) ・県立美術館における本県の豊かな食文化を育む美しい自然をテーマとした企画展の開催 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 14,720千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内旅行消費額 (+2,250億円) ②コーディネーターの支援による旅行商品造成数 (+12件) ③本事業による各文化施設の来場者数等 (+14,800人) (舞台芸術公園来園者数、県立美術館来館者数、地球環境史ミュージアム観覧者数)	関連URL	調整中

＜食と食文化に関する講演会＞



＜食の都の授業＞

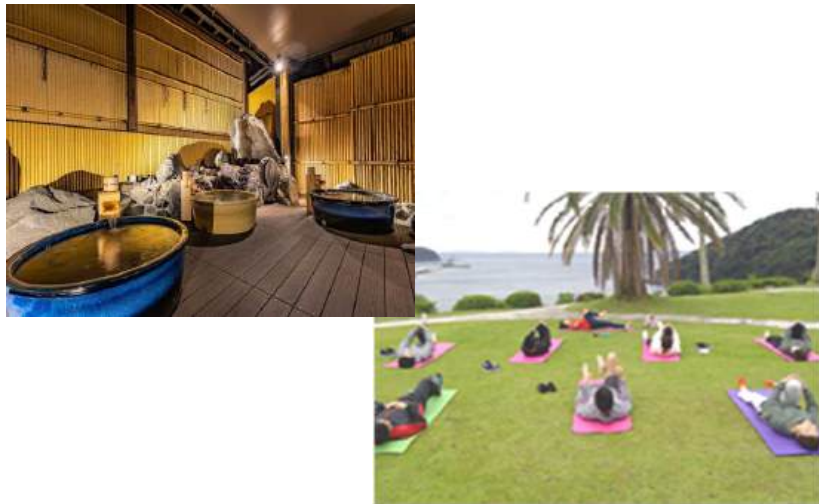


＜舞台芸術を活用した実証事業＞



事業概要【温泉資源や科学的知見等の活用による元気な地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	265,099千円（79,476千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ヘルスオープンイノベーション静岡の仕組みを構築し、行政施策への反映やビジネス領域での事業化を進めることで、それらのサービスを受けた県民の健康寿命の延伸やヘルスケアサービスの事業化による地域経済の活性化につなげる。 ・温泉資源等の活用による新たなサービスを創出することで、成長が見込めるヘルスケア産業等への産業構造の転換を図り、若者の働く場を創出するとともに、新たなヘルスケアサービスを受けた県民の健康を増進する。 ・地域資源を活用した観光産業の磨き上げにより地域産業を活発化し、地域経済の発展に寄与する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○【科学的知見等の活用による県民の健康寿命延伸の実現】ヘルスオープンイノベーション静岡 ①フューチャーセッション及びタスクフォース運営等（使用料・報償費等） 2,117千円 ・健康課題解決のための委員との対話（会議形式及び随時相談） ②タスクフォースでの研究成果のビジネス領域への事業化、行政施策への反映に向けた実証実験（委託料等） 1,000千円 ・スポーツ医学に着目した実証実験 1,000千円 ③高血圧対策に関する研修会・講演会の開催（使用料・報償費等） 1,459千円 ○【温泉資源等の活用による新たな産業の創出】ICOIプロジェクト ・サービスの一元化に向けたプラットフォームの開発 18,924千円（委託等） ・伊豆地域の市町と連携した温泉活用事業 22,000千円（補助金） ・推進協議会運営費 976千円（使用料・報償費等） ・温泉活用における人材育成事業 2,000千円（委託） ○【温泉資源等の活用による新たな産業の創出】地域資源を活かした観光促進事業 ・旅行商品造成支援により磨き上げられた静岡ならではの観光資源を活用した誘客事業等 31,000千円（委託・補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①温泉等の地域資源を活用したヘルスケアに関する新たなビジネスモデルの創出（+15件） ②社会健康医学大学院大学の研究成果の社会実装（タスクフォース）の数（+9件） ③県内旅行消費額（+2,914億円）	関連URL	調整中

事業概要【環境と経済が両立した「地域循環共生圏」形成事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	599,740千円 (149,998千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・森・里・川・海のつながりを再現するモデルの構築と公開により、オープンイノベーションを促進する ・脱炭素に向けた県民のライフスタイル転換への行動変容を多方面から促す ・産学官金が一体となった支援体制を構築し、中小企業のカーボンニュートラルの実現を目指す ・市町による持続可能な取組を支援し、環境と社会経済が調和する「地域循環共生圏」の形成を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇森・里・川・海の関係の科学的知見の充実と県民理解の促進 ・モデルを活用した研究への支援（委託料ほか）6,862千円 〇県民の脱炭素化に向けたライフスタイル転換 ・スマホアプリを活用した運動の展開（負担金）6,400千円 〇中小企業の脱炭素経営への転換 ・「企業脱炭素化支援センター」の運営（委託料）37,000千円 〇地域循環共生圏の形成 ・地域循環共生圏の形成に資するプロジェクトを推進する市町への支援（補助金）91,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡県内の温室効果ガス削減率（2013年度比） （▲14.0%） ②再生可能エネルギー導入量（+17.4万kl） ③森づくり県民大作戦参加者数（+16,102人） ④地域循環共生圏の形成に向けたプロジェクトに取り組む市町数（+33市町）	関連URL	調整中

事業概要【消費スタイルのイノベーションによる地域経済活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	379,848千円（116,618千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・静岡、山梨、長野、新潟の中央日本4県を「新たな地域経済圏」の域内流通・域内調達の促進を図る ・食やスポーツ文化等を活かした情報発信等により域内観光交流を促進させ、「域内のマイクロツーリズム」を推進 ・県民や県外からの移住希望者等に普及・啓発を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな地域経済圏における販路開拓 ・物産展の開催等（委託料・負担金）8,000千円 ・商談会の開催等（委託料）17,900千円 ○「花の都」新しい生活様式対応需要拡大 ・栽培における新技術導入支援（負担金）5,000千円 ○各県の観光資源を生かした域内周遊及び域内への誘客促進 ・金等をテーマとした周遊・誘客企画（委託料）14,500千円 ○空き家活用促進事業＋「プラス〇の住まい」普及・啓発事業（移住・定住促進） ・県版空き家バンクの設置運営等（委託料）4,000千円		 ＜R5「バイ・山の洲」物産展オープニング式典＞
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産品の山の州3県（山梨県、長野県、新潟県）への流通金額（＋9億円） ②県産水産物の新たな県外需要開拓件数（＋10件） ③中央四県域内及び域外からの県への観光交流客数（＋7,000万人） ④空き家の解消戸数（＋1,882戸/年）		関連URL 調整中

事業概要【SDGsの達成に貢献する新たな農業推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	544,590千円(166,142千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・SDGsの達成に貢献する、環境と経済を両立する持続可能な農業の実現を目指す ・スマート農業技術の導入により、高品質・高機能で付加価値が高い農芸品の生産に磨きをかけ、生産性と収益性の向上を図る ・農(業)と食の好循環の形成により、持続可能な農業の地域への浸透を加速化 ・次世代を担う若手人材の育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○カーボンニュートラル等の環境負荷低減と生産性・収益性の両立を図る生産等技術の開発 (需用費、役務費、委託料等) 89,906千円 ○生産から流通、消費に至る様々な過程において活用される技術の産学官金連携と事業化(補助金) 65,000千円 ○シンガポールの工科大学等との連携を進め、成果の発展や人材の連携による新たな知見等を活用した研究開発 (報償費、需用費、役務費等) 1,667千円 ○高度研究人材などの育成 (報償費、需用費、委託料等) 2,944千円 ○農業高校等での研修会や農業関係事業者への啓発機会の提供 (報償費、使用料、委託料等) 5,725千円  プロジェクト拠点AOI-PARC  次世代栽培装置での研究開発  海外とのビジネス連携成果発表  事業化支援(ビジネスマッチング)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スマート農業技術を導入している重点支援経営体の割合 (+30.10%) ②AOIプロジェクト事業化案件創出件数 (+9件) ③本事業に参加した生徒が農業関連産業・教育機関に就職・進学する人数(+165人)	関連URL	調整中

事業概要【外国人よし、地域よし、企業よしの三方よしの多文化共生推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	231,255千円 (84,229千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・外国人が安心・快適に暮らし、日本語や技術・技能を身に付け、いきいきと活躍できる環境づくり (外国人よし) ・地域コミュニティや活動の活性化、地域活動の新たな担い手の確保 (地域よし) ・企業の新たな人材確保による、職場の活性化・生産性の向上 (企業よし)		
事業概要・ 主な経費	定住外国人が正規雇用で安定的に働くための支援、留学生の定着促進、海外高度人材の本県企業での基幹人材としての活躍支援等により、本県への外国人の流れを創出するとともに、本県産業を支える人材として定着するための環境を整備する。 ○海外からの活力取り込み ・外国人材と県内企業等とのマッチング(16,000千円) ○海外高度人材の活躍を支援 ・県内企業を対象とした海外の大学生や大学院生等との海外合同面接 会の開催による、海外高度人材の採用の拡大(26,400千円) ○外国人の定着のための環境整備 ・技能検定基礎級学科試験に対応した日本語研修の実施 (7,403千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①海外高度人材活躍支援事業による県内企業への内定者数 (+145人) ②留学生の県内就職率 (+5.14%) ③外国人を雇用する企業等と連携した防災出前講座の開催回数 (+30回) ④外資系企業のサテライトオフィス誘致件数 (+5件)	関連URL	調整中



申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	149,164千円（67,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本事業では、SDGsを通じた「つながる」機会を創出し、地域課題の解決及び新たな需要の喚起を市民、企業及び団体主導で実現するとともに、若者の定着につなげる仕組みづくりを目的としている。 SDGsのゴール8「経済成長」と13「気候変動」、17「パートナーシップ」を基軸に、SDGsを通じて様々なステークホルダーと「つながる」に展開していくことを推進力を創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 SDGs推進のネットワーク化 SDGs企業の交流会（委託・賃借料）1,500千円 2 SDGsの活動を通じたパートナーシップ 連携に特化した表彰事業（委託・謝金）3,000千円 3 SDGs金融の推進による中小企業等の支援 金融機関とSDGs企業のマッチング（委託）1,000千円 4 SDGsに資するグリーン産業の創出 PPA拡大、新技術開発支援（補助金）58,000千円 5 静岡市SDGsレポーター制度の構築 若者によるSDGs発信事業の実施（委託）1,500千円 6 次世代・ジェンダーの取組 SDGsユースサミットの開催（委託・賃借料）2,000千円	<SDGsに資するグリーン産業の創出> 経済 効果：経済活動の活性化 ● 新たなビジネスモデルの創出 ● 新商品・新サービス開発の促進 ● 環境の取組に対する金融商品の創出と投資の活発化 社会 効果：環境に配慮した商品・サービスの普及 ● 環境配慮型商品が市民に普及 ● 市民のSDGs意識向上 SDGsの推進 環境・経済・社会の統合的向上 効果：二酸化炭素排出量の削減 ● 脱炭素に資する新技術開発 ● 再生可能エネルギーの導入拡大 環境	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市SDGs宣言企業・団体やグリーン産業に取り組む企業への投融資実績（+35件） ②若者と企業・団体が静岡市SDGs連携アワードを通じて解決した地域課題件数（+20件） ③グリーン産業を通じて削減した温室効果ガス排出量（+2,923t-CO2） ④静岡市SDGs宣言企業・団体の登録数（+350団体）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s009121.html （静岡市SDGs宣言事業所・団体） https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2835/s001678.html （静岡市新技術開発等補助金） https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html （静岡市交付金関係リンク）

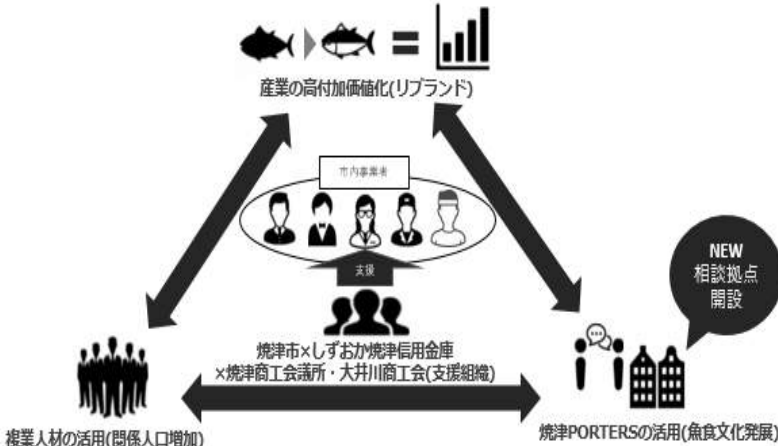
事業概要【2つの企業連携拠点の設置による地域経済活性化の推進】

推進当初

申請者	静岡県磐田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,714千円 (5,870千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中小企業等の競争力強化や、企業誘致の推進、創業・企業支援等、地域経済の活性化を図る ・首都圏企業のノウハウや技術を活用することで、社会課題解決を図る ・交流人口の拡大や移住・定住者の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○首都圏企業等との連携や情報交換を推進するための 拠点設置、コーディネーターの配置 ・拠点設置（賃借料） 1,200千円 ・コーディネーター配置（委託料） 4,500千円 ○シティプロモーションイベント、企業同士の交流会等、 交流人口の拡大や移住・定住者の増加に資するイベント開催 ・イベント演出・装飾関連経費（委託料） 50千円 ・イベント会場関連経費（使用料） 100千円 ・通信運搬関連経費（役務費） 20千円 The diagram illustrates the flow of information and collaboration between the Iwata Metropolitan Area Satellite Office (Iwata City Office), the Iwata City Office, and local businesses. The Iwata Metropolitan Area Satellite Office (Iwata City Office) acts as a hub for information exchange and collaboration with the Iwata City Office and local businesses. It also facilitates public and citizen matching between the metropolitan area and the city.		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた首都圏企業と本市企業とのビジネスマッチング件数（+6件） ②本事業を通じた本市のシティプロモーションイベントへの来場者数（+300人） ③本事業を通じた本市への企業等進出件数（+2件） ④本事業を通じた本市と企業の公民連携協定締結及び実証実験実施件数（+6件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.iwata.shizuoka.jp/sangyou_business/kiyouyou_shien/1011382.html （効果検証） https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/gyouzaisei/chihousousei/1002649.html

事業概要【首都圏等複業人材を活用した地域活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,200千円(30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	●コロナ禍により、BtoBからBtoC向けの転換などを行っているが、人材難等により対応が困難な現状 ●中小企業の経営課題に対して首都圏等の複業人材をマッチングすることで、本市の関係人口として醸成しつつ、地元企業の課題解決に結びつけようとするものである。 ●合わせて、複業人材を呼び込むことで、関係人口、ひいては中長期的な定住人口の増加を目指すものである。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○令和6年度首都圏等複業人材・市内中小企業との マッチング支援業務委託 16,000千円(委託費) ○令和6年度首都圏等企業による課題解決型地域交流 プロジェクト創出事業業務委託 5,000千円(委託費) ○令和6年度複業人材による地域活性化事業 4,500千円(委託費) ○焼津PORTERSを軸とした複業人材の活動拠点間の交流 促進マネジメント業務委託 4,500千円(委託費) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①首都圏等複業人材と地元企業のビジネスマッチング件数（+75社） ②首都圏等からの本事業に関する複業人材参加者数（+750名） ③進出企業拠点設置数・拠点に結び付いた個人事業主数（+12件） ④企業版ふるさと納税寄付件数（+6件）		
関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihouseisei/chihouseiseisuishinkaigi.html		

事業概要【生涯現役・いつまでも幸せに暮らし輝くまち藤枝プラン】

推進当初

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,309千円 (33,777千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	藤枝市ならではの「ICT」や「大学連携」及び「地域包括ケア」のプラットフォームや企業の連動により高齢者だけでなく、障害者・外国人などが、誰も取り残されずに社会参画し、互いに刺激を受けながら活動する「藤枝型共生のまち」を確立し、相互に「活躍」「暮らし」「コミュニティ」を築いて持続可能な地域づくりが進むことにより「生涯活躍のまち」を実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	□デジタル活用に不安のある高齢者層への助言や相談対応強化によりデジタルデバイドの解消を図るため、公共施設等へデジタル支援員を設置する（委託：14,300千円） □住民ボランティアの地域福祉活動として行う概ね5人以上の団体の高齢者等の外出支援について、住民ボランティアと市との協働により市がデマンドバス「ふじえだ足すと（アシスト）号」を運行する（自動車借上料：449千円、保険料：134千円 等） □55歳以上の活動的なシニアと地元でシニア採用に力を入れる企業をつなぐ就労支援事業と年配の技術保有者が幅広い世代を対象に職人の技を披露・体験できる技術伝承事業を開催する（委託：5,000千円）  デジタル支援員  ふじえだ足すと（アシスト）号  アクティブシニア活躍応援事業		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①多世代交流型出かけCARサービス支援事業での支援ボランティアの数（+22人） ②大学と連携した高齢者等の社会参画のための講座参加者数（+120人） ③「ふじえだ足すと（アシスト）号」連携先地域団体数（+26人） ④健康ハイキングイベントの参加者数（+250人）	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

申請者	静岡県伊豆市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,512千円（10,945千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・交流人口・関係人口の増加により伊豆ファンを獲得し将来的に移住定住に繋げ、人口減少対策を行う ・伊豆をアウトドアの聖地として盛り上げ、的確な情報発信を行うことはアウトドア分野の活性化のみならず、既存の観光に対する新たなマッチングにも繋がる事業に発展する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域事業者による事業推進体制の構築事業（990千円） ・初年度に結成した事業推進組織のメンバー拡充や運営体制の強化を目的として、定期的な意見交換会を開催する。併せて全体の資料や報告書の作成を行う ○ポータルサイトの維持管理運営事業（1,672千円） ・ポータルサイトの維持管理、更新を行う。併せて、推進事業者向けの運用講習会を開催する。（サーバー・ドメイン管理1,000千円　SNS運用335千円　運用講習会337千円） ○Camp王国伊豆の魅力発信事業（8,283千円） ・コンセプトを表現するアクティビティ付プランの販売の企画運営（1,419千円） ・周辺市町連携と事業者の誘客活動（880千円） ・ポータルサイトの拡充と集客（SNS広告2,200千円・内容拡充のための取材と更新1,584千円） ・アウトドアメディアによるプロモーション記事や動画を作成し情報発信を強化（継続）（2,200千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①Izu Camp . com project 推進事業による移住者数（I・Uターン含む）（+13人） ②市営のキャンプ場3施設（だるま山キャンプ場・萬城の滝キャンプ場（recamp中伊豆）・ふるさと広場）利用者数（+500人） ③Izu Camp . com project 推進事業による新規キャンプ場・新規アクティビティ事業者数（6件） ④推進組織加盟者数（企業含む）（+25件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://izuoutdoor.com/ （効果検証） https://www.city.izu.shizuoka.jp/soshiki/1005/10/2/2/4819.html

24

事業概要【多様なライフスタイルが集う新たな地域コミュニティ創生モデル事業】

推進当初

申請者	静岡県南伊豆町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,427千円 (8,094千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住者等受入れ体制構築の支援を行うことで集落全体が移住者を迎え入れ、定住に結びつけるための応援体制を構築する ・空き家や荒廃地の利活用促進により集落内の生活環境の向上や集落機能の向上にも寄与する ・移住促進・地方創生人材の確保・育成、地域コミュニティの維持、活性化、地方で遅れがちな地域内DXの推進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○町での暮らし体験、地域交流会ツアーの開催、関係人口拡大にかかる委託料（委託料1,600千円） ○町の移住ポータルサイトの改修にかかる委託料（3,500千円、賃借料170千円） ○企業誘致や移住促進のためのPR経費（イベント出展支援者旅費166千円、謝礼40千円、広告料600千円） ○都市部のIT人材、大学生を中心とした若者と連携、地域をフィールドとして活動の場を提供することで、地域課題の解決策やIT人材、若者が地域内で活躍できる環境構築、地域DX推進と若い世代の関係人口構築に取り組むための活動費：1,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町の支援事業を活用した移住者数（+37人） ②町内で活動するデジタル人材の数（+30人） ③空き家活用数（+16件） ④共同作業（活動）への地域内及び地域外からの参加者数（+95人）	   	関連URL 調整中

事業概要【デジタル技術の活用及びスタートアップとの協業によるイノベーション創出事業】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	522,449千円 (195,788千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	デジタル技術の活用とスタートアップとの協業を両車輪として取組を強力に推進していくことにより、本県が、日本の産業首都、更には国際的なイノベーション拠点として飛躍していくことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産業のデジタル化、スタートアップとの協働 スタートアップと企業のオープンイノベーションイベント（商談会）、インキュベーションプログラム、交流イベント等の実施などを行う。（委託料等）57,098千円 ○行政分野のデジタル化 スマートシティ化のモデルとなる先進的な事業に対して、市町村の取り組みの支援などを行う。（委託料等）138,690千円 【スマートシティモデル事業】 ○事業スキーム 公募 → 市町村 (代表者) 企業A 企業B ⋮ 市町村が提案書提出 会計管理は、構成員企業でも可 → 提案書提出 → 選定 ○岡崎市「次世代パーソナルモビリティで中心市街地の渋滞緩和チャレンジ」 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル技術の導入を行った企業数 (+15企業) ②スタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションによる事業共創件数 (+10件) ③行政課題に対する民間企業等からの解決策のマッチング数 (+28件) ④本事業を通してスマートシティ化に取り組み始めた市町村数 (+13件) 関連URL https://www.pref.aichi.jp/site/smartcity-modelproject/ https://www.pref.aichi.jp/press-release/supplier2023-3.html https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/dx-challenge2023.html https://www.aichi-startup.jp/packages/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html		

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	616,568千円 (133,078千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	スタートアップ企業等の新しいアイデアや技術を活用したイノベーション創出による生産力の強化と輸出拡大・地産地消の取組による県産農林水産物の需要拡大を両軸として、本県農林水産業の持続的な発展と地域の活性化に向けた人材の育成を進めていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	あいち農業イノベーションプロジェクト推進費  ○「あいち農業イノベーション研究会」を推進母体として、産学官連携による農業イノベーション創出に取り組む。 （委託料、事務費、研修費、研究開発費）90,000千円 ○輸出拡大に向けた産地間連携による販売戦略をブラッシュアップし、海外店舗でのプロモーション（販売促進イベント）を実施するとともに、オンラインでの海外バイヤーと商談する機会を提供する。（委託料、事務費）4,976千円 ○SDGsに貢献する取組として地産地消のデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組み地産地消を推進する。（委託料、負担金、事務費）38,102千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究実施件数（+26件） ②新技術を活用したビジネスモデルの創出件数（+18件） ③農林水産物等を購入する際に愛知県産を優先して購入する割合（+11.8%） ④オンライン商談での商談成約率（+18%）	関連URL	https://aichi-agri.jp/ https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomoaichi/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	549,141千円（183,860千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	デジタル人材、高度人材の育成や多様な人材の社会参加を通して、イノベーションを生み出す土壌を醸成するとともに、労働力の確保を図り、「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○モノづくり現場の自動化を担うロボット S I e r の人材創出を目的とした「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会」を開催するなど、デジタル人材等の育成を行う。 （委託料等）110,630千円 ○外国人留学生を積極的に受け入れ、県内企業への就職を支援し、当地域の発展に資する高度人材としての活躍を促進するなど、多様な人材の社会参加を推進する。 （委託料等）38,558千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「デジタル人材育成支援事業」における研修の受講者数（+4,560人） ②競技参加校のロボット S I e r 企業への就職人数（+36人） ③県内大学等を卒業した留学生の国内就職率（+8.7%） ④障害者スポーツに関する取組への参加者数（+3,500人）	関連URL	https://www.aichi-value.com https://sileague.aichi.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jinzai/r4-degitalikusei.html https://paraspo-aichi.com/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



高校生ロボットシステムインテグレーション競技会

事業概要【都市と地域のベストマッチングによる地域力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	658,763千円 (158,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本地域のもつ、バランスの取れた産業構造、豊かな自然、便利な交通アクセスを有する地域の強みを最大限に生かして、東京圏、大阪圏を含む大都市への住民に対してベストマッチングな魅力を提供することで「ひと・しごと」を呼び寄せ、中京大都市圏の「東の拠点」として、また、愛知三島の文化的な強みを生かした特色ある地域として、全国・世界とつながる魅力的な地域を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東三河地域の人材確保に向け、大都市圏とのマッチングやイベント等により情報発信などを行う。(委託料、事務費) 51,732千円 ○三河山間地域の人材確保・育成に向け、地域の課題を発見し、解決を図るために起業を行う人材の育成などを行う。(委託料、事務費) 91,740千円 ○離島地域の人材確保・育成に向け、イベント等出展やSNS等による効果的な情報発信手法の確立などを行う。(委託料) 14,552千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コーディネート機能による、東三河の各地域への訪問回数 (+350回) ②起業家支援セミナー参加者数 (+130人) ③離島地域 (日間賀島、篠島、佐久島) の関係人口数 (+1,100人) ④本事業における山間地域関係人口SNSのフォロワー数 (増加数) (+750人)	関連URL	https://iju-higashimikawa.jp https://spdesk.mikawayamazato.jp https://aichi-yamazato.jp https://www.rito.aichi.jp https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【県民・企業・NPO等と連携したSDGs具体化プログラム】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,137千円 (58,837千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	生物多様性保全の取組を始めとしたSDGsの取組を確実に進展させ県民へ浸透させること、企業・団体運営にSDGsを統合させること、企業・大学・NPO等のマッチングを通して取組の創出や継続支援を図ることにより、持続可能な社会の実現を達成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SDGsを達成するための具体的な取組 ・ステークホルダー間のパートナーシップ形成を図る交流会の開催や、若い世代のSDGsの取組支援など（委託料、事務費）2,788千円 ・NPOに対するSDGsセミナーや、NPOが活動内容等を発表するNPOアワードの開催など（委託料、事務費）5,575千円 ・「SDGs AICHI EXPO」を開催など（負担金、委託料）29,000千円 ○生物多様性保全のための具体的な取組 SDGsの理念に沿った生物多様性保全に向け、保全活動の担い手養成、ユース育成、民間参画パートナーシップの促進など（委託料、事務費）21,474千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs AICHI EXPOに出展する企業・団体数（+45企業・団体） ②生物多様性保全の担い手として育成したユース（+215人） ③SDGsセミナーへの参加NPO団体数（+60団体） ④「愛知県SDGs登録制度」登録企業等数（+750企業等）		
		関連URL	https://sdgs-aichi.com/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/supporters/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/certification/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/matching.html https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/2019gakusei.html https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichi-sdgs/ https://www.aichi-npo.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



事業概要【公民連携の推進による社会課題解決事業】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	92,600千円 (39,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	本市では令和4年度より、民間企業等の有する資源やノウハウ、アイデア、創意工夫を市政運営に活かすための公民連携の仕組みを新たに構築し、公民連携の推進により、複雑化・多様化する社会課題に的確に対応するとともに、この仕組みを持続的なものとするため、将来を担う人材の育成にも取り組む。これにより、多様な主体がそれぞれの強みを活かして活躍し、将来にわたり、市域一丸となって社会課題解決に取り組む都市の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○民間企業等との公民連携の推進 31,000千円 ・「公民連携窓口」及び「公民交流フィールド」の運営(委託料30,685千円) ・「公民連携ポータルサイト」の運営(委託費：315千円) ○社会課題解決人材の育成 8,200千円 ・学生の社会課題解決プログラムの推進 (委託費：6,900千円) ・学生による企業の社会貢献活動等の発信 (委託費：970千円) ・事業広報及び関係者との成果等の共有 (委託費：330千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①公民連携窓口を通じて実現した公民連携事業の件数 (実証実験含む) (+225件) ②公民交流フィールドの企業登録数 (+300社・団体) ③公民連携ポータルサイトのアクセス件数 (+37,500件) ④社会課題解決人材育成事業参加者数 (学生・大学・地域) (+370人)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

事業概要【戦略的人材マネジメントによる名古屋圏域の活性化】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	134,000千円 (41,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内中小企業が経営戦略と人材戦略を連動させ、「人材」を戦略的にマネジメントする能力を向上させる ・個々の企業の経営戦略等に応じた最適な手法による効果的な人材の獲得が可能になる ・従業員等の企業への貢献意欲、企業魅力の向上が図られ、経営基盤が強化される		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業1 採用ブランディング支援 (委託料11,000千円) ・採用ブランディング手法の導入、実践を支援 ・2年間の個別伴走支援の事例分析による名古屋版採用ブランディング活用マニュアルの作成、市内中小企業への成果事例の波及 事業2 課題解決型人材活用支援 (委託料11,250千円) ・外部人材活用のメリットや手法を学ぶセミナーを開催 ・外部人材の活用により経営課題解決を実践しようとする企業に対して、コーディネーターによる伴走型支援を実施 ・事例集の作成、事例報告会の開催 事業3 多様で柔軟な働き方導入支援 (委託料18,700千円、報償費50千円) ・多様で柔軟な働き方の導入を促すセミナーの開催 ・多様で柔軟な働き方の導入を実践しようとする企業に対して専門家を派遣 ・事例集の作成、市内中小企業への成果事例の波及		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた新規雇用者数 (+85人) ②企業向けセミナー等参加者数 (+540人) ③個別支援企業数 (+100社)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html



事業概要【中小企業によるグリーン・イノベーション構築促進事業】

推進当初

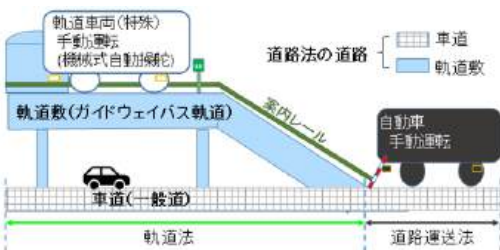
申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,290千円 (21,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域雇用の受け皿である中小企業において、環境課題を踏まえた事業活動、新商品・サービスの創出等のビジネス展開イノベーション力を向上させ、魅力的な企業として成長を促す ・中小企業の維持発展を支援し、市民・顧客へアピールすることで、産業人材の流出抑制及び地域の産業を活性化し、高い産業競争力を維持することで、持続可能な成長を図る ・「産業競争力を活かして成長を続けるまち」の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 温室効果ガス排出削減モデル事業者の選定・指導 3,645千円 (委託料) ○ カーボンニュートラルに向けた新商品・サービス開発支援 10,895千円 (委託料) ○ カーボンニュートラルに向けた普及啓発と中小企業の取組の情報発信 6,040千円 (委託料) ○ 産学官金連携による会議の設置 420千円 (委託料)  Green Innovation NAGOYA		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イノベーション創出件数 (+12件) ②セミナー延べ参加者数 (+300人) ③参加企業の新規雇用者数 (+18人)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	114,690千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	本市北東部の基幹的な公共交通であるゆとりーとラインが採用しているガイドウェイバスシステム (案内装置の誘導によりバスのハンドル操作を自動化) は、本市以外に採用実績がなく、事業の継続が困難な状況となっている。本事業では、これを自動運転バスに転換するために必要な技術面や法制度への整合化について検討していくものである。この取組は、どこにでも展開できる汎用的なデジタル基盤を実装することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○先進技術を活用した自動運転バスの計画策定 (R4実施) ○実験走行及び実験結果の評価 (R5実施) ○仕様設計及び関係機関との連携拡大(R6実施) 50,000千円 (委託料) ・仕様設計…自動車メーカーとの連携により、自動運転バスについて、製造受託を見据えた詳細検討を行い、仕様設計を作成する。 ・関係機関との連携拡大… 仕様設計の過程において、他の協力機関から各種データを提供していただくほか、複数の自動車メーカー、関連メーカー、産総研等から技術的・専門的な知見に基づく助言を受けることにより、関係機関との連携拡大を図る。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に関わったデジタル人材の人数 (+35人) ②普及啓発ウェブサイト閲覧回数 (+7,500回) ③ゆとりーとライン沿線の小学校区の人口 (+1,920人)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

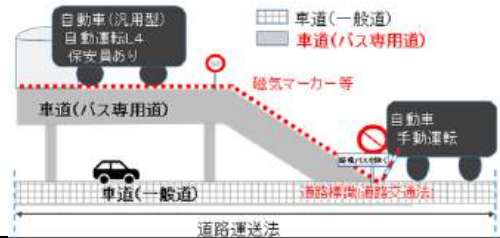


ゆとりーとライン

ガイドウェイバスシステム



自動運転技術を導入した次期システム



事業概要【なごや農業「まるっと支援」事業】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	64,120千円 (22,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地元農産物を貴重な観光資源としてその価値を見直し、観光客が楽しめる観光コンテンツとして効果的に打ち出すことにより、本市ならではの魅力・強みを活かした戦略的な観光施策の推進を図る ・「なごやめし」の普及促進の取り組みを通じて、名古屋大都市圏の観光面における成長を牽引することで、観光交流の推進によるにぎわいあふれるまちの実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○名古屋コーチンブランド力強化事業 ・消費促進に向けたPR事業（委託料）15,000千円 ・幅広い地域や世代に向けたPRを実施するための協議会への参画（負担金）1,500千円 ・他都市プロモーション（委託料）600千円 ○地元農産物ブランド化支援事業 ・生産者と事業者のマッチング支援（委託料）1,000千円 ・地元農産物を利用した製品のPR事業（委託料）2,000千円 ○ICTを活用した地元農産物支援事業 ・ウェブサイトによる広報及びイベント等配信（委託料）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客・宿泊客動向調査における、本市を訪れた人のなごやめしの喫食体験割合（過去5年以内） （+9.9%） ②名古屋コーチンの月平均消費量（+20t） ③本事業を通じた生産者と事業者のマッチング件数（+4件） ④情報サイト閲覧者数(セッション数)（+100,000人）	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

申請者	愛知県豊橋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	116,834千円 (51,084千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地元農産物から生み出される魅力的な食文化を域内で消費できる仕組みづくりと、域外へのブランドイメージの定着を図り、食を目当てにこの地域を訪れる交流人口や、訪れなくてもこの地域の食のファンとなる関係人口の拡大を目指す。 ・食と農の土台となる農産物の生産性を維持するとともに、交流人口や関係人口の需要増加により、それが農業の活性化につながるという好循環を生み出す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○飲食店・菓子店と農家のマッチングイベントの開催し、地元農産物を使用した新メニュー開発の支援及びPRを実施することで、地産地消に取り組む店舗の増加や市内外へ食と農のまちとよはしを発信する (委託料) 5,000千円 ○地産地消に取り組む市内飲食店や菓子店等を巡るスタンプラリーを実施し、参画店舗を掘り起こす (委託費) 3,864千円 ○地産地消に取り組む飲食店や菓子店のPR (印刷製本費) 220千円 ○農家とスタートアップ企業が協働で商品開発を行うマッチングコンテストを開催 (委託料) 22,000千円 ○前年のコンテストでマッチングした農家とスタートアップの事業化に向けた支援 (委託料) 20,000千円  ←飲食店・菓子店×農家マッチング事業による新メニューお披露目  →飲食店・菓子店×農家マッチング会の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①豊橋市の観光入込客数 (+ 200,000人) ②農産物直売所入込客数(道の駅とよはし) (+ 125,000人) ③地産地消に取り組む飲食店等と農家の件数 (+ 80件)	関連URL	https://www.city.toyohashi.lg.jp/57222.htm https://www.city.toyohashi.lg.jp/49955.htm

事業概要【地域商材販路開拓支援事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	52,800千円 (15,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ECサイトの運用による地元商材のPR及び販路拡大機会の提供を行う ・市内事業者に対し、試験的にECサイト運用を体験できる機会を提供することで、事業者のデジタル化を図る ・全国の消費者が当市に訪れることなく継続的に商品を購入できる環境を整備する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ECサイトの運用 13,200千円 ECサイトのシステム管理及び運営を行う。運営では、出品者を募集し登録管理を行うほか、受注管理・振込・問い合わせ対応・商品説明等記事管理・コンテンツ管理を行う。 ○プロモーション施策の実施 2,500千円 全国の消費者に対しECサイトの利用を促すため、WebやSNS、紙面等、様々な媒体を活用してECサイトのプロモーションを実施する。 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ECサイト販売額(+5,300千円) ②ECサイト出品事業者数(+60者) ③ECサイト出品数(+120品)	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【オクオカイノベーション事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	362,757千円 (81,369千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中山間地域において、住民主体の持続可能な地域づくりを図る ・地域内の遊休施設等を活用して、関係人口の創出・拡大を図る ・中山間地域への移住・定住促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・既存施設のイノベーション 45,123千円 移住相談窓口の運営、移住関係情報発信等を行い、地域に人を呼び込むことを図る。 農林業の担い手確保のためのイベント等を開催する。 地域住民を主体として、地域の将来計画、活性化のための事業を推進する。 ・耕作放棄地等のイノベーション 25,246千円 漆の新規植栽を進めるとともに、植栽手法の確立に向けて樹木の維持管理及び追跡観察を行う。 ・施設改修 11,000千円 中山間地域と都市部との交流促進を図るための施設改修を実施する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	・農林業体験イベントを通じて移住相談へつながった人数（+17人） ・複業人材の育成人数（+4人） ・中山間産品ふさと納税返礼品設定数（+25件） ・新規で漆を植栽した耕作放棄地等面積（+19ha）	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【QURUWA戦略担い手発掘・育成事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,578千円 (21,749千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・まちの魅力や取り組みを再編集し、QURUWA地区のブランディング及びプロモーションを行うことで、パブリックマインドを持つ民間を呼び込む。 ・出店などのまちへの投資を検討している民間企業者と共に、まちの潜在資源を活用して都市・地域の経営課題を解決を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちづくりデザインプロモーション業務を推進する にかかる経費 12,991千円 QURUWAWEBの受託者や地域ライターを中心とした情報発信チームで、情報発信チーム自らがスポンサーや広告料収入を上げるために企業版リノベーション事業に関わる企業等への営業を実践し、自立化するための自主財源獲得に向けた取り組みを実施する。 ○企業版リノベーション検討支援に係る経費 8,758千円 1,2年目のスクール卒業生にもリノベーションスクールの運営に参加してもらいながら、自走化したマネジメント体制で、事業者間の連携促進による複合的な事業イノベーションの促進を図る。   左：プロモーション（QURUWAWEB） 右：リノベーションスクール（スクール発表会）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①主要回遊動線QURUWA上の1日平均歩行者通行量（+753人/日） ②QURUWAWEBにおけるコンテンツのダウンロード回数（+50回/月） ③地区内の新規出店者数（+9店）	関連URL	総合政策指針審議会 https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【若年層をターゲットにした観光で稼ぐ観光産業都市の実現】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	250,261千円（30,360千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機として岡崎市に対する歴史観光の注目度が増すタイミングで、大河ドラマ館設立と合わせ、観光消費を促すコンテンツを整え観光産業都市として歩を進める。 ・若年層向けの歴史文化資産を活かしたコンテンツや環境整備を行うことで、持続的に成長を続ける観光産業の確立を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若年層向けコンテンツ開発・誘客促進事業 12,100千円 ・本市歴史資産を題材にした回遊型謎解きゲームのPR。 ・若者向けの体験型ナイトタイムコンテンツの開発と磨き上げ。 ・民間事業者によるイベントの誘致と実施支援 ○回遊促進事業 11,660千円 ・市内各地の歴史資産等の回遊を促すイベントコンテンツを造成。 ・デジタル周遊にクーポン機能等を活用した市内回遊と消費拡大。 ・2年目に開発した健康歴史観光パッケージの磨き上げを実施。 ○プロモーション・デジタルマーケティング事業 6,600千円 ・若年層向けの各種SNSツールを活用した観光プロモーション。 ・観光施設や地域個店等によるデジタルツールを活用した情報発信の自走化。	  左：ゲーミフィケーションツール 右：若者向けナイトタイムコンテンツ	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①Googleマイビジネスの総閲覧数 （+370,000PV） ②ゲーミフィケーションツールのユーザー登録者数 （+9,000人） ③1人あたりの観光消費額（宿泊客） （+3,055円） ④1人あたりの観光消費額（日帰り客） （+820円）	関連URL	総合政策指針審議会 https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

26

事業概要【伝統のまち「はんだ」の魅力向上事業】

推進当初

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,059千円 (32,180千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・本市の醸造文化をふまえた観光分野の取組や商業、文化芸術分野等の取組を一体的に行うことにより、活気あふれる地域づくりを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○醸造を始めとした食にまつわる観光の推進やブランディング ・鉄道事業者とタイアップした食の観光推進（委託料）10,471千円 ・「醸造品」や「醸造文化」をテーマとしたキャンペーン（委託料）2,576千円 ○デジタル技術を活用した誘客や回遊性の向上 ・インフルエンサーを活用した観光情報の発信（委託料）2,779千円 ○文化・芸術分野の取組と連携した誘客 ・まちなかでアート事業（謝金等）464千円 ・シティプロモーション事業（委託料等）396千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地の歩行者数（+18,000人） ②デジタルクーポン利用者数（+30,850人） ③鉄道キャンペーン参加者数（+1,290人） ④半田市観光協会が発信している観光SNSのフォロワー数（+2,135人）	 （食の観光推進の取組（ワークショップ）の様子）	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） 関連URL https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要【地域経済と人材の循環による構造改革プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県豊川市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,469千円 (21,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・地域内の事業者が変化する時代への適切な対応方法を学ぶ ・大規模集客施設への地域外からの集客を観光周遊等につなげる ・新分野への進出等を実践する事業者の増加や、既存の商店街への観光客等の増加を図る ・地域商業を活性化するとともに、地域産業の魅力の向上につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【地域商業の活力向上に向けた事業】 ・地域の事業者に対するセミナーや講座の開催（委託費等）1,000千円 ・店舗改装や備品購入等への支援（補助費）12,500千円 ・大規模集客施設へのアンテナショップ等の開設、運営支援（補助費）6,500千円 ・とよかわブランドの活用と磨き上げ支援（補助費）1,500千円 【労働者の確保に向けた事業】 ・移住、定住に向けた施策の啓発 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①商業者の新規事業計画策定件数（+60件） ②中心市街地の通行量（+16,486人） ③ふるさと納税返礼品数（+110品） ④まちなか居住補助金交付件数（+470件）	関連URL	https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/sangyo/chushokigyoshaseido/hojokinannai/syougyoukyouka.html

申請者	愛知県津島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,044千円 (6,765千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	市民の健康増進を図ることで、いつまでも健康的に暮らすことができるとともに、食品ロスの削減により、まちの持続可能性を高め、新型コロナウイルス感染予防措置などにより疲弊する地域経済を、ITの活用により活性化する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○健幸ウォーカブル事業を実施し、その検証としてワークショップを実施する。また、地域の活動として移行するための検討を実施する。 ・委託料 5,544千円 ○市内の各小学校区毎にウォーキングコースを作成（マップ作り） ・印刷製本費 792千円 ○ウォーキングマップを市内へ全戸配布する。 ・行政文書配送委託料 165千円 ○食品ロス削減マッチングサービスの活用 ・専用WEBサービス利用料（委託料）264千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「あいち健康プラス」アプリ登録者数（+600人） ②食品ロス削減量（+11,400kg）	関連URL	https://www.city.tsushima.lg.jp/s-hisei/machidukuri/sougousenryaku/index.html

申請者	愛知県豊田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	29,400千円 (7,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	豊田市SDGs認証制度の構築・運用、SDGs担い手育成事業（ローカルSDGsに関する理解促進ツールの制作及びそれを活用するファシリテーターの養成）、SDGs情報発信事業（デジタルの活用等による地域・市民への訴求と活動の見える化）を行うことによって、地域事業者及び市民のSDGs達成加速化、地域内経済の好循環創出及び持続可能な地域づくりをはかることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	豊田市SDGs認証制度  〇SDGs認証制度運営及びプロモーション等 ・認証制度プロモーション（委託料） 1,725千円 ・認証審査・チェック（委託料） 3,500千円 〇SDGs理解促進ツールを使うファシリテーターの養成 ・ファシリテーター養成講座（委託料） 1,680千円 〇SDGs推進企業等が利用するオンラインプラットフォーム運営 ・プラットフォーム保守・運営（使用料） 495千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経営高度化補助件数（+300件） ②SDGs認証団体数（+150件） ③イベント等参加者数（+7,000人） ④パートナー連携事業件数（+40件）	関連URL	豊田市SDGs特設ページ https://www.city.toyota.aichi.jp/s-hisei/juten/1054234/index.html

事業概要【eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した生涯活躍のまちづくり事業】

推進当初

申請者	愛知県安城市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,474千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・eスポーツ等デジタルコンテンツを高齢者の介護予防や健康寿命延伸などに活用し、生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けられるまちづくりを推進する ・若年層（主に小・中学生）に対してeスポーツを通してデジタルツール利活用場の創出し、次世代のデジタル人材育成を推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高齢者の介護予防・健康寿命延伸や、デジタル人材育成を目的とした活動 ・デジタルコンテンツ活用推進（委託料）3,300千円 ・高齢者向けのデジタル活用支援（委託料）2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イベント・講演会等の参加者数（オンライン参加含む）（+1,600人） ②イベント・講演会等の開催回数（+123回） ③要介護認定率の減少割合（▲0.4%）		関連URL https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/joreikeikaku/sogokeikaku/sougoukeikakusingikai.html

事業概要【eスポーツを活用した地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,070千円（35,090千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	・スポーツツーリズムの推進による、新たな来訪目的の創出を図る ・eスポーツイベントの開催を通じて、eスポーツチームやeスポーツプレイヤーの誘致、観覧者等の誘導に繋げ、関係人口の拡大と滞在時間の延長を図る ・eスポーツはユニバーサルスポーツでもあることから、多文化交流、多世代交流を推進させるとともに、障がい者の活躍の場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企画及び実施計画の策定（委託料）3,300千円 ・関係各所との協議、調整 ・参加者に対するアンケート調査等事業効果の分析など ○実証ワークショップの開催（委託料）2,200千円 ・多文化交流プログラム、健康増進プログラムなどの運営 ・IP使用、広報宣伝など ○eスポーツ大会開催運営（委託料）29,590千円 ・eスポーツ大会会場設営 ・eスポーツ大会運営 ・映像、音響、オンライン配信など		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①eスポーツイベント・大会の参加者数（+1,000人） ②eスポーツ実施グループ・団体数（+10団体） ③eスポーツプログラム（講座、体験会、ワークショップ）開催回数（+30回） ④eスポーツプログラムへの高齢者・障害者・外国人の参加者数（+180人）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/s-hisei/keikaku/1001515/1003264.html

事業概要【新しい働き方を通じた関係人口創出・移住者拡大事業】

推進当初

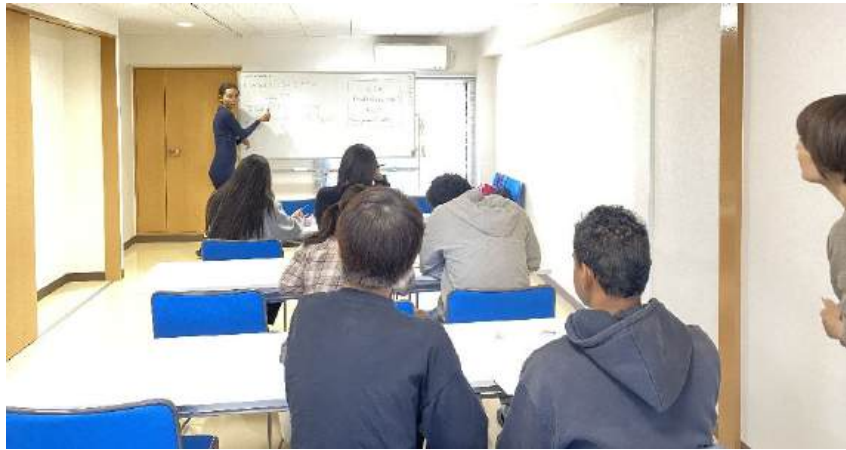
申請者	愛知県蒲郡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,352千円 (2,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	地理的優位性や地域資源など本市の強みを活かし、次世代のまちづくりの担い手である若者の視点も含めた二拠点居住やワーケーションなど新たな住み方、働き方を主軸とした戦略を構築するとともに関係・交流人口の拡大、二拠点居住の促進、移住者の拡大を図る。「住む場所」、「働く場所」、「訪れる場所」として、選ばれる地域となるよう、関係人口の創出、移住者の増加及び定住を促進し、活力ある地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○受入体制整備促進事業 オンライン相談やSNSでの相談を継続するとともに、地域一丸となった移住希望者への支援体制を確立するために人材や店舗、移住経験者などが本市の暮らしを伝え、移住候補者へ相談にのるなど移住関係事業を協力いただける個人の方や店舗の制度である「移住定住促進サポーター」(仮称)を創設し、官民連携で事業を展開する。 《経費内訳》 (1)受入体制整備促進委託料 2,500千円 (オンライン相談、SNS相談体制整備、移住サポーター(仮称)制度の創設等) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数 (+91人) ②首都圏での蒲郡市の認知度 (+2.3%) ③「移住定住促進サポーター」(仮称)の登録者数 (+10人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.gamagori.lg.jp/site/iijangamagori/ (効果検証) https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kikaku/sougou-senryaku01.html

事業概要【地域の課題を地域主体のグルメ開発で解決していくまちの元気創出事業】

推進当初

申請者	愛知県稲沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,000千円（5,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	本市には、多くの地域資源があるにもかかわらず、それらの活用が不十分であるため、市の認知度不足、観光入込客数・市内での観光消費額の低迷に繋がっている。これらの課題を解決するため「稲沢市ご当地グルメ」の開発により、「食」をフックとした観光事業を展開し、地域の新たな魅力を創出することで稲沢市の認知度・ブランドイメージの向上を図るとともに、観光客及び観光消費額の増、地域や地場産業の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○稲沢市ご当地グルメの周知及び拡大 実施店舗を回遊させるグルメラリー、実施店舗が一堂に会するグルメイベントを開催するとともに、市外のイベントへも出張出店し、開発されたご当地グルメのPRを行う。 ・各店舗のメニュー開発及び販売のPR等〈500千円〉 ・イベントの開催及び出張出店〈1,500千円〉 ・グルメラリーの開催〈1,000千円〉 ○シティプロモーションの推進 Web特設サイトの特集ページの更新を引き続き行うとともに、より効果的なPR方法を検討する。 ・Webサイト・特集ページの制作、Web広告〈1,067千円〉 ・Web広告〈495千円〉 ・デジタルサイネージコンテンツ作成〈31千円〉 ・効果検証にかかる調査費〈154千円〉 ・コンサルティング等全体管理費〈253千円〉 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①“ご当地グルメ”関連イベント参加者数（+4,000人） ②“ご当地グルメ”関連イベント参加飲食店数（+10店） ③市内観光消費額（一人当たり）（+757円） ④シティプロモーション特設サイトセッション数（+11,553件） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.inazawa.aichi.jp/0000003928.html （効果検証） https://www.city.inazawa.aichi.jp/0000001627.html		

事業概要【地方創生と脱炭素の好循環による地方創生SDGs推進プロジェクト】 推進当初

申請者	愛知県知立市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,700千円 (15,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・①脱炭素化の推進による、環境にやさしいまちづくりの加速化 ・②新たな外国人雇用の創出等による、雇用の安定化 ・上記①②の実現により、「地方創生と脱炭素の好循環」を生み出すことのできる、地方創生SDGsを推進する地域像の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外国人の雇用の安定化に向けた日本語教室を実施 ・開催委託料5,000千円 ○やさしい日本語を普及啓発するセミナーを開催 ・開催委託料100千円 ○SDGsを普及啓発するためのイベントを開催 ・開催委託料10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市が所有する全ての施設から排出されるCO2排出量 (-442.80.2t-CO2) ②地域新電力会社の販売電力の地産率 (+83.3%) ③日本語教室参加者数 (+1,125人) ④就職率 (+15.0%)	関連URL	https://www.city.chiryu.aichi.jp/soshiki/kikaku/kikakuseisaku/gyomu/kouhukin_kikaku/1494828266764.html

申請者	愛知県田原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,672千円(16,189千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「伊良湖温泉」を活用したウェルネスツーリズムによる交流人口・関係人口の増加及び地域経済の活性化を図る ・地域特産品のブランド化及び地域ブランド力の向上による地域間競争力の強化 ・地域経済活性のための「しごと」の情報発信とマッチング体制の強化を図る ・サーフィン移住だけではない総合的な移住相談体制の構築による移住・定住者の増加		
事業概要・ 主な経費	○伊良湖温泉を活用したウェルネスツーリズムの推進による交流人口増加・観光地域づくり推進 ・公式ガイドブック印刷（印刷製本費） 3,278千円 ○地域特産品の更なるブランド化・人材の育成・地域ブランド力の向上 ・ニーズ調査及び手法の検討業務（委託料） 2,000千円 ○「しごと面の情報発信」と、「ひと」と「しごと」とのマッチング ・企業フェアの開催（委託料） 1,500千円 ○サーフィン移住だけでなく「しごと」面の相談と合わせた総合的な移住相談体制の構築 ・定住移住施策PR業務（委託料） 3,800千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ウェルネスツーリズムへの参加者数（+20,000人） ②たはら暮らし定住・移住サポーター制度を活用した移住・居住数（+46人） ③道の駅における渥美半島たはらブランド認定品売上額（+10,000千円）	関連URL	https://www.city.tahara.aichi.jp/seisaku/kakushukeikaku/1003022/1003057.html



大都市圏の移住フェアへの出展

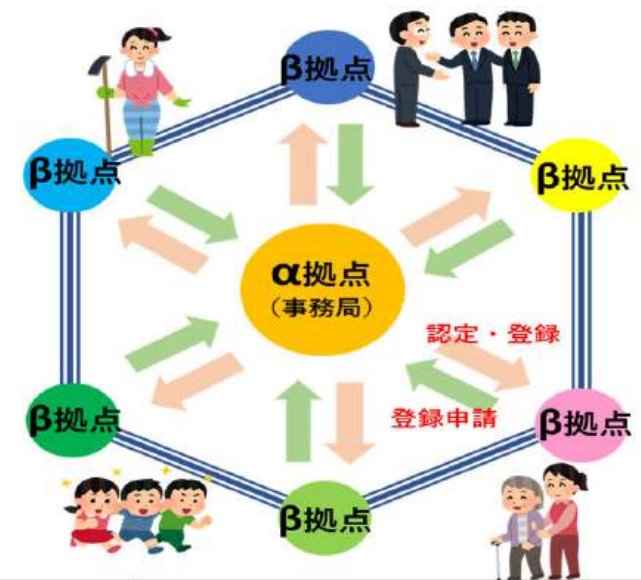


公式ガイドブックの印刷

事業概要【この指とまれ！ 弥富の人・情報・想いをつなぐ “YTM.Meeting：ヤトミーティング” プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県弥富市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,730千円 (5,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	多様な主体の交流とあらゆる情報や資源の共有を市民協働により推進し、「市民が何かに困った時」、「何かを頑張ろうと思った時」に時間や場所、年齢や性別、置かれている境遇などに関わらず、誰もが活路と活躍の機会を見出せるまちの実現に向けて取り組み、人と人がつながることで安心感や賑わいを醸成し、ずっと住み続けたいと思う住民を増やしていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域資源バンク制度の構築・運用 ・ウェブサイトの運用・保守管理（委託料）800千円 ○α拠点の設置・運用 ・α拠点の本格運用（委託料）2,100千円 ○市民との協働による検討・活動の推進 ・弥富市地方創生事業プロジェクト会議（通称：YTM.Meeting）の運営（委託料）1,100千円 ・調査研究活動、情報発信事業の実施支援（委託料）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①α拠点が仲介して、市民の相談事が解決に繋がった件数（+60件） ②α拠点が仲介して、β拠点同士が連携した件数（+24件） ③地域資源バンクの登録件数（+100件） ④YTM.Meetingプロジェクトに参画・参加する市民の人数（+15人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和6年6月公表予定 （効果検証） https://www.city.yatomi.lg.jp/shisei/1000749/1000763/1002378/1002379.html



事業概要【高齢者等の移動支援とおでかけ促進を一体的に促進する「チョイソコふそう」事業】

推進当初

申請者	愛知県扶桑町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,626千円 (4,642千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	町内に路線バスが運行しておらず、日常生活における移動の不便さを感じている住民が一定数あり、交通の利便性を高めていくことが課題であるため、新たに地域公共交通サービスを導入し、住民が安心して快適に暮らすことができる活力あるまちづくりを目指す。またデジタルに不慣れな高齢者に対してデジタルへの接触機会を増やすことで、誰一人取り残されずデジタルのメリットを享受できる持続可能な強靱性のあるまちづくりを目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	「チョイソコふそう」運行事業 ○会員・スポンサー事業者の増加を図るためのパンフレット、停留所マップ及び外出促進のための情報を発信する「チョイソコ通信」制作・印刷費 4,246千円 高齢者向けスマホ講座開催事業 ○デジタル活用・チョイソコのインターネット予約促進のためのスマホ講座開催に係る費用 396千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「チョイソコふそう」の年間利用者数（+11,880人） ②スポンサー事業者数（+50者）	関連URL	（事業概要・実施体制） https://www.town.fuso.lg.jp/kurashi/1003056/1003222.html （交付金の使途・効果検証） https://www.town.fuso.lg.jp/chousei/1002205/1002563/1004135.html



事業概要【アプリを使った選ばれるまちづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県南知多町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,688千円 (3,571千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・住民などからアプリによる情報提供で迅速な現状把握が可能となり、対応に移りやすくなる。 ・まちづくり団体との協働で、安全安心な地域づくりにつながる。 ・まちづくり団体が地域紹介や相談を受けることで移住者に選ばれるまちとなる。 人口減少で危険空き家が増加しており、空き家対策にもつながる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アプリを利用した情報収集 アプリを利用して、町内の改善箇所などまちづくり団体などから広く意見を募集し、よりよい選ばれる町を実現する。 LINE公式アカウント使用料 0千円 ○まちづくり移住定住関係補助金 各まちづくり団体が収益事業を実施し自主財源確保に努める。そのための運営や事業活動に対し補助を実施する。それにより、地域の魅力向上につなげ、移住者から選ばれる町にする。 運営及び事業に対する補助金 3,571千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①情報提供に対する対応件数（+150件） ②まちづくり団体における事業件数（+15件） ③移住者数（空き家バンク利用）（+60人）	関連URL	https://www.town.minamichita.lg.jp/gyosei/keikaku/1003211/1003227/index.html